259-770
1200501348590
257

始

昭和十二年 自八月二日 至八月七日

第七回世界教育會議論文集 第一卷

帝國教育會
第七回世界教育會議殘務整理部

帝國圖書館藏

259
770

序言

玆に昭和十二年八月二日より七日迄東京に於て開催された第七回世界教育會議の報告書として會議論文集全三卷を參加各位の座右に呈する運びとなつたことは最も欣快に堪へない所であります。

當時私は宿痾再發の爲、意の如く準備事務を統轄することが出來ず、焦慮の中に參加者各位を迎へたのでありますが、會議開催を前にして病勢却つて募り、遂に入院せざるを得なくなつたのであります。その爲心ならずも一回の招宴と二回の總會との三の公式の場所に於て、僅に歡迎の辭を述べ所懷の一端を洩すを得たのみであります。從つて遠路來朝の外國教育者と私的會談の中に胸襟を開くの機會を失し、部會に出席して高論卓說を聽くを得なかつたこと及び國內參加諸君の活躍振りを親しく眼にすることが出來なかつたことは、實に私の遺憾とする所であり、參

加諸君に對し申譯ないことであつたと考へます。

唯僅に私をなぐさむるものは、會議當日發表された論說が錄音されたため、これを聽いて、諸君の謦咳に接し、會議の全貌を想像し得たことであります。又本書の印刷によつて、私は永久に諸君の名論を座右に置き得る喜びを持つことであります。

恐らく私と同じ喜びを感ぜらるゝ諸君も尠くないと信じます。本書の編纂その他は決して完全とは言へないかも知れません。然しながら尠くとも昨夏の東京會議の記念としては充分に役立つものと考へます。

最後に本書編纂に關し多大の御援助を賜つたモンロー博士及び論文執筆者竝びに記錄委員會關係各位に深く感謝の意を表します。

帝國教育會々長　永田秀次郎

序言

東京に於ける世界教育會議が從來の會議中最も成功せる且最も愉快な會議であつたと云ふ事は參加者多數の總意が示す處である。これは單に或る一端のみを根據として云はれた事で無く諸般の點より見て下された判斷である。

先づ第一に、東洋への初旅が懇篤なる主人側の各種の歡待によつて大きな感銘を與へられたことである。この事は決して從來の會議で受けた歡待の價値を減殺するものでは無いが、然し日本に於ては宛かも國民の一人々々が會議の目的を熟知して歡迎委員となり、迎へて呉れたかの如くに思はれたのである。假に之が西洋諸國であつたとすれば、更に趣向をこらした歡迎を行ひ、同じやうな熱度を見る事が無かつたとは云へないが、然し或る期待を以て外國から訪れて來る人達の爲に殊更に歡迎の

催を行つてやらうと云ふやうな氣持は起らなかつたであらう。會議に必要な凡ゆる施設に關し細心且完璧な手配の行はれてゐた事は深く感銘づけられた事實である。複雜な計畫、心からなる且盡くる處をも知らぬが如き歡迎の催し、その歡迎の困難さ、外人を含む會議開催の難關さへも、澁み無く巧に處理されて行つて、如何にも組織だつた活動振りであつた事を外人參加者は感じさせられたのであつた。寸時の無爲にして過すべき時間をも生ぜしめず、否寧ろ外人參加者をして各方面に亙る興味の前には時間少なきを嘆ぜしめた程である。

第二に、會議はその準備に於ても、將又その運行狀態乃至內容に於ても優秀なるものがあつた。私の簡單な言葉を以て至らぬ序文を認めたこの報告書が敍上の事實を立證するであらう。

從來世界教育會議論文集は一册を以てするのが慣例となつてゐた。從つて或る時は主要發表論文乃至演說の概要のみを傳へて全會議の報告とした事があり、又或る時は各發表者の作成した論文の梗概に更に役員が手を加へたものを以て一册の論文集を作成した。東京會議に在つては同會議日本事務局は快よくその全文記錄作成の事を決定して吳れたのである。此の事業が如何に困難であるかは世界各國人の參加せる斯かる會議の發表論文の編纂竝びに發行の仕事に從事した經驗を持つ者にして始めて知り得る處である。

この會議論文集に於て特に注目せらるべき事實が一つある。それは何れの部に於ける日本側參加者の發表論文も、全國各地方から徵せられ而も選ばれた專門家が擔當して作成し、各々その部門に屬する專門家の集會に於て審議檢討されたものである。この故に日本側發表論文は專門家に依て行はれた日本教育界の諸相を傳へる、未だ曾て見ない權威あるものである。斯樣な論文は諸外國の教育家の深く欣ぶ處であらう。故にこの書は本會議に於ける最大の收穫であると共に會議の眞價を最も好く傳

へるものであると考へる。

これを以て私は世界聯合教育會長として理事一同を代表し、日本事務局の周到なる會議の計畫、極めて齊備せるその活動、竝びに親愛なる日本國民の無限の厚遇に對して、感謝の意を表したいと思ふのである。叙上の事柄は總べてこの會議論文集がよく之を證明するであらう。

世界聯合教育會々長　ポール・モンロー

凡　例

一、本論文集は、昭和十二年八月二日より同月七日に至る六日間、東京に於て開催せられたる第七回世界教育會議の總會及び部會に於て發表せられたる論文の收錄を目的として編纂したるものなり。

二、總會竝びに部會に於ける發表論文は、會議現場に於て錄音機により錄取したるものを資料としたるも、豫め論文の提出ありたるものは、その原稿を參酌して校訂せり。又時間の關係上、口頭發表不可能となりたる論文、又は當初より文書による提出の形式を採れる論文は、各部の最後に設けたる「寄稿欄」に一括收錄して前者とこれを區別したり。

三、本論文集の編纂大要は次の如し。

（イ）會議に於ける發表論文を總會（第一、第二、第三總會）及び部會（十八部會及び二聯合部會）に分ち、何れも發表順により收錄せり。

（ロ）日本側發表論文は何れも要旨のみを收錄したり。而してその何れも部會準備委員會竝びに記錄委員會の承認を經たるものとす。

（ハ）會議開催を機とし日本放送協會の事業として行はれたる參加外人代表十五名の國際及び國內放送講演を同協會の同意を以て收錄することとせり。記してその好意を謝す。

四、本論文集全三卷の內容類別次の如し。

第一卷　總目次。總會。就學前及幼稚園部。家庭及學校部。初等教育部。中等教育部。大學及專門學校部。教員養成部。

第二卷　目次。地理教育部。理科教育部。農業教育部。工藝教育部。商業教育部。教育法規部。教員會部。

第三卷　目次。學校衞生部。成人教育部。放送教育部。映畫教育部。ハーマン・ジョルダン部。家庭學校及就學前幼稚園聯合部會。學校衞生及農業教育聯合部會。國內及國際放送。

五、會議役員及び論文發表者の寫眞はこれを網羅することに努力したるも、少數はこれを入手し得ざりしを遺憾とす。これ等の寫眞はそれ〲所屬部記錄の冒頭に掲載せるも、同一人にして數部に關係あるもの再出はこれを避けたり。

六、世界聯合教育會長ポール・モンロー博士が特に本論文集の爲序文を寄せられ、卷頭を飾るを得たるは、感謝の念に堪へず。こゝに記してその好意を傳ふるものなり。

七、本論文集に收錄せる外人發表の論文の飜譯校閲に關しては、部會委員長又は聯絡委員たる田尻常雄、福井玉夫、倉橋惣三、水野常吉、鎌田彌壽治、佐藤寬次、大西永次郎、加藤武夫及び多田文男、西本三十二、赤井米吉の諸賢の甚大なる御協力を仰ぎたることを特記すると共に、素よりその一切の責任は帝國教育會第七回世界教育會議殘務整理部が負ふものにして、不幸論文發表者の眞意を傳ふるに誤ありとせば、深くその寬恕を請はざるべからず。

總目次

第一卷

第一　總會

頁

一、開會の辭……小松隆……三
一、歡迎の辭……永田秀次郎……四
一、會議準備報告……大島正德……一〇
一、祝辭……安井英二……一二
一、祝辭……堀內謙介……一四
一、祝辭……長與又郎……一六
一、祝辭……館哲二……一八
一、祝辭……小橋一太……一九
一、謝辭……ロバート・L・クリー……二二
一、謝辭……ハリー・N・ペンリントン……二三
一、謝辭……ポール・モンロー……二五

第二總會

一、開會の辭……ポール・モンロー……二一
一、國際文化の協力……樺山愛輔……二三
一、教育を通じての國際間の理解……W・シュルツ……四一
一、教育による國際理解……P・セシャドリ……四八
一、學校を通じての世界平和……H・ヒューストン……五七
一、閉會の辭……ポール・モンロー……六五

寄稿

一、ドミニカ共和國の教育制度……ラモン・メネンデズ……六七
一、イランに於ける教育……A・M・シェイバニー……七五
一、ルクセンブルグ大公國の教育……今泉嘉一郎……八一
一、スキスの教育に就て……J・A・F・パラヴィンチニ……八八
一、世界教育會議とラテン・アメリカ……C・ロドリゲス……八九

第三總會

一、開會の辭……ポール・モンロー……九五
一、挨拶……H・ハンフリー……九七
一、挨拶……E・C・ソプレベナ……一〇〇
一、挨拶……J・L・マッカロー……一〇三
一、挨拶……P・A・イナムダー……一〇五
一、挨拶……J・M・グキン……一〇八
一、挨拶……イサベル・ガーヴィス……一一三
一、挨拶……ルドルフ・プロナー……一一四
一、挨拶……永田秀次郎……一一六
一、閉會の辭……ポール・モンロー……一一九

就學前及幼稚園部

一、委員長開會の辭……フリーダ・A・クルーズ……一二五
一、日本に於ける幼兒の性格陶冶に就て……和田實・石原きく……一二六

一、經驗主義課程に於ける藝術……アリス・ソーン……一三八
一、日本の幼兒教育の過去及び現在……新庄よしこ・岩村安子……一四〇
一、フィリッピンに於ける就學前教育……ドリーン・B・ガムボア……一四三
一、兒童教育……Q・J・ジェファ・アリ……一五八
一、我が幼稚園……赤名カザリン……一六三
一、ニューヨーク市に於ける幼稚園教育……ローズ・G・コネット……一六六
一、カナダ全國幼稚園、託兒園、小學附屬幼稚園保姆聯盟……ノリーン・D・ドリエン……一六八

寄稿

一、書記報告……エディス・U・コナード……一七〇
一、陪聽座談會……二〇三

家庭及學校部

一、ポーランドに於ける就學前教育……ポーランド組織委員會……二一二
一、委員長開會の辭……J・K・ペテンジル……二二三
一、日本の家庭教育……月田寛……二二九
一、カナダに於ける「家庭及學校」の組織……リリアン・J・ペイン……二三一
一、ファシスト・イタリーに於ける婦人と兒童教育……G・ストラミジョリ……二三八
一、日本に於ける「學校と學庭との協力」に關する調査報告書……高崎能樹……二四三
一、世界交誼に對する「家庭及學校」の貢獻……H・ヴェラールド……二四七
一、北米合衆國に於ける保健教育及び體育……ラッセル・L・ダーギン……二五〇
一、アラスカに於ける實情……E・エリックソン……二五一
一、家庭及學校部會議事要約……J・K・ペテンジル……二五三
一、役員選擧及び決議……二五五

寄稿

一、北米に於ける兩親教育……マリー・バッツ……二五六

初等教育部

一、農村居住者・都市居住者の初等教育……G・A・キャラード……二八一
一、都會及び農村に於ける初等教育……龍山義亮……二九二
一、フィリッピン諸島に於ける初等教育……ベニト・バンジリナン……二九四
一、小學校に於ける手工……H・ハンフリー……三〇一
一、日本小學校に於ける"Art and Handicraft Education"……小林澄兄……三〇八

一、我國初等教育に於ける道德教育……佐々木秀一……三〇九
一、現職教員の訓練……D・D・マクドナルド……三一三
一、品性―現代文明に對するその重要性……ヘンリー・L・スミス……三二七
一、日本の小學校に於ける新教育……小原國芳……三三九
一、新　教　育……グランヴィル・プライア……三四三
一、教育上に於ける自由と統一と權威……羽仁もと子……三四九
一、日本の小學校に於ける珠算……田島音次郎……三五三
一、小學校に於ける國定教科書……堀七藏……三五六
一、國際協調問題としての語學教授……ジョン・E・レイガート……三五八
一、善良なる市民精神の原動力としての少年倶樂部……ヘンリー・W・ドレイパー……三六九
一、役員選擧及び決議……三七六

寄稿

一、ベルギーに於ける初等教育の傾向……レオン・デュンノーム……三七七
一、ポーランドに於ける初等教育……ポーランド組織委員會……三八五

中等教育部

一、委員長開會の辭……オーレン・E・ロング……四〇一
一、本邦中學校教育の特徴に就て……西村房太郎……四〇三
一、中學校の第一種制度及び作業科實業科……山内佐太郎……四〇五
一、日本の女子教育梗概……市川源三……四〇七
一、國際間の理解を促進し平和を招來する法如何……H・ウォットリントン……四一〇
一、過去の女學生……三谷民子……四一三
一、ドイツに於ける中等教育制度……カール・ドリュック……四一五
一、中等教育に於ける我國の實驗……アクィリノ・L・キャリノ……四二二
一、世界平和に對する社會科學の貢獻……オリーヴ・W・ケルソ……四三〇
一、保導協會に就て……今岡信一良……四三二
一、一九三七年の中等教育……ジョン・C・マクグレイド……四三四
一、教育の四つの基礎……ハールバイ・トリペディ……四四四
一、教育に於ける傳統と新機軸……アリス・R・モリソン……四五七
一、教育に於ける自由……T・K・バーカヤスタ……四六七

一、農村中等學校に於て國際善意・理解を助長する方法に就て……ヘレン・J・ムアー……四七四
一、中學生に對する宗教的情操涵養……都留仙次……四七七
一、高等女學校の教科課程構成の最近の傾向……赤井米吉……四八一
一、國際的理解の促進……E・M・メイス……四八三
一、役員選擧及び決議……四八五

寄稿

一、他國人のより深き理解を致す努力に就て……F・ハウスレイ……四八七
一、ポーランドに於ける中等教育……ポーランド組織委員會……四八九

大學及專門學校部

一、委員長開會の辭……ロバート・L・ケリー……五〇三
一、現代日本に於ける大學及び專門學校……阿部重孝……五〇四
一、本邦女子高等教育……藤田たき……五〇六
一、支那に於ける高等教育諸問題の傾向……L・フォルスター……五〇七
一、大學論……E・シュプランガー……五一一
一、大學自由論……ポール・モンロー……五一七
一、二十世紀の教育に於ける大學の機能……林毅陸……五二三
一、アメリカ合衆國の大學及び專門學校に於ける文化的課目の問題……J・D・F・ジェラルド……五二五
一、アメリカの大學……ロバート・L・ケリー……五三二
一、泰西文明への黄金の鍵……アランデル・デル・レー……五三七
一、フィリッピンに於ける大學及び專門學校の地位……M・V・ド・ロス・サントス……五四四
一、ボンベイ州に於ける女子教育……カピラ・カンドワラ……五四八
一、討論……五五五
一、役員選擧及び決議……五六三

寄稿

一、ポーランドに於ける高等諸學校……ポーランド組織委員會……五六四

教員養成部

一、委員長開會の辭……A・E・フィリップス……五七五
一、教員の養成、秩序ある經驗の必要……田中寛一……五七九
一、アメリカに於ける教員養成の試み……ルース・E・マクマレイ……五八一

一、ヴェネズエラに於ける教員養成……C・ロドリゲス……五八七
一、カナダに於ける教員養成……J・G・アルトハウス……五九三
一、我國に於ける女教員養成……木村ふみ……六〇三
一、フィリッピンに於ける教員養成……フランシスコ・ベニテズ……六〇五
一、日本教師の性格……長田新……六一一
一、舊時日本に於ける普通教育の教師……乙竹岩造……六一四
一、日本女性の特質と女教員の養成精神……佐々木金久……六一六
一、委員長閉會の辭……六一九
一、役員選擧及び決議……六二〇

寄稿

一、我國師範教育發達の概況……日田權一……六二一
一、ポーランドに於ける教員養成……ポーランド組織委員會……六二九

第二卷

地理教育部

一、地理教育を通じての國際的親善深化……飯本信之……三
一、教科書用地圖帳に就て……イギリス地理學協會中等學校常任委員會……五
一、地圖帳に關するアメリカ合衆國地理教育者の豫備的見解……メリー・ネルソン……九
一、イギリスに於ける地理教育の最近の發達……A・E・フィリップス……一三
一、合衆國地誌の解説……ジュリア・M・シップマン……一八
一、世界地理教育連絡方法の提案……アーナ・G・ギランド……二四
一、地理教材の國際的交換の方法……内田寛一・中田啓爾……二七
一、幼少兒童の地理教育に情操教授の重要性……メリー・サンダース……二九
一、支那商業地理の變遷……E・H・クレシー……三〇
一、明治以降の日本の人口再分布に就て……石田龍次郎……三七
一、自國及び自國外の學校に於ける郷土教育……マルチン・シュヴィント……四一
一、交通流の特徴—街路景觀の動的要素研究序論—……保柳睦美……四九
一、日本に於ける郷土研究と郷土教育……小田内通敏……五三
一、地理學と地理教育との交渉……三澤勝衞……五四
一、中等學校生徒の地理科に於ける興味性より觀たる日本の地理教育の研究……帷子二郎……五七
一、フィリッピン地理の重要なる變化……ジョセフ・マーティネズ……六〇

一、第七同世界教育會議に於ける提案……ボグダン・ザボルスキイ……六五
一、役員選擧……六七

寄稿

一、地理教育による國際親善の助長……H・J・フリュアー……六八
一、地理教育による國際親善……G・A・コーニッシュ……七四
一、直平行六面體を用ひてポーランド各縣の經濟地理的事情を表現する方法……G・ウットケ、M・ルジンスキー……七九
一、地理教授の一方法……ポーランド組織委員會……八五
一、日本に於ける地理教育の現狀……渡邊光……八九

理科教育部

一、本邦初等、中等學校に於ける理科教育の現狀……特別起草委員會……九三
一、フィリッピンに於ける中等教育の完成……ジョージ・L・アダムソン……九五
一、小學校理科教育標準設備……廣瀨政次……一〇〇
一、教科目としての生物學……R・リングネス……一〇二
一、日本の小學校に於ける鄉土教育と理科教育との關係……太田順治……一〇九
一、日本に於ける理科教師の養成……岡村周諦、桑木來吉、福井玉夫……一一二
一、イングランドの中等學校に於ける理科……W・H・ジェンキンソン……一一五
一、アイルランドの學校に於ける理科教育……トーマス・J・オコネル……一二一
一、フィリッピンに於ける理科教育……N・B・メンディオラ……一二六
一、シャムに於ける理科教育と用語の問題……ラジャダ・B・ソナクル……一三五
一、アメリカに於ける理科教育調査の諸型……ハリー・A・カーペンター……一四一
一、我國中等學校理科教授に於ける實驗觀察に就て……藤木源吾……一四七
一、朝顏とその科學的重要性……三宅驥一……一四九
一、地震と震災輕減……今村明恒……一五一
一、役員選擧及び決議……一五三

寄稿

一、家庭生活に對する教育……エイヴァ・B・マイラム……一五四
一、生物學の教授を人生價値に適合させることに就て……E・A・コックフェアー……一七〇
一、學藝と理科……ポーランド組織委員會……一七七

農業教育部

一、委員長開會の辭……W・ロイド・ビアース……一九一
一、アイルランドに於ける農村教育……トーマス・J・オコネル……一九八
一、インドに於ける農業教育の諸問題……P・セシャドリ……二〇五
一、農村學校に於ける幼兒教育……J・A・キャラード……二〇六
一、スコットランドに於ける農村教育問題……トーマス・ヘンダーソン……二一四
一、我國に於ける農業教育の概況……松井謙吉……二三〇
一、カナダに於ける農村教育の概況……J・マックィーン……二三四
一、農村教育の概況……佐藤寛次……二四三
一、農村教育原理……W・M・ロビンソン……二四五
一、教育の機會均等……R・L・バンティング……二五一
一、農村學校に對する學校放送事業に就て……メリー・サマヴィル……二六三
一、アイオワ州に於ける農村教育の主要問題……マーガレット・マン……二六六
一、日本の水産教育……野村益三……二七六
一、フイリッピンに於ける農村教育……ギルバート・S・ペレス……二七八

一、役員選擧及び決議……二八五

寄稿

一、ポーランドに於ける農村生活と農業教育……ポーランド組織委員會……二八七
一、ポーランドに於ける農業教育……ポーランド組織委員會……二九五

工藝教育部

一、委員長開會の辭……ジョナサン・ロイド……三〇三
一、日本の工藝……安田祿造……三〇七
一、教育手段としての手工……アルフレッド・エムズ……三一〇
一、フィリッピンに於ける工藝教育……オノラト・ラモス……三一五
一、實習による人格陶冶……津田信良……三一八
一、我邦寫眞界の概觀……鎌田彌壽治……三二三
一、日本女子中等學校及び專門學校に於ける手工藝教育に就て……大妻コタカ……三二八
一、青年教育に於ける手藝の重要性と目的……S・ガブリエル……三四一
一、インドに於ける工藝教育及び教師の職責……ハールバイ・トリベディ……三四九
一、工藝の基礎教育に就て……高村豐周……三五三

一、最近日本の服飾流行色と色彩教育に就て……宮下孝雄……三五七
一、支那に於ける工藝教育……アルフレッド・エムズ……三六〇
一、役員選擧及び決議……三六五

寄　稿

一、工藝教育に於ける心理學的價値……アーネスト・ヒーリー……三六六
一、フィンランド學務局管轄諸學校に於ける實際教育……フィンランド準備委員會……三七四

商業教育部

一、委員長開會の辭……上田貞次郎……三七九
一、商業教育と國際奉仕……田尻常雄……三八一
一、カナダに於ける商業教育は國際奉仕に寄與し得るや……L・S・ビーティー……三八三
一、國際的協調と關係せる北米合衆國の商業教育……アントン・J・ド・ハース……三八八
一、國際協調との關聯に於ける商業教育最近の發達……セルマ・M・ボーチャード……三九五
一、教育と國際奉仕……M・ヘンズレイ……三九九
一、商業學校に於ける職業指導……リディア・ブラウン……四二一
一、フィリッピンに於ける商業教育……N・セイズ……四二八
一、インドに於ける商業教育……S・バグチ……四四五
一、日本に於ける實業教育の概觀……上田貞次郎……四四七
一、商業教育に於ける專門化の問題に就て……矢野貫城……四四九
一、日本に於ける中等程度商業學校の特異性……市邨芳樹、小林愛雄……四五一
一、日本商業教育に於ける商業實踐に就て……金井浩……四五三
一、商業學校に於ける一般教育と職業教育とに就て……梶原壽一……四五七
一、日本に於ける女子商業教育……嘉悅孝子……四六〇
一、商業教育部珠算實演に就て……吉澤徹……四六三

寄　稿

一、スコットランドに於ける商業教育……トーマス・ヘンダーソン……四六八
一、ポーランドに於ける職業教育……ポーランド組織委員會……四八三
一、日本に於ける商業教育……上田辰之助……四九五
一、日本商業教育に於ける商業美術……小林愛雄……四九七
一、日本夜間商業學校に就て……金井浩、小林愛雄……四九九
一、算盤……吉澤徹……五〇一

教育法規部

一、委員長開會の辭……セルマ・M・ボーチャード……五〇七
一、教員の在職年數に關する調査……朝比奈策太郎・合田龜太郎……五一〇
一、成人教育――社會安定の推進力……E・ホーン……五一三
一、臺灣初等教育現狀……伊藤猷典……五二一
一、フィリッピンに於ける教育法規の最近の傾向……オーレリオ・C・ラモス……五二五
一、日本に於ける社會協調と教化運動……原泰一・水野常吉・棚橋源太郎……五三一
一、日本に於ける失業者更生事業……安積得也……五三五
一、日本に於ける少年審判所の發達……鈴木賀一郎……五三五
一、役員選擧……五三八

寄稿

一、朝鮮教育の特色……朝鮮教育會……五三九

教員會部

一、委員長開會の辭……ロイ・W・クラウド……五四五
一、教員會を通じての職業的地位の確立……E・A・ハーディ……五四七
一、全國聯合小學校教員會……中澤留……五五七
一、フィリッピン諸島に於ける教員會……ジュリアナ・C・ピネダ……五六六
一、全國中等學校女教員會……竹田菊……五六八
一、本日の諸講演の概要……ロイ・W・クラウド……五七〇
一、私立中等學校恩給財團……泉道雄……五七四
一、世界平和の理想に關する教育の振興に就て教員會として考慮すべき諸點……W・P・キング……五八三
一、全國小學校聯合女教員會……木内キヨウ……五八七
一、役員選擧及び決議……五八九

寄稿

一、ポーランドに於ける教員の職業團體……ポーランド組織委員會……五九一

第三卷

學校衞生部

一、歡迎の辭……岩原拓……三

一、謝辭……L・ド・ジールギュッド……四
一、委員長報告書……C・E・ターナー……六
一、書記報告書……サリー・L・ジーン……一三
一、學校衞生部々則……一九
一、イタリーに於ける學校衞生事業……アランデル・デル・レー……二五
一、フィリッピンに於ける優良兒制保健案……マリアノ・C・イカシアノ……三一
一、東京市特別衞生地區の學校に於ける健康教育……野津謙……三八
一、イギリスの學校に於ける保健教育に就て……メリー・サンダース……四一
一、パンジャブに於ける農村改善運動と農村學校の活動……F・L・ブレイン……四五
一、專門學校學生の身體檢査の教育的考察……J・W・アームストロング……五四
一、エヂプト農村地方保健問題に對する女子の指導……イサベル・ガーヴィス……六四
一、少年赤十字の保健教育事業……L・ド・ジールギュッド……六九
一、日本生徒兒童身體諸測定竝びにその應用に就て……吉田章信……七五
一、ハワイに於ける兒童齒科衞生教育と齒科施設……ヘレン・M・ボーキン……七七
一、日本に於ける學校齒科の現況……奥村鶴吉……八一
一、學童の視力保護……福岡文子……八三
一、北米合衆國に於ける保健教育及び體育……ラッセル・L・ダーギン……八五
一、映畫「齒の健康」……日本齒科醫師會……八九
一、役員選擧……九〇
一、決議……九三

寄稿

一、ミシガン州保健教育聯合委員會の保健教育事業……D・C・ゲイツ / メーブル・E・ルーゲン……九六
一、支那の地方學校に於ける衞生問題の初經驗……C・C・チエン / M・Y・チヨウ……一〇〇
一、カナダに於ける健康問題と教育案擴大の必要……ゴードン・ベイツ……一〇八
一、アメリカ合衆國に於ける學童身體檢査……J・F・ロジャース……一一三
一、オーストラリア學童の健康……W・B・ヘイワード……一一八
一、フィンランドに於ける學校醫務官及び公衆衞生看護婦……エリック・マンデリン……一二四
一、ポーランドに於ける體育及學校衞生……ポーランド組織委員會……一三三
一、日本に於ける學校衞生の現況……岩原拓 / 大西永次郎……一四八
一、日本に於ける學校體育……二宮文右衞門……一五三
一、日本都市小學兒童の健康狀態……山口重知……一五四
一、日本に於ける少年赤十字事業に依る健康の增進に就て……井上圓治……一五五

成人教育部

一、成人教育は如何に組織すべきか……水野常吉……一五九
一、フィリッピンに於ける成人教育運動……オーレリオ・C・ラモス……一六一
一、本邦成人教育と國民教化運動の指標……松井茂……一七一
一、スコットランドに於ける成人教育の組織……A・モーガン……一七三
一、成人教育の組織……R・E・キャヴァノー……一七七
一、インドに於ける成人教育……P・A・イナムダー……一八四
一、部落常會……佐々井信太郎……一八八
一、相談を通じての成人教育……山田わか……一九〇
一、カナダに於ける成人教育……W・J・ダンラップ……一九三
一、成人教育に於ける宗教教育……矢吹慶輝……二〇〇
一、日本の勤勞者教育……池田宏……二〇三
一、ニュージーランドに於ける勞務者教育協會……M・N・バタスビー……二〇五
一、我國成人教育の展望……淺葉魏岳……二一〇

寄　稿

一、成人教育を如何に組織すべきか……ジェームス・A・モイアー……二一一
一、ポーランドに於ける成人教育……ポーランド組織委員會……二一九
一、フィリッピン全國婦人會聯盟の成人教育事業……フィリッピン全國婦人會聯盟……二二六

放送教育部

一、委員長開會の辭……關正雄……二四七
一、我國現代教育に於ける教育放送の地位……小尾範治……二四八
一、日本に於ける學校放送の特色……西本三十二……二五一
一、ヨーロッパに於ける學校放送……メリー・サマヴィル……二五三
一、學藝の傳達機關としてのラヂオの教育的可能性……フランツ・キュッペ……二六三
一、オーストラリアに於ける放送教育……ルドルフ・ブロナー……二七三
一、本邦教育放送の概觀……中山龍次……二八六
一、學校放送の心理學的研究……青木誠四郎……二八九
一、イギリスに於ける團體聽取運動……G・W・ギブソン……二九一
一、日本に於けるラヂオ體操……清水順治……三〇一
一、本校に於ける學校放送の利用……野口彰……三〇五

一、ロチェスター放送學校に於ける教育……ハリー・A・カーペンター……三〇七
一、スコットランドに於ける學校放送……トーマス・ヘンダーソン……三一四
一、ドラマと談話（レコード演奏）……メリー・サマヴィル……三二三
一、フィリッピンに於ける放送……G・A・バーナルド……三二五
一、ラヂオ體操の見學及び映畫「日本の學校放送」……尾山和安……三三〇
一、役員選擧……三三一

寄稿

一、デンマークに於ける成人教育放送……ハンス・C・ルード……三三三
一、チエッコスロヴァキアに於ける教育放送番組に就ての經驗……オタカー・マトウセック……三三七
一、デンマークに於ける學校放送……F・C・K・エルゲンセン……三四五
一、デンマークに於ける體操放送……エルゼ・トムゼン……三四六
一、スエーデンに於ける學校放送……スヴェン・ウォルソン……三四八

映畫教育部

一、委員長開會の辭……水野常吉……三五五
一、祝辭……ルチアノ・デ・フェオ……三五六
一、映畫教育による國際親善の促進……土屋準……三五九
一、ドイツに於ける教育映畫の現況……チロルド……三六〇
一、カナダに於ける映畫と國際關係……ジョン・A・クーパー……三六六
一、映寫會竝びに兒童舞踊實演……三七三
一、日本に於ける映畫教育……山川建……三七七
一、フィリッピンに於ける視覺教育……ソロモン・V・アーナルド……三七九
一、ワシントンの學校に於ける視覺教育……B・L・ドアー……三九〇
一、音樂鑑賞教育と蓄音器……井上武士……三九三
一、本校に於ける映畫教育……足立孝子……三九六
一、レコードによる訛音の矯正……小田正義……四〇〇
一、教育に於ける幻燈機の利用……堂東傳……四〇五
一、日本に於けるレコード教育……西脇乃夫彦……四〇七
一、映畫教育に關する統計報告……水野常吉……四〇九
一、役員選擧……四一六

寄稿

一、視覺教育の一要素としての映畫……ポーランド組織委員會……四一七

ハーマン・ジョルダン部

一、教育と平和工作に於けるその地位……林 博 太 郎……四三一
一、平和教育に於ける最近の進歩……ポール・モンロー……四三四
一、國際親善より見たる我國の女子教育……星 野 あ い……四四一
一、日本及びルーマニアの文化關係……G・G・ストイセスコ……四四三
一、國際親善の爲の教員訓練……フランシスコ・ベニテズ……四四七
一、戰爭は人間性固有のものなりや……B・R・アンドリュース……四五一
一、ハワイ大學の東洋學會及び太平洋經濟文化發展に於けるその地位……G・M・シンクレアー……四六三
一、ヴァン・ローン・トーマス案・平和論文賞……A・F・ヴァン・ローン……四七一
一、世 界 平 和……J・W・ヴァン・カーク……四七六
一、國際協力による國際大學……田 川 大 吉 郎……四七七
一、國際問題の平和的解決、大學に於ける指導科……G・M・ストラットン……四八〇
一、役員選擧及び決議……四九一

寄　稿

一、國際善意促進に就て……相 澤 凞……四九三

家庭及學校部 就學前及幼稚園部 聯合部會

一、委員長開會の辭……J・K・ペテンジル……四九七
一、婦 人 の 教 育……ハールバイ・トリペディ……四九八
一、日本に於ける母の教育……高 崎 能 樹……五〇九
一、母となる爲の教育……C・B・ド・フォレスト……五一二
一、母 の 教 育……サラー・フィールド……五一三
一、日本の基督教母の會……川 澄 の ぶ……五一七
一、挨 拶……三 條 西 信 子……五一八

學校衛生部 農業教育部 聯合部會

一、委員長開會の辭……W・ロイド・ピアース……五二三
一、農民の衛生と娛樂とに對する訓練……W・ロイド・ピアース……五二四
一、ハワイに於ける農業教育……オーレン・E・ロング……五二九
一、イングランド及びウェールズに於ける農村學校……ハリー・N・ペンリントン……五三三

一、ハワイに於ける農村生活改善協會……フランク・E・ミドキフ……五三六

寄稿

一、未開農村社會に於ける教育……アラン・ハルシザー……五五七
一、ギリシャマラソン平原及びマケドニアに於ける企劃により示されたる近東財團の農村衞生事業……L・W・アーチャー……五六三

附錄

國內及國際放送

一、はしがき……附三

國內放送

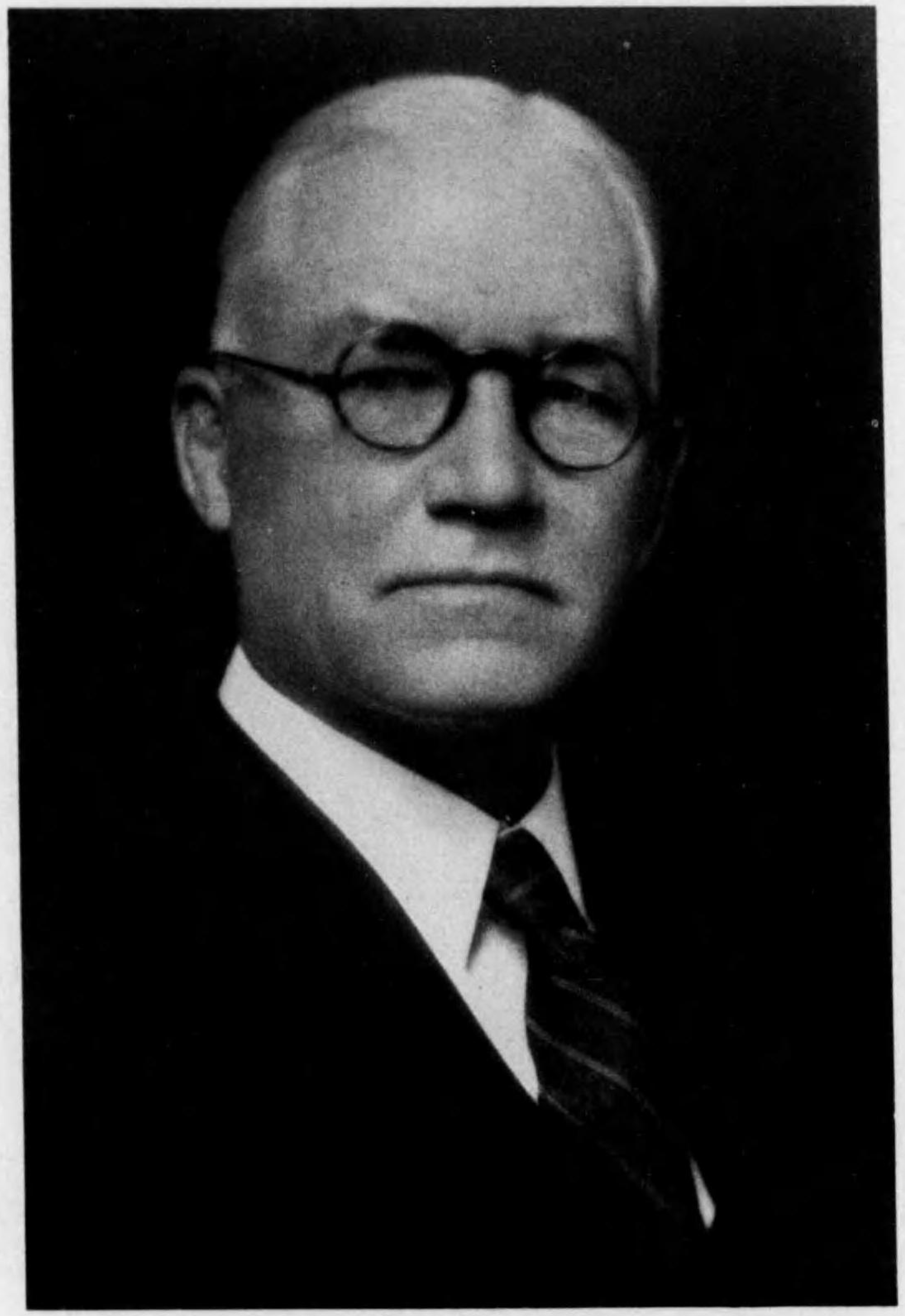
一、日本の教員諸氏へ……ポール・モンロー……附七
一、カナダの教育……E・A・ハーディー……附一三
一、スコットランドの教育……トーマス・ヘンダーソン……附一九
一、イングランドの教育……G・R・バーカー……附二六
一、ドイツの新教育運動……ヴィルヘルム・シュルツ……附三三

國際放送

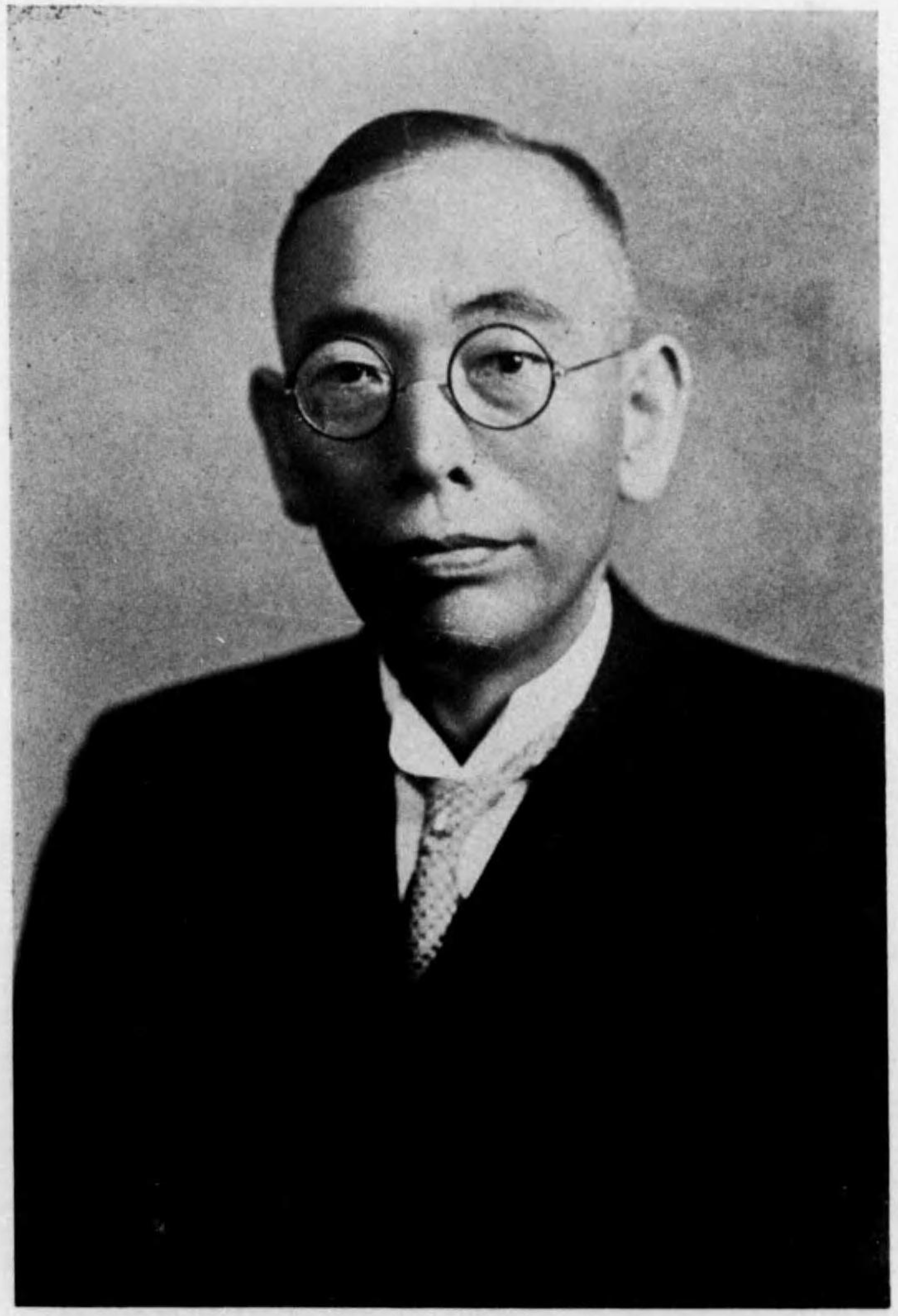
一、挨拶……ポール・モンロー……附四一
一、教育と世界平和……セルマ・ボーチャード……附四四
一、日本訪問……メリー・サマヴィル……附四六
一、學校と國際親善……ジョン・C・マクグレイド……附五〇
一、日本の印象……ルドルフ・ブロナー……附五六
一、ドイツへの放送……ヴィルヘルム・シュルツ……附六二
一、東京から……D・D・マクドナルド……附六五
一、日本の文化……H・N・ベンリントン……附六九
一、日本に於ける印象……ラジャダ・B・ソナクル……附七三
一、感想……ユエル・W・ラムキン……附七七
一、アメリカへの放送……H・A・カーペンター……附七九
一、日本及びその國民……P・セシャドリ……附八三

——終——

總會會場——東京帝國大學大講堂



世界聯合教育會長
ポール・モンロー



帝國教育會長
世界聯合教育會副會長
永田秀次郎

世界聯合教育會副會長
フレツド・マンダー

世界聯合教育會財務理事
E・A・ハーデイー

世界聯合教育會事務總長
ユエル・W・ラムキン

第七回世界教育會議
日本事務局事務總長
大島正德

世界聯合教育會理事

フランシスコ・ベニテズ

セルマ・M・ボーチヤード

トーマス・ヘンダーソン

P・A・イナムダー

D・D・マクドナルド

H・N・ペンリントン

G・R・パーカー

P・セシヤドリ

ヘンリー・レスター・スミス

アンニー・C・ウツドワード

總會に於ける演說者

安井英二

堀内謙介

長與又郎

館　哲　二

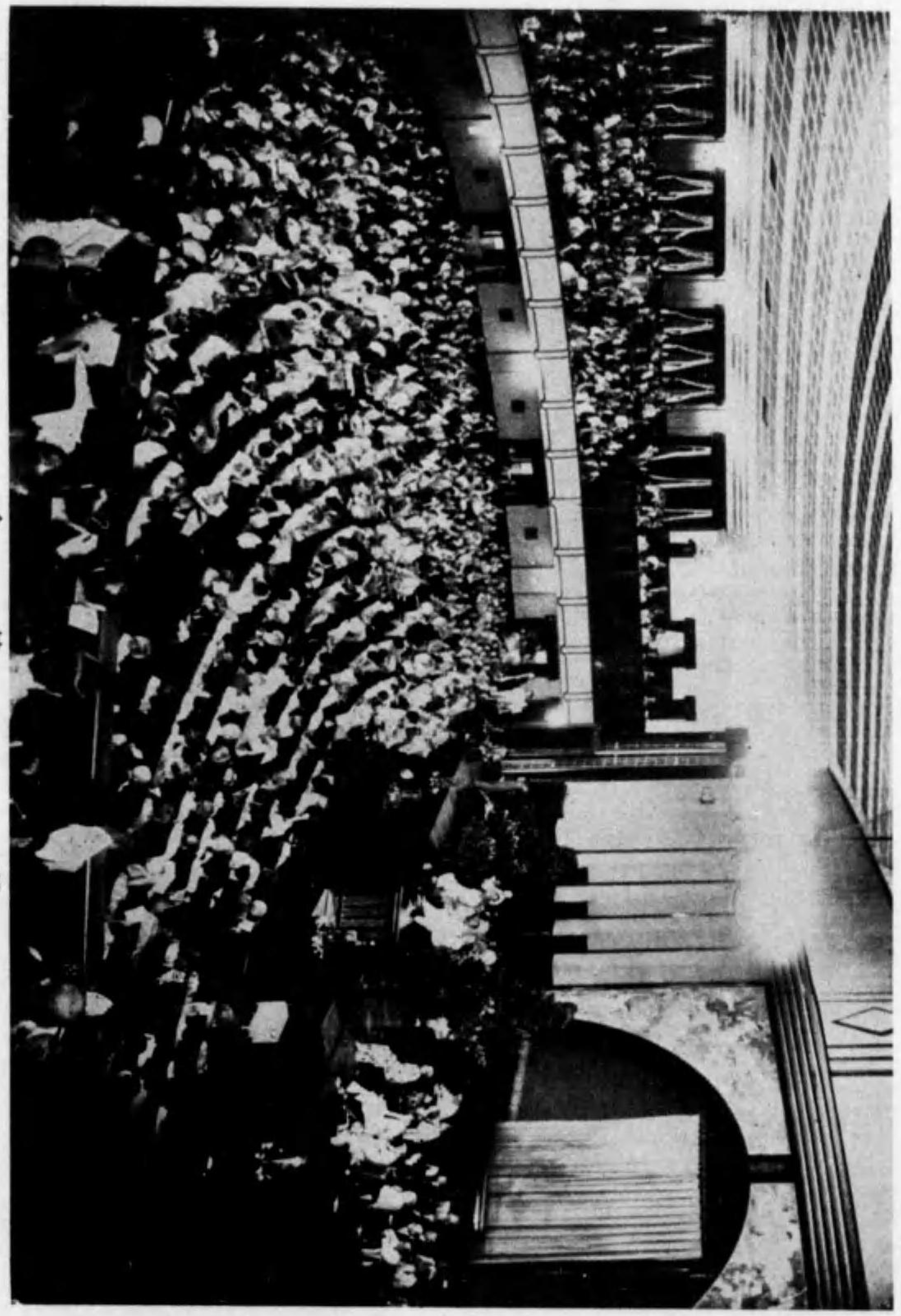
小橋一太

樺山愛輔

小　松　隆

ハアバート・ヒューストン

E・C・ソブレペナ



第一總會

第一總會

日時　八月二日（月曜日）午後八時

會場　東京帝國大學大講堂

司會者　小松　隆

開會の辭

第七回世界教育會議総務委員長　小松　隆

第七回世界教育會議劈頭に於て司會の任にあたるを得たことは私の欣快に堪へないところである。世界各國から斯く多數の方々の御參集を得て我々は更に感激新たなるものがある。

モンロー博士始め世界聯合教育會役員竝びに各部會役員諸氏が御作成になつたプログラムは、必ずや各位の興味深く又意義深く感ぜられるところであらうと考へる。帝國教育會に於ても亦各種展覧會や歡迎の催し、或は社交の席等を設けて皆様をお慰めすると共に、我國御滯在中愉快にお過しを願ふやうにと色々準備を進めて來た次第であるが、若し我々の準備にあたつて、政府當局者を始め、東京市、地方各都市、竝びに一般民間諸團體からの全幅的支持と協力が無かつたならば、我々は何等爲すところを知らなかつたであらう。事實我々は國を擧げて各位の御歡待にあたらうとして來たのである。

扨、我帝國教育會の會議招請の件が世界聯合教育會の受諾するところとなつて以來、本會長永田秀次郎氏は非常な關心を以てこれが開催準備にあたつて來られたのであるが、不幸過去數ヶ月來、病魔の襲ふところとなり、去る七月一日からは病院に入院せられてゐるやうな次第である。しかし氏は今夜は是非とも出席して親しく皆様に御挨拶を申

上げたいと希望せられ、醫者を說得せられて唯今病院からおいでになつたところであるが、暫らく御臨席の上又病院へ歸つて行かれる筈になつてゐる。この開會の式に氏の御臨席を得たことは私の衷心喜びに堪へないところである。
世界聯合教育會副會長たり、帝國教育會長たる永田秀次郎氏が、これから御挨拶を申上げる。

歡迎の辭

帝國教育會長　永田秀次郎

本日より第七囘世界教育會議をこの所に開くに當りまして、茲に參加されました國の數は三十九ヶ國に及び、外國より態々來られた方、竝びに日本に居られる方で御參加下さいました外國人を合せて約千名、竝びに日本帝國の教育代表者二千名、合せて三千名の諸君がこの一堂に會して居られるのでありまして、斯くの如き盛大なる國際會議は、未だ曾て我國に於て見ない所であります。我々は何となくこの所に入つてこの雰圍氣だけを見まして、私は斯くの如き喜びに滿ち興奮を感じた事は無いのであります。さうしてその入つた瞬間に於て、既に今囘の目的の半ばを達せられた樣な氣持がするのであります。況んやお蔭を持ちまして、只今小松君の云はれました私の病氣も、この皆樣の元氣ある御顏に相對しまして、それも半分位は癒つた樣な氣持がして居ります。茲に今囘御集り下さいましたる內外三千有餘の代表者諸君に對しまして、私は地元の帝國教育會長として、又世界聯合教育會副會長として、重ねて深甚なる御禮を申上げたいと思ふのであります。

猶、この際に一言私は自分として云はなければ氣の濟まぬ事があります。それはこの世界教育會議の創立に際しまして、一九二三年にアメリカのサンフランシスコに於て、この創立會議が開かれた時分に、我々の尊敬する先輩の澤柳政太郎君がこれに關係して居られ、以後非常に熱心にこの會議の爲に斡旋されたことであります。從つて今日第七囘世界教育會議が日本に開かれると云ふことは、全くこれは澤柳君の遺志を我々が繼いだ樣なものに外ならない樣な感じが致します。この機會に於て諸君と共に澤柳博士の遺德を偲び、その功績を追懷して感謝するのは、我々の光榮ある責務である事を感ずる次第であります。

教育なるものは文化の進步に伴つて、極めて近頃は知識に偏し、又專門に分れ、多事多端に亙つて居る樣でありますけれども、要するに教育は人を作る事であります。又人の精神を陶冶する事に外なりません。卽ち我々が考へて見るのに、人間の爲すべき仕事が種々樣々ございますけれども、凡そ神樣の斯うありたしと思はれる事柄を御助けするといふ位高尙な仕事は無いと思ふのであります。一粒の草の種でも、或は一本の苗木でもこれを植ゑてその成長を見、花を咲かせ、實を結ばしめると云ふことは非常に樂しいものであります。況んや萬物の靈長である所の人間の子、この神樣の子、神樣の產付けられた、神樣から授けられたるその智能を、全く阻害せられることなくその發達を扶けて行くと云ふこの教育事業ほど、我々人類に取つて最も高尙にして、意義深き事業は無いと考へるのであります。從つて今囘この第七囘世界教育會議の結果に依りまして、我々は更に一步々々世界人類の發達、その神樣の希望する通りに一足でも世界の人類を進めて行く、斯う云ふ事業に役立つべき仕事を、この會合に於て爲さるゝかと思ひますると斯くの如く人が何と云はうと私共に取つては心中非常に愉快に堪へません。斯くの如き誇りを感ずるのは、これは全

く教育者の有する所の特權であると思ふのであります。

日本の教育は丁度只今より以前七十年間の經驗の結果として、その內容に於て改善を加へ、その制度に於て改革を考慮しなければならぬ時に達して居るのであります。斯かる時期に於てこの世界教育會議を開かれるといふことは、我々、我國の教育そのものから考へて見ましても極めて適當な、時宜を得て居るものと考へるのであります。この教育會議の結果をよく仔細に我々が考究するならば、我々の今後爲さねばならぬ所の行き方に就て非常に有益なる示唆を得、又極めて重要なる參考資料を得ることを信じて疑はないのであります。

私は去る月の二十六日にモンロー會長がラヂオを通じて爲された「日本の教育家諸君に告ぐ」といふ有益なる放送を思ひ起します。モンロー會長がその放送の中に述べられた一つの事柄として、世界の凡ゆる人類の國際的善意の涵養、これは教育者を通じて爲すことが非常に有力であるといふ意味の事を申述べられて居ります。全くそれは我々も同じ感じを抱くのでありまして、我々日本として今日まで或は經濟使節といふ樣な經濟關係の人が來ました。然しながらさういふ人々は多くは利害に囚はれて居るといふ樣な感じを抱かしむる樣な嫌ひが無きにしもあらずでありました。又政治家が來ました。それは感情に支配せらるゝやうな疑ひを持つ餘地があつたかの樣に思ひます。獨り教育家といふものは、非常にその考へ方が公平である。さうして少しも利害に囚はれることが無いのでありまして、深く物を表面的でなく根柢的にこれを知らんとする所の素質を有つて居られるのであります。この樣な意味に於きまして私は、この世界教育會議の今囘開かれますることは、日本の現狀を知り、日本の現狀を深く根柢から理解し、さうして國際的の善意を涵養するといふことに就きましてこの位好い時機は無いと考へまして、特にこの教育會議の結果に就て多大の期待を有つて居る次第でございます。

唯我々日本人として少し心配でありますことは、何分我々は歐米諸國とは餘程文化の出發點を異にして居ります、又その生活の習慣が違つて居るのであります。疊の上に寢たり、刺身を食つたり、鰻を食つたりする樣な習慣が非常に違ふ。さう云ふ樣な事の爲に我々として思ひがけない所の誤解を受けたり、又斯ういふことは理解されて居るだらうと思はれることが理解されない樣なことが多々あるのであります。それ故に今囘皆樣――外國からおいでになりました皆樣に對しまして、日本の文化を理解し日本人を理解して貰ふ爲に我々は各種の展覽會その他をやつて居りますので、十分これ等の事を御利用あらんことを希望致す次第であります。唯私は一個人として、外國から來られた方に如何にすれば我々日本人といふものを了解するのに御便宜であらうかといふことを自分自身が苦しんだ結果、次の三つの事柄を試みに申上げて見ます。これに依て或は日本人といふものは何ういふものかといふことを知るのに、少しでもお助けになれば仕合せであると思ふのであります。

卽ち私は外國から來られた方に第一に希望することは、丁度只今我々日本の各地に於てラヂオ體操の會といふものをやつて居ります。これは午前六時から三十分間に亙つて、老若男女を問はず學校或は工場、さういふ所に集まつてやつて居るのでありますが、その光景といふものは、洵に珍らしい光景でありますして、勞働者も資本家も一緒になつてやる。年寄も子供も一緒になつてやつて居る。さうして何等屈托なくやつて居るのでありまして、日本の古い言葉で申しますれば、八百萬の神々が集まるといふあの氣分が現はれて居るのであります。然しながらこの事は洵に外國人に取つて分りにくいと考へますから、私は日本人の解釋を用ひませぬ。唯朝少しお睡いかも知れませぬが、朝六時に起きて廣場へ行つてラヂオ體操の會を御覽下さいますれば、恐らく或は日本人といふものは斯ういふものであらうかといふことを知り、或は一つの何かヒントをつかむことが出來はせぬかといふことを、まづ第一に申上げて置き

ます。

その次に申上げたいことは、毎年我が日本に於きましては　陛下から勅題を賜はつて歌を讀む、御歌始の會といふのがあるのであります。世界を通じて私はまだ御歌所といふ様な役所のある政府を見たことはございませぬ。又各國民を通じてその歌を毎年差上げると云つた様な事のある國を未だ聞いたことがございませぬ。日本は、日露戰爭の如き國の運命を賭して爭ふ様な時にも、明治三十八年の様な時にも猶且この御歌始の會といふことが引續いて行はれて居つたのでありまして、その際に、我々も記憶して居るのでありますが、その明治三十八年の「新年の山」といふ勅題の時に、大須賀といふ歩兵二等卒の人の妻君が作つた歌に

つはものに召しいだされしわがせこは
いづこの山に年むかふらん

といふのがございます。卽ち歩兵二等卒の妻の作つた歌が豫選に入つたのであります。斯ういふ光景、日本人を好戰國民と云はるゝことは洵に批評者の自由でありますが、一面に於て日本人は戰爭の最中にも斯くの如き歌を作り、さうして上下を通じてこの事を樂しむといふ――天然を樂しみ文學を樂しむと云ふ觀念を有つて居るといふ事を御考へにならんことを希望するのであります。

今一つ、第三に申上げたいことは、關西の方に參りますると高野山といふ宗教の山があります。千百年來の有名な所でございまして、其處には澤山の墓がございます。その墓の中に、昔三百五十年程前、所謂豐太閤の朝鮮の戰の際に、その戰の濟んだ後で島津兵庫頭が造りました敵味方供養の碑といふものがあります。卽ち死んだ者は敵も味方も一緒に供養をして、その冥福を祈るといふものが三百五十年前に出來て居ります。又先般大正十二年の大震火災の時に於きましての死者の冥福を祈るために震災記念堂といふものを拵へてございますが、この中にも五萬何千人といふ日本人の死者の名前を書いて入れてあります。同時に又各外國の人で日本に居つて歿くなられた人、イギリス人、アメリカ人が最も多いのでありますが、凡そ二百七程の外國人の家族、是は私に分つた所の總てのものでありますが、その分つた所の歿くなられた外國人の名前を總て同じ様に冥福を祈る爲に書加へて、高野山の上に祀られて居るのであります。日本は一面に於て昔から赤十字社精神ともいふべき一種の精神があるといふ、この心持も一つの參考資料として御考へを願ひたい。

要するにラヂオ體操の様子を御覽になり、さうして御歌始の會といふことがあるといふことに就ての御研究を下さり、又高野山に敵味方供養の碑といふ様な昔から斯ういふ様な、習慣があるといふこの三つの事柄に就て、多少なりとも考慮して下さるならば、日本人といふものは如何なるものであるかといふことに就て、或は多少なりとも參考になるかと思ふのであります。

私は終に臨みまして、今日斯く盛大に開會式の出來ますることを衷心から喜びます。さうして今より六日間に亙りましてモンロー會長の指導の下にこの會議が進めて行かれますれば、必ずや所期の目的を達すること疑ひないと思ふのであります。さうして同時に國際的親善とか或は國際的善意の涵養といふことは、既に私がこゝに入つた瞬間に於てその半ばを達せられた様な感じがするのでありますから、六日間を通じてここに居りますれば、必ずやもう何も求めなくしてこの事が十二分に皆様に了解が行く程效果のあるといふことを、必ず六日の後には見ることが出來るであらうといふことを衷心より期待し、且つ祝福して居る所でございます。茲に謹んで皆様の御會合に對し重ねて滿腔の感謝の意を表して御挨拶と致します。

會議準備報告

第七回世界教育會議
日本事務局事務總長　大島正德

この度の會議に際し皆様がかくも大勢出席せられました事は私の大なる喜びとするところであります。

先年、オックスフォードに於てこの度の教育會議が東京に於て開催せられること、決定致しました時、かくも多數の代表者が本會議に參加されるとは夢にも思つてゐませんでした。

會議は連日の天氣に惠まれ成功裡に行はれてゐます。

さて、この會議の準備を始めましたのは昨年の一月で僅か五人の職員で始められましたが、現在では百三十人もの多數にまで增加せられ、加ふるに四百名から成る學生接待部員がこの會議を援助してゐます。

皆様が旅行せられました諸都市に於ける接待委員會を始め、種々の委員會が一千二百人の人達に依て組織せられて居ります。

この會議が成功裡に行はれる様且皆様が愉快に日本を旅行せられる様に我が政府各省は何れも多大の御援助をして下さいました。

この會議の經費として日本の財界及び實業界が四十萬圓にのぼる巨額の金を寄附して下さいましたことは洵に喜ばしい次第であります。この金額の中には日本全國教職員の醵金が含まれて居り文部省も亦十五萬圓を會議に補助されたのであります。

日本全土の教育關係者はこの會議に對して物質的援助を致して居ります。そして、この會議の參加希望者は日本國內だけでも實に二萬人の多きに上つたのでありますが殘念ながら全部の出席は出來ませんでした。しかし不參加の人人も本會議の成功を蔭ながら念じて居るのであります。云ひかへれば全日本國民はこの大いなる事業に物質的にも精神的にも百パーセントの援助をして居るのであります。

私はかくも多數會議に出席して下さいました皆様並びに本會議を成功に導く爲めに多大の努力を拂はれました役員各位に對して衷心より感謝の意を表する次第であります。

祝辭

文部大臣　安井英二

本夕茲に第七回世界教育會議第一總會の開催せらるゝに當りまして、文政の衝に當るものとして、一言御挨拶を申

上げる機會を得ましたことは誠に欣幸とするところであります。

今回世界教育會議を我が日本に迎へ本日開會せらるゝに至りましたことは我國にとりまして甚だ大なる意義のあることゝ考へるのであります。

「知識を世界に求め大いに皇基を振起すべし」とは明治維新の際に　明治天皇の御示し遊ばされた大精神でありますが、爾來我國は歐米諸國の文物思想を輸入し、政治的經濟的學術的に多くのものを學び取り、複雜なる國際生活の間に伍して今日に至つたのでありまして、この事實は今回遠く海を越えて御出になりました皆樣も夙に御承知のことであり、又短時日ながらも今回の御滯在に依て現代日本の生活の諸相より種々御感得なさるところがあるだらうと存ずるのであります。然しながらこの樣に割合短日月の間に西洋文化を包容同化することを得ました我國は、遠い過去に於て東洋の諸國、卽ちインド支那の思想文物を取り入れて、獨自の國民精神に則り日本固有の文化を創造し發展せしめて來たのでありまして、これ亦皆樣の一般に御認め下さるところと考へるのであります。斯樣なる歷史と傳統とを有つ我國が、將來に於ても益々諸外國と精神生活物質生活の上に於て密接なる交涉を保ちこれに依て、益々文化の進展を計らねばならぬことは勿論であると考へるのであります。

この意味に於て、今回歐米竝びに東洋の諸國より御參集相成りました教育者學者の各位が我國の教育者學者とともに一堂に會して教育上各般の問題を討議し相互に福祉增進のことを計ると言ふのは誠に意義深き事柄でありまして、その齎らすところのものは決して尠からぬものがあると信ずる次第であります。

それと共に又、特殊なる地理的位置と歷史的傳統とを有する我國がよく東西の文化を包容して如何なる道德、思想、學問、教育を發達せしめてゐるかを遠來の皆樣に充分理解して頂くが爲には、今回は實によき機會であるのでありります。

抑々我國の本質、我國民精神の特性の深味は諸外國一般には未だ十分に理解されて居るとは申されないのでありますが、本會議に於て皆樣方に把握理解さるゝことは單に我々の喜びであるのみに止まらず、恐らくは世界文化の進運の爲にも冀はしき次第であると信ずるのであります。

現下世界の各國は國家生活社會生活の上に於て大なる轉換期に際して居るのでありまして、かゝる時にこそ教育の眞實の意義が充分に反省されなければならぬと考へられます。人間を陶冶し國民を鍛錬する教育は、現實の地盤に堅く立脚して過去未來を抱擁し、自國の文化傳統的精神を中心として廣く世界を抱擁するのでなければ、力あり意義あるものと謂ひ難く、又その永續性を期待することが出來ないと考へられるのでありまして、世界聯合教育會の如きも亦この道を通じて始めて會創立の目的とするところを達成することが出來るのではないかと信ずるのであります。勿論この樣な目的の達成は各自が他の本質を尊重すると共に固有なるものを實現しこれを他に理解せしめつゝ、獻身的に協力して行くことに依て始めて成し遂げられると考へられるのであります。

今回世界教育會議が我國に於て開催せられ　明治天皇を初め奉り幾度か行幸を仰ぎましたこの記念すべき東京帝國大學に於て開催せられ、而もこの會議が皆樣の熱意と高邁なる識見の披瀝とに依て、その目的に向つて大なる一步を進めるのであらうことは私の大なる喜びと深き期待を以てその成果を翹望する所であります。

祝辭

外務次官　堀内謙介

必らずや大なる成功を收むべき事を信じて疑はないこの世界教育會議開催の時に當りまして私は衷心より御祝ひの言葉を申述べたいと思ひます。斯くも多數の知名教育家が世界各國よりこの大學に參集せられて、人類に取り極めて意義深き問題につき討議乃至審議を重ねられると云ふ事は私の深く喜びとする處でありますが、これは或は私自身が教育を受けたのもこの東京帝國大學であり、その教育の有難味を充分知つてゐる事實に基くものかも知れません。然しながら單にそれだけの理由に止まるものでは無いのであります。私をして一般教育の效果なるものに大なる期待を持たせるに至りましたものは寧ろ私の現在の職では無いかと信ずるのであります。今日、國際情勢は誠に不安に滿ち、凡ゆる種類の難問題に惱まされて居るのであります。各國に多數の偉人、確固たる信念と善意に生きる眞の眼識を具へた人が現はれて、巧に斯かる情勢に對處し、世界各國民間に根柢有る平和と親和の建設に當らん事を私は衷心より祈つて止まないものであります、事實私は教育界に於ける有力家として認められてゐる皆樣に訴ふる處あらんとして本日この會議に列席したものであります。

教育の最終目的は人格の完成にあると信じます。而して人格の完成とは單なる知識の集積とは異なるものでありまして、我々の天性を培ひ、我々の日常生活を更に高い道德水準に引上げる事に依て始めて達せられるものであります。機械文明時代と呼ばれ敏速と淺薄な快樂が過度に珍重されてゐる時代にあつては、活動に對する平靜な時間と云ふものが是非とも必要なのでは無いかと私は考へます。

確かベートーベンであつたと思ひますが、音樂にあつて最大の感銘を與へる時は樂音の消え去つた後の靜寂の中にあると述べて居りますが、これは誠に我々の考慮に價する言葉では無いかと思ひます。若し人が日常生活の喧燥なる世界より脫して靜寂と獨居の樂しさを味はふ事が出來るやうになつたならどんなに好い事か知れません。私は現代教育は斯うした方面に更に一層力點をおく事は出來ないものであらうかと考へて居ります。

私は世界聯合教育會の高遠なる目的に對して心からの敬意を捧げたいと思ふのであります。特に重要な事は、教育を通じて世界各國民間に相互理解、善意、協力の精神を振興せしめようと志してゐられる點であると思ひます。斯樣にしてこそ始めて我々は世界恒久の平和と云ふものを達成する事が出來ると思ふのであります。

要するに世界の改造は一國の改造に始まり、一國の改造は更に個々の國民の心の改造に始まるものであります。この意味に於て皆樣に與へられたる責任は誠に重且大なるものであると云ふ事を私は敢えて申上げたいのであります。

最後に海山越えて遙々來朝せられました皆樣に、この機會を充分に利用せられて日本の國民とその傳統文化の研究を行はれん事を御願ひ申上げる次第であります。私は勿論日本を立派な國だと思つてゐるものでありますが、しかし我國民も長所と共に短所も持つてゐます。皆樣はこの何れをも御見落しの無いやうにお願ひしたいと思ひます。何となれば、その國民性の長所も短所も總て熟知してゐるので無ければ或る一國に對して眞の同情、眞の親愛の心持は生れる筈が無いからであります。

言葉を結ぶに當りまして、私は本會議が大なる成功を收める事を希望し、且皆樣が日本に於ける滯在期間を愉快にお過し下さるやう希望する次第であります。

祝辭

東京帝國大學總長　長與又郎

本日を卜して第七回世界教育會議開催せらるゝに當り、玆に歡迎の祝辭を述ぶるの機會を得たるば私の最も光榮とするところであります。

世界聯合教育會が、世界の教育及び教授の進步發達を計り、各國の教育團體の協力を一層密接ならしめ、國際的善意を涵養するの目的を以て創立せられてより、僅々十有五年の間に能く今日の隆盛を齎らされたるは、會長モンロー博士を始め、會當局者の非常なる御盡力と、各國に於ける教育團體の熱誠なる協力の精神に依るものと存じまして深甚なる敬意を表する次第であります。

惟ふに東洋に於て、かゝる世界的大會議を開催せらるゝことは、今回を以て嚆矢とするかと思ひます。世界各國より參列せられたる教育者諸君は、この機會を利用せられて東洋殊に日本に於ける文化、歷史、國民性、國情等に就て一層の認識を深められ、充分の御研究あらんことを希望致します。我が國民も亦、この會議及び出席者各位を通じて本會議の目的は固より各國識者の識見に接し啓發せらるゝこと多大なるものあるべきを信じます。

顧るに、世界聯合教育會が、アメリカ、サンフランシスコに於て創立總會を開き、その生誕を祝福したる一九二三年は、我々にとりては忘るゝ能はざる年であります、卽ち、この年九月、關東地方を襲ひたる未曾有の大地震の爲、本學も亦その災厄に罹り、建造物を始めとし貴重なる圖書、研究施設の大半を破壞燒失せられたのであります。爾來營々として復舊に務めて居りますが、我々が世界各國に對し特に感謝に堪へざるは、本學の復興に寄せられたる世界各國の深甚なる同情と好意とであります。就中、本學の圖書館の建物竝びに現在壹百萬部を超ゆるに至りし圖書の整備は、內外諸國よりの援助の賜物であります。

幸に、漸く復舊の事業も進捗致し、今日會議々場として使用に供するの光榮を有し得る程度に達し御不便の點も多多有之事とは思ひますが遠來の珍客を迎ふるに當り、我々としては出來るだけの誠意を盡して居ります。本學が日本に於ける最古最大の學府たることは別に差上げたる印刷物に依て御覽を願ひます。本學內の施設の實際に就て御案內申す用意も致して居りますから、熱心なる御視察を歡迎致します。歡迎の祝辭を終るに臨み、本會議がその崇高なる使命を達成せられ、滯り無く成功の裡に意義有る收獲を收められ將來益々發展せられて、人類の福祉と文化の向上と國際間の親善とに貢獻せられんことを希望致します。

祝辭

東京府知事　館　哲二

世界各國の教育界を代表せらるる方々が一堂に會せられまして玆に第七囘教育會議が開催せらるゝにあたり東京府知事として御挨拶を申上げる機會を得ましたことは私の最も光榮とする所であります。

全世界に平和を齎らし萬邦協和の實を擧ぐることは全人類の希求する所でありますが、この爲には各國民相互の認識を高め相互の理解を深くすることが、最も效果的であると信ずるものであります。今囘の會合に於て教育に關する研究やその體驗を交換せらるゝ事に依て相互の理解を高め以て人類文化の向上を計り國際親善の實を擧げんとせらるる事はこの意味に於て誠に慶賀に堪へない所であります。特に外國からはる〴〵御來會になりました皆樣に御願申上げたいことは、この機會に我國の文化、經濟、民情等を出來るだけ御視察下さいまして、本當の日本の姿を認識していただきたいといふ事であります。各位によつて認識せられた日本の姿、竝びにこの會に釀された國際親善の空氣が各位を通じて世界各地の夥しき青少年に傳へらるるを思ふとき、本會の意義は極めて深く且大なるものがあると申さねばなりません。何卒御來會の皆樣の協力によりまして大なる成功を齎らされる樣衷心より御願致して御挨拶と致します。

祝辭

東京市長　小橋一太

本日玆に第七囘世界教育會議を開催せらるるに當り、一言御挨拶を申上ぐる機會を得ました事は私の寔に光榮とする所であります。

本會議が神聖なる教育の本議に則り最も崇高至純なる目的を以て企圖せられ第一囘開催以來多方面に亙る教育上の諸問題に關して研究調査を遂げ、國際協調の精神に立脚して各國の教育上に多大の貢献を致されました事は、玆に更めて申す迄も無い所であります。斯くも深遠なる意義と光輝ある歷史とを有するこの會議が、この度極東日本の首都である我が東京市に於て、開催せられまして世界各國より多數の御來會を見、殊に最も名譽あり、權威ある各位の謦咳に接しますことは、我國に取り實に空前の盛事であります。

私は玆に六百萬の東京市民を代表して、御遠來の各位に對し深厚の敬意を捧げますと共に、衷心より歡迎の意を表する次第であります。

惟ふに國家にはそれ〴〵の歷史があり、又民族にはそれ〴〵の特性があり、各國民の思想感情は必ずしも同一ではありませぬが、しかも如何なる國家如何なる民族と雖も平和と親善とを希はぬものあるべき筈はないのであります。

従つて正義の確立と文化の開發に對する努力は人類至上の義務でありまして、卽ちこの理想を實現する爲に教育發展上國際的協調の必要なる事は固より多言を要しない所であります。今回の會議が各位の熱心なる御努力に依り、十二分に所期の成果を收め、教育の進歩を促進し、人類の福祉に一層の寄與を齎らすべきことは私の信じて疑はざる所であります。

本市は及ばず乍ら本會議日本事務局その他關係各方面と協力して出來るだけの御便宜を計るべく準備を致して居ります。この準備が各位の御研究に多少なりとも貢獻することを得ますならば、誠に欣幸とする所であります。猶各位に於かれましては、今回の機會に於て我國の眞の姿を正しく認識せられ、日本民族の思想精神を篤と理解せられむことを切に希望致します。

終に臨み私は衷心より本會議の御成功を祈ると共に、時恰も炎暑の折柄各位は一層健康に留意せられて最も愉快に終始せられむことを冀つて止まない次第であります。

謝辭

アメリカ大學協會長　ロバート・L・ケリー

會議參加者を代表して唯今頂いた御歡迎のお言葉並びに外國參加者が會議に寄與すべき處に期待を持つと仰せられたお言葉に對して一言お答へ申上げたいと思ひます。

我々は今宵のみならず日本に到着して以來貴國の御歡迎に對しては深い感銘を受けてゐるのであります。既に船上にある時から日本人の方々はさうであつたが、當地に到着して以來この事を感じて居り、そして遂に今宵のこの盛大な御歡迎に接したのであります。日本に渡來する船上に於ては代表は一所に集められてこの世界教育會議なるものゝ意義を說き聞かされたものであります。これは他の船に於ても行はれた處でありませう。東經百八十度の太洋の中に在る時でありましたが、一名の代表は米國に在學してゐる一日本人學生から「日本は貴下を歡迎す」と云ふ無電を受取りました。右に依てお解りの如く我々は貴國に到着する遙か以前から貴國に於て受くべき歡迎の事は知つてゐたのであります。

我々は過去數十年間日本國民の光彩陸離たる發展振りを大きな誇りを以て見守つて來たのであります。或者は親しく日本を訪れてその歌と寛仁さを我々に紹介して呉れました。又我々の大學に於て研究を行はせる爲日本から送られ

た男女學生と親しく接してゐる處よりしても我々はこの素晴しい御歡迎の事は豫て或る程度承知してゐたのでありま す。卽ちこれは幾年かに亙つて我々の經驗して來た處なのであります。

今宵敎育家代表として世界に送らるべき新しき日の使節と互に相見るを得たのを私は喜ぶものであります。前講演者の豫言せられたるが如き日、地球上凡ゆる土地に溫かい友愛の手の差し伸べられる日、世界に更に完全な相互理解と親善の實の擧がる日を私は衷心より希望するものであります。この故に青年を指導するものとして、又かゝる職を持つ人を代表するものとして、我々は誠に重大な責務の遂行を委ねられてゐるのでありまして、斯く各國民が相寄り青年の持つ凡ゆる點、凡ゆる年代を代表するものとして、提携する事に依て、四海同朋の域に達せる統一せられたる協力社會の實現に寄與せんと願ふものであります。

謝辭

世界聯合敎育會理事　ハリー・N・ペンリントン

特に選ばれて此處に、我々に差し伸べられた御歡迎に對して心からの御禮を申上げる機會を得た事は私の誠に光榮とする處であります。日本に第一歩を印したその瞬間から與へられた熱心な御歡迎は我々の深く肝に銘じて忘れ得ぬ處であります。街頭に立つ警官も、汽車で會つた若い美しい御婦人達も、我々が愉快に旅行の出來るやう心遣ひを與へて吳れ、又山中湖に於ける日本文化講座に出席した際の若い人達の御歡待振りの如き、總てこの驚嘆すべき日本の國を訪れる迄は思ひも及ばなかつたやうな方法で皆の人が心を合せて御歡迎下されたのであります。

私見を申上げる事が許されますならば——旣に皆様は私が何國人であるか略々御見當がおつきと思ひますが、私は英國人であります。英國人は大變保守的な國民であるとされてゐます。この保守的であると云ふ事の爲に我々は時に冷淡な國民であると誤解される事もある——斯うした英國人として、我々各人が受けた鄭重なおもてなし、日本文化講座に出席した際の御親切等と云ふものが最初我々にははつきりと理解出來なかつたのであります、しかし日本を訪れて幾何ならずして我々はそれが次第に解りかけて來たやうな氣が致します。僅か宛乍ら、我々が受けた鄭重なおもてなし、親切等の底に潛む精神が解りかけて來たやうに思ひます。茶道に關する講義を聽いた時私は最初寧ろ滑稽な感じでそれを聽いてゐました。一杯の茶を啜るのに儀式等とは？我々英國人も茶を嗜む國民で儀禮位は心得て居ると、斯う云ふ風に考へて居りました。處がそれが段々我々にも解り始めて參りました。お客が室に入る前に心を淨めるしるしとして外面的に手を洗ひ淸める時に始まつて儀式の終る迄の事がどうやら解りかけて來たのであります。低い茶室の入口を腰を屈めて這入るのは貧富老若を問はず總て平等である事を示す。主客がその茶室で氣持好く應待し、やがて主人は客を送つて通りに面する門まで送つて出るが、その時は直ぐには門を閉める事をしないで、客の影が見えなくなる迄靜かにこれを見送り、茶室に於ける儀禮の效果を消さないやうにする。これ等の事が總て親切と好意を表現せんが爲に行はれる皆様の鄭重さを示すものである事を知つた時に、我々は始めて眞の日本人の精神と云ふものを見、この驚嘆すべき國民を理解する事が出來始めたやうに思つたのであります。

この度の第七回世界教育會議は色々の意味に於て從來の記錄を破るものがあつたと云ふ事を私は敢へて申上げて憚りません。前回の會議に於て故國オックスフォードの古い歷史を誇る大學が打ち建てた記錄は私の誇りとする處であつて、決して恥かしからぬ處と思つて居りますが、今回の東京會議はその準備に於て更に勝れ、その成果も亦更に優秀なるものがあるであらうと信じて居ります。既に新記錄の作られたものが一つあります。私は再度初等教育部委員長として皆樣にお目にかゝるを得た事を非常に嬉しく思つてゐるのでありますが、今朝はこの初等教育部會に出席するを以て最も意義ある事と考へた人達約六百名が當大學の一教室に參集したのであります。教育の基礎は小學校におかるべきであると云ふ事が認められたと云ふ事それ自身が既に一つの記錄的な事實である。一九二七年のトロント會議、これは非常な盛會でありましたが、その會議に始めて初等教育部會が開かれて以來、斯く多數の人が三時間も初等教育に關する意見の交換を行つた事は未だ曾て無かつた事だと私は聞かされました。

我々は世界各國民間に更に相互の理解を深めんとして微力を盡して居るものである事を確信するものでありますが、これが效果は遲々として擧がりません。唯今我々が東京會議に於て努力してゐる事も、我々の生きてゐる間にその效果を見る事は出來ないかも知れません。然し乍ら我々は全世界の人々の爲に極めて價値高き貢獻を爲しつゝあるものであると云ふ事を確く信じて疑はないものであります。

謝辭

世界聯合教育會長　ポール・モンロー

世界聯合教育會長として一言感懷を述ぶるを得るは私の最も光榮とする處であります。

まづ第一に申上げたいのは、先程から色々歡迎の御言葉を頂きましたが、これは全く御伺ひするに及ばない事であると云ふ事であります。西洋の諺に「行爲は言語よりも雄辯なり」と云ふ事がありますが、これは貴國に於ても亦同樣であると思ふのであります。卽ち我々外國代表の爲、又聯合教育會の爲に賜りました數々の歡迎のお言葉は既に行爲に依て御示し下されたる御歡待に盡されてゐるのであります。これは我々が上陸する前から色々な形を通じてお示し下さつた事であります。荷造りの御世話、面倒な稅關通過の御世話を頂いた事や、貴國の港に着くや我々は接待委員のおもてなしを受け、その御歡待振りと日本の國の風習の珍らしさにまづ心を奪はれ、その他色々と御親切なおもてなしを頂いたことは我々の深く感謝する處であります。外來代表の與へられた汽車賃五割引その他の交通上の特典もその一つであります。

私は山中湖の文化講座にも出席致しましたが、此處では湖岸に二千の學童が手に〳〵燈火をかざして歡迎して呉れ

ました。これは他の國では行はれない事であると思ひますが、かうした御親切御歡待に色々と接したのであります。我々は日本へ來て一ヶ月にもならないが道の邊に咲く野草の花も我々を歡迎し、小禽さへもピーチク〳〵と歡迎の合唱（コーラス）を奏でてゐるかの如く感じるのであります。そして到底言葉では盡せない言語と行動の上に現はされた多大の御厚情に對して衷心より感謝の意を表したいと思ふのであります。

今晩は既に時刻も遲いし、他に方法もある事ですから冗々しく御挨拶は申述べません。他の國でも許される慣例であるが、後刻印刷に付して皆樣に差上げたい、そしてその際に日本の教育家諸賢、日本及び各國の代表、その他官邊の方々への御挨拶の言葉を申述べたいと思ひます。

米國に於ては數年前教育問題に關して民衆の大示威運動が行はれた事があります。或る地方では教員も參加し、黑人もこれに加はりました。そしてその黑人の行つた演說は訛りの多い演說ではありましたが、その教育に關して下した定義は誠に云ひ得て妙なるものがありました。卽ち「教育と我等の自由とは現代文明社會に於ける一大地獄とも云ふべきものである」と、皆樣にも申上げ私自身も服膺したいのはこの一大地獄と云ふ言葉であります。

本聯合教育會の主目的は「國際理解の促進」であり、且かゝる理解に基いて將來具現せらるべき國際親善、四海同朋への道に精進する事にあるのでありますが、まづ第一に着手せらるべきは前者の國際理解と云ふ事であります。そしてこれが方策としては各國學校教員を相互に相知らしめるのが最善の方法と考へるのであります。

我々は種々の質問に接するのであります。例へば「何故斯かる多數の人を一所に會せしめるか」と、これは各國教員を相互に相知らしめたいからであります。これ以外に國際理解を促進するの道は無いと考へます。皆樣が或國の事を考へられる時は何卒その國に於て個人的に相知りその人と成りを熟知されてゐる人の事をまづ思ひ出して頂きたい。私は、私に先立つて演說をされた二人のアングロ・サクソン系の人達が認められた事、とられた態度を、皆樣も齊しく認め、おとり下さるに違ひないと思ひます。卽ち曾て讀んだ新聞記事、著書に現はされてゐるが如き風には日本を考へません。偏見に滿ちた表現を用ひて或る特殊な問題を取扱つてゐる人のやうな風には決して日本を考へないで、その反對に我々がこの國に於て受けた數々の歡待を思ひ出して下さるに違ひないと考へるのであります。皆樣は將來日本と云ふものを考へる時には必ず附隨して記憶に浮ぶ處のものとなるであらうが、斯うした交はりが將來日本と云ふものを考へる時には必ず附隨して記憶に浮ぶ處のものとなるでありませう。これがとりも直さず各國教員相互間に行はれて欲しいと我々が希望してゐる事柄なのであります。だから斯うした會議には出來るだけ多くの出席者を得るやうにしたいと思ふのであります。凡ゆる方策を盡して他國の教員との交はりを廣くしたいのであります。此處に列席せられてゐる方々を始め日本事務局員御一同はこの點に於て多大の御盡力を拂はれたのであります。

猶最後に水曜日夜及び土曜日の二回に亙つて總會が開かれる事をこの機會に申上げて置きます。水曜日夜は少數の人を限つて、私が唯今申上げた教育に依る國際平和と理解の促進の問題に關し、演說を願ふつもりであります。

第二總會

日時　八月四日（水曜日）午後八時

會場　東京帝國大學大講堂

司會者　ポール・モンロー

開會の辭

世界聯合教育會長　ポール・モンロー

玆に世界聯合教育會々長として滿堂の諸氏の御靜聽を御願ひする。聯合教育會は十五年乃至十七年前、世界各國教員相互の理解をより深めることを主目的とし、この教員間の理解に依り世界各國民相互の理解を容易ならしめ、且、これを大いに助長促進せしめ得るであらうとの考への下に組織されたものである。この理解を齎らすには二つの方法がある。

1. 教育上の經驗の交換。
2. 教育に關する諸問題及び異つた國民の文化に關する諸問題の論議。これは、一つの文化を有する國民は他國の文化をよりよく理解鑑賞し得るものにして、この點に永續的な國際間の理解及び永續的な國際間の平和の基礎を打建て得るであらうとの考へによるのである。

この結果、聯合教育會の仕事を實行して行く爲に幾つかの部會が組織され、この部會に於ては、專ら種々の分野に於ける學術的にして寧ろ純專門的方面の教育上の努力に就て、その考へ及び經驗の結果を交換するのである。聯合教育會の仕事は、本會議の中大部分を占めてゐる部會の活動によつて行はれてゐるのである。聯合教育會のもう一つの大きな目的は教育と關聯する國際關係の諸問題の討議である。これ等諸問題の討議は總會の仕事であり、從つてこの

第二總會をこれに關する議題卽ち教育を通じてのよりよき理解の助長に關する一般的討論に當てることが當機關の傳統となつてゐたのである。これは又幾多の問題を包含してゐる。理解の根本を爲すのは何であるかといふことに就ての私の信念を簡單に申せば、イギリスの隨筆家チャールス・ラム (Charles Lamb) に關する一小話で示すことが出來る。ラムは文學者によくある如く内氣な性質であつたが社交界の集りにはよく花形として持囃された。斯うした集りには多くの人々が、寧ろ自分自身の爲にこれを利用して集るものである。斯かる會合の一つの席で主人がラムに近づき、「スミス氏とお近づきになつて頂きたい」と言つた。ラムは「スミス氏には會ひたくない。あの人はどうも好かない」と答へた。主人が「貴方がスミス氏を御存じとは知らなかつた」と言ふとラムは「いや知りませんよ。知らないから好かないんです。」と答へたと言ふ。私は茲に教育上の理解と親善の奥義があるのだと考へる。隣の人が氣に喰はないのはその人を知らないからである。この聯合教育會の目的は前よりずつとよく隣國の人を理解する様になることである。從つて總會卽ち今夕のこの會に於ては、各國が自國の文化の見地からこの一般問題を論じ、自己の立場に於てこの議題を討議してゆきたいと思ふ。

ここに御出席の方々は皆が皆專門家といふ譯ではなく、學校教育とは關係なく寧ろ民衆教育、成人教育方面に從事されてゐる方々もあるが、しかし種々諸方面に經驗や關心を有せらるゝ方々の御意見を承ることも亦意義あることである。第一演説者は今囘の會議の主人役として我々を十二分に手厚くもてなして下さつてゐる日本の國の方である。この方は我が聯合教育會の掲げてゐるのと同じ目標を助成することにその半生を捧げて居られるが、そのことは彼の發起し指導して來た國際文化振興會の主旨に表明せられてゐる。この會議の開催に先立つて三日間山中湖畔に於て開催され、本會議出席者が多數招待された日本文化講座もこの方の主催されたものである。日本に於ける國際親善及び國際文化一般の促進運動のこの指導者を諸氏に御紹介申上げ、氏のお話に御傾聽願へることはこの上もない喜びである。さて茲に今夕の第一講演者として國際文化振興會理事長樺山愛輔伯を御紹介する。

國際文化の協力

國際文化振興會理事長伯爵　樺山愛輔

今夜諸氏にお話する機會を得た事は私の幸甚とする處である。何となれば、世界各地から教育家諸氏が參集せられて相互に思想と經驗の交換を行ひ、全世界の教育の目標を高めるが如き新しい方法と手段を求めんとして居られる斯様な重要な國際會議に、私如き局外者が列席を許されたからである。

今夜私が論じたいと思ふのは、教育及び公衆指導の任に當る人々にとつて尙一層の努力が必要であると考へる國際問題の一面に就てである。卽ち國際間の文化的協力といふ事である。斯様な演題を掲げた理由は、單に私が斯かる目的の下に設立された機構を代表して今夜この席に現れたと云ふ爲ばかりで無く、各國互にその有する文化及び思想を交換する所にこそ眞の理解への道が拓け、相互に對する尊敬と親善の搖がぬ基礎が確立せられるものであることを固く信ずるが爲である。國家的野心と國際商戰の喧燥の最中にあつては、我々は兎もすれば不和を釀し、國際間の溝を

廣げ勝ちである。我々親善關係の增進を志すものは、斯くの如き狀態をそのまゝ放置しておく事は許せない。教育を通じて我々は國家及び國民間に共存共榮と和合の精神を涵養し、思想及び精神、文化及び科學の高き世界に、互によく理解し合つた境地を造出すやう努めなければならぬ。互に助合ふといふ共通な精神的態度を打立てるよう努力せねばならないのである。これ無くしては永遠の幸福と繁榮は望めないであらう。目指す決勝點はまだ〳〵遠いかも知れない。しかし時代の兆候は我々のこの理想が間違つてゐないことを示して居る。

「エデンの園」若しくは「人類搖籃の地」と呼ばれるものゝ所在は何人も知らない。人類はアジアの何處からか地平線上に現はれて來たのである。文明史を繙いてみると、太古に於て祖先を同じうした二つの人類の流が人間の生活の生長と進步とを支配して來てゐる。双方とも自然的環境その他の諸要因を異にした結果、明かに形式を異にする二つの文明を發展させて行つた。これが卽ち今日東洋文明と云ひ或は西歐文明と稱されるものである。

西歐文明の精神的基礎はキリスト教であり、東洋文明のそれは佛教であつた。西歐の知識を求める方法は主として演繹的であり、東洋では歸納的である。知性が西歐に於ける探求の武器であり、直感が東洋のそれを爲す。西歐科學で好んで用ひられる方法は實驗であるが爲、新しい發見がなされ、學說は絕えず革められてゆく。東洋に於ては經驗が極めて重要視せられてゐる爲に經驗主義が盛で老人と傳統に對する尊敬の念が深い。西歐の宗教的探求は救の爲に自己を具現することであり、東洋のそれは究極なるものゝ爲の自己の抹殺である。

二つの文明が地球の相對する面に於て形成せられ、各々獨自の發展を遂げて行つたことは人類をして自らを相爭ふ對立的存在であり、永久に一致することなき二つの獨立體であると考へさせるに至つた。卽ち我々は、所謂相違なるものは絕對的のものでなくして、相對的であり、却て喜ぶべきことであり、人類の關係を豐かならしめるに存するものであることを忘れてゐるのである。世界を一つの地理的斷片の集合だと考へ、實際はお互に他に依存してゐる。全體が一つの複合生活を營んでゐる生きた有機體だといふことを忘れてゐるのである。

「東洋と西洋の境界線は何處であるか」を考へてみるのもよからう。グリニッチ（Greenwich）の子午線は一八八四年のワシントン會議（Washington Convention）で二者の分岐線として採用されたものであるが、これは單に人爲的なもので便宜上指示されたものにすぎない。もし實際に境界線があるとすればそれは精神的なものである。

幸にしてその精神的境界線も今や消滅せんとしてゐる。何となれば今日の如く交通及び通信が迅速に行はれ、商取引及び旅行が益々盛になつて來た時代にあつては、世界の二つの部分は次第に接近しつゝあるからである。世界は時間的に見れば非常に收縮して來たのであつて、我々の空間觀念も從つて變化して居り、大多數の人にとつて既にそれは地理的斷片から成立つてゐるものとは考へられなくなつて來たのである。經濟方面に於ける相互依存關係は極めて現實的な問題となつて居り、何れの國にせよ孤立して生活することはすべて不可能となつてしまつた。今こそこの育成せられ來つた共存共榮の精神を更に文化の域に及ぼし、以て我々の關係を一層緊密化すると共に世界の協和と安定の實現を期し得べき時が來たのである。地上の產物竝びに精神的所產乃至は人生の良きものを全世界の人々に頒ち合ふ事が、諸氏竝びに私が建設に努力しつゝある新しき文明に於ける最大目的ではなからうか。

文明は、昔の農奴の如く地球のある地點に縛りつけられた實體的存在ではなく、專門的な教養と文化的創造との複合した手に觸れる事の出來ぬ無形の存在である。若し專門的な教養とか文化的な創造が新しい土地に移植され、そこで繁榮することが許されるならば、文明は大いに維持せられ成長し得るものなのである。それはこれを生み出した土地にのみ屬すべきものでなく、これが眞價を認め使用することの出來る者なら何人でも享有出來るものなのである。

外國の要素を國内文化に取入れそれによつて國家を偉大ならしめて行つた國民の最も顯著な例は我が日本であらう。聊か手前味噌の嫌ひがあるが玆に我國を論じて、私の話の目的を說明する例としたい。

建國以來日本人は外部からの影響に對して感受性の强い國民であつた。日本人のこの特性は我國歷史上の二大劃期時代にあつて明瞭に示されてゐる。第一は七、八世紀の頃、卽ち奈良朝と呼ばれた時代であつて、支那及びインドの文化は自由に輸入せられ、我々固有の知性を刺戟し、土着文化をして誠に比類無き絢爛たる發達を遂げしめたのであつた。當時日本には文學もなし、系統だつた宗敎的信仰もなかつたのである。時恰かも支那では隋及び唐朝の全盛時代にあたり、凡ゆる職業凡ゆる社會的地位にある支那人竝びに朝鮮人が技藝と學問を齎らして日本に渡來し、非常な歡迎をうけたのであつた。かくて日本は敎へられたものを忽ちにして消化し盡し、その文化的成長の第一段階を完成したのである。

それから千年を經て、次の大變換期が到來した。一八六八年明治時代に入るや、西歐文明が渡來して、その豐富な近代的制度、思想、發明は遍く全國に普及せられ、二百有餘年に亙つて鎖國を行ひ諸外國から全く孤立してゐた封建制度の國を改めて近代的產業國家と化したのである。日本は昔支那文化に接觸した時と同樣、忽ちにしてこの新しい文化をも呑み込んでしまつた。二者の文化的要素は勿論異り、支那文化が文學的、藝術的、貴族的であるに對し、新文化は科學的、實際的、民主的であつた。

先に支那文化を輸入するに當つては、我々はこの傳來文化の或るものは到底我國固有の制度と相容れぬものであることを發見したのである。卽ち暫くは支那文化の力が日本人固有の知性を抑へてゐたが、やがて二三十年も經つと我我はこの新しい文化的收獲と自己の再檢討を始めたのである。この檢討の結果として、日本的文化の勃興を見るに至り、特に日本文學勃興隆盛の因をなした日本のアルファベット、卽ち假名文字の發明が行はれたのである。斯くして日本は次第に自國の制度に外國要素を同化しつゝ、これを固有の精神及び傳統に適應する樣改善改造して、大陸文化の絆から離れて行つたのである。

現在に於ても我々は同じ問題に當面してゐる。卽ち千年前の祖先の經驗を再び繰返してゐるのである。約六十年前日本が始めて西歐と接觸して以來、我が國民は孜々として新たなる外國文化、此度は佛敎的に非ずしてキリスト敎的な、抽象的ならずして科學的な、精神的ならずして物質的な外國文化の吸收につとめて來たのである。然るに近年に至つて丁度千年前と同樣、外國文化の無批判的導入に對して、我國固有の精神と云ふものが强調せられるやうになつてきた。これは決して外國文化の排擊では無く、同化不可能のものは採ることが出來ないと云ふこと及び、固有の文化的傳統の中には西歐主義の祭壇に捧げるに忍びないものが幾多存すると云ふことを悟つたからに他ならない。

現代の西歐文化の日本への影響の限度と深さを計つてこれを千年前の支那文化の影響と比較することは至難な仕事であらう。しかし西歐から與へられたものは日本の革新に非常に役立つた。西歐を知つて始めて我々は單なる東洋的な生活及び文化は半ば完成されたものに過ぎず、西歐文化の優れた點をその傳統的生活と思想の組織に取入れて始めて眞に完全なものが出來るのだと云ふことを悟つたのである。そこで我が國民は非常な熱心さを以てこれを學んだのである。或る點に於ては學び過ぎたと言つてもよからう。一時は文字通り西洋崇拜に陷り、日本が固有の傳統と文化を有つ事を忘却して了つたことさへある。今日我々はかゝる態度を捨て去らうとしてゐるのである。しかるに西洋人の中には、單に我國現在の國家的傾向の極端な方面、皮相的な事實のみを見て上記の反動的現象及び國家としての自己主張を誤解してゐる者が多い。事實我々が自らを再認識し、作り直し、その制度を建直し、運命をうちかへようと

してゐるに過ぎない。我々は外國の學術技藝に對する實驗を今も猶繼續して居て、どこまでこれを我が特殊の目的に役立て得るか、又何處までこれを自分のものとすることが出來るかを知らうとしてゐるのである。そして同時に我が傳統文化の中の優れたものはすべてこれを維持してゆかうと考へてゐるのである。

現代の我國の生活の凡ゆる方面に見出される西歐化の現象は、主として表面的なものであることを玆に附言したい。我々の新しく得た物質的財產――卽ち西洋風の服裝とか、鐵筋コンクリートの摩天樓とか、流線型の汽關車等は技術さへ修業すれば直ぐ作られるものであり、又易々と破壞することが出來るものである。然しながら我國の精神的、道德的及び哲學的傳統といつたものは、日本民族の發生以來育まれ成長して來たもので、永遠の生命を持つ神聖な傳統である。我々の未來の成長は過去に於けると同じくこの上に依存して行くべきものなのである。そしてこれ等傳統の中でも最も貴重なものは、古きを失はずして而も新しいものを採用し同化して行くといふ日本民族特有の精神である。

私は人類の進步と文明の歷史の中で、日本人が一番よくこの精神を發揮してゐると考へる。日本の得た經驗の中に我々は文化の交換に依て人類の協和を求めるに方り、とつて以て範とすべき一つの敎訓を學ぶことが出來よう。卽ち如何に協和の爲と言つても一國民の思想、考へ、風俗、習慣等を他の國民に無暗矢鱈に押し付けるのは誤つて居ると云ふことである。斯樣なやり方は文明と自然環境との相關關係の法則に反するものである。一國の文化には他國人には到底こなしきれない要素がある。故に國際間の文化の混淆はこの自然の法則と一致する樣行はれるべきである。

西歐思想の日本への混入は旣に凄じい勢で始つて居り、他の東洋諸國に於ても日本程では無いが同樣これが行はれて居る。然るに東洋思想の西歐諸國への導入は未だ始つたか始らぬ程度である。兩者の交換は今迄の所全然均衡を失してゐる譯だ。西歐思想及び制度を我國の文化組織に取入れて如何程利する處が多かつたかを知り、又、これに對して報ゆべきものを多量に持つて居ることを知る我々は、西歐文化を豐かならしめると共に世界の文明の進步に貢獻したいと切に希望してゐる次第である。もし西洋が我々の生活の一部となり得るなら、東洋も亦西洋人の生活の一部となり得るに違ひないからである。

西洋諸國に東洋との文化の交換を勸告するに當つて、我々日本人は東洋文化の源泉を爲し中心を爲すものとして、我國古代及び現代の全文化を、諸氏の前に提供したい。幸にして我國は上に建國以來連綿として續く皇室を戴き、且はその島國としての地の利に據つて、幾世紀もの間傳統文化の擁護と保存に當つて來た爲、事實上東洋思想及び文化を預かる倉庫となつて來たのである。曾ての支那の唐朝の榮華や、その影響二大陸に及んだといふインドの大帝アソカ（Asoka）の慈政を語るものとしては、今は僅かに廢墟と斷片的な文學記錄が殘るに過ぎない。歷史に豐かなアジアの文化が大切に所藏された資料を通じて一貫して研究出來る處はたゞ日本あるのみである。西歐文化の源をたづぬるに當つては、主として發堀物の研究に基いてギリシヤ、ローマの榮華の跡を偲ぶ。日本のギリシヤでありローマである奈良の都は時に依る破壞に打勝ち、二十世紀の今日にあつても猶我が現代文化の重要な要素の一部として榮えて居り、今日の生活及び藝術にその影響を與へてゐるのである。奈良の寺院は、彼の奈良朝文化の形成に大きな影響を與へ、且當時その全盛を誇つてゐた唐朝及び印度文化を偲ぶべきものを豐に藏し、日進月步の現代猶生ける偉大な過去として立つてゐる。

以上概說した處に依て諸氏は日本が單なる博物館以上のものであることがお解りになつたことゝ思ふ。古いものを失ふことなくして新しいものを受容すると云ふ精神の下に、過去の諸相を現在に生かして居る我が日本民族の天才的

才能は、それだけでも我國の文化の本質が如何なるものであるかを十分に知らせる事が出來るであらう。多年に亙つて日本は文化の同化を行ふ實驗室となつて來た。そして斯かる實驗室として――各種異國文化綜合の中心地として、日本は東洋文化と西洋文化は相容れ得るものであること、兩者の混淆は國民生活及び文化を更に高め得るものである事を證明したのである。

斯うした文化の進展を國際生活といふ大きな領域に迄及ぼして行くことは出來ぬであらうか。共存共榮の精神と共通の利害關係があり、人間の生長、人間の必要とするもの、或は人間の望む處――これ等根本的な問題に於て多くの類似點を持つ西洋と東洋は充分に結びつくことが出來ると私は信ずるのである。今こそ各國の協力に依りこの傾向を積極的な活動に移し、文化の交換なる目的の達成に向つて努力すべき時が來たのである。これは偏へに學校及び教育事業に携はる男女の先覺者の指導に俟つ外はない。世界は今新しい教育理想、即ち新しい人生觀を必要としてゐる。青年の眼は國境の彼方の世界、國家よりも更に大きな社會への奉仕とその福祉と云ふ問題に向けられねばならない。そして眞の知識は世界に普遍のものであり、各國がその思想及び文化を交換することにより始めて齎らされるものであることを認識させねばならない。

まづ第一に歴史の本を書き直し、場所の關係及び當時の地理上の關係を考慮して、各民族の貢獻を評價しなければいけない。從來我々は各國家及び民族の興隆史を時間的乃至歴史的事實の方面からのみ餘りに長く學んで來たが爲、相互の影響、紛爭の解決、協力等の事實が如何なる相關關係を持つかと云ふことを全く見逃して來た。現存國家及び文化の相關關係は、精神的なものにせよ物質的なものにせよ、お互の利益になる樣又お互に交換し合ふ樣にといふことを目標として研究せねばならぬ。西洋史は日本の普通教育課程にあつては何處でも正科に入つてゐる。西洋の學校では果して何れの程度まで東洋史を教へてゐるか甚だ疑問とする次第である。

色々方法もあるであらうが東洋と西洋の關係の緊密化を計る爲には共同の努力に依り、宗教、工業、科學、社會生活乃至政治生活に於ける東洋及び西洋兩思想の大體系を求め、これを相聯關せしめて其處に我々が安心して頼ることが出來、相互理解、共存共榮、萬邦協和の基礎を置き得るが如き、共通の知識の上に立つ優れた協同體を作るやうにしなければならぬ。東洋と西洋がかゝる目的に向つて協力し始める時、始めて世界文明なるものが生れるのである。ある著名な學者の言へるが如く、我々は他の國民を知るに從つて一國の大なる關心の的たるべきものは總て全人類の福祉と合致するものであること、並びにこれ等の問題は各國民が互に協力し且助け合ふことによつて最もその成果を擧げ得るものであることを知るに至るのだと私は信ずるのである。

教育を通じての國際間の理解

ドイツ地方視學官　W・シュルツ

第七回世界教育會議ドイツ政府代表一同は、ドイツの教育會をここ代表して居ないが、この會議に招待を受けて參

加出來た事を非常に欣快とするものである。玆に當聯合教育會の事業に多大の關心を持つドイツ教育省大臣ベルンハルト・ルスト氏（Bernhard Rust）よりの、鄭重なる御招待に對する心からなる感謝とこの會議の成功を祈る旨の御挨拶の言葉を皆樣にお傳へする事の出來るのは私の深く光榮とする處である。猶同時にドイツ國民と極めて友好的な關係にあり、我々をこの上なく親切に迎へ入れ下されたる主人役の日本の役員諸氏及び日本國民に對しても心からの感謝の念を披瀝させて頂きたい。

國際間の理解に最もよい方法は、何時でも國同志お互に知り合ふといふことであらう。私が來朝して以來數日にしかならぬのに、ドイツをよく知り、ドイツ國の知己である方々に澤山お目にかゝつたと云ふ事は、非常に意外でもあり且嬉しく思つた處である。幾度かドイツ語で話しかけても頂いた。この學問の殿堂、東京帝國大學の、ドイツへ行つたことはないが、學校で立派にドイツ語を習得された學生方が多數、至れり盡せりの御親切で私共をお世話下されてゐる。

以上の日本の御主人側への御挨拶で既に私はこれから申上げようといふ題目、卽ち國家間の理解といふ問題に觸れてゐる。猶ドイツ精神と日本精神との關係につき少しばかり申上げてみたい。

ヨーロッパと日本との間に抑々交渉が開かれて以來、ドイツは日本に多數の人を送り、日本からも多數の人々をドイツへ迎へ入れた事は、ドイツ國が誇としてゐる所である。この人達は兩國間の仲介者の役を果したものである。我我は藝術界に於ける業績と同樣政治上、軍事上の日本の治蹟に非常に感心する樣になつた。日本には嚴格な武士道教育による剛毅と堅忍不拔の精神を養ふ勝れた教育形式のあることを知る樣になつた。猶又日本國民は、狹い領土で大人口の秩序正しいしかも親密な社會生活を營むに就ての最高標準を世界に示したのである。日本國民は更に宗教上の鬪爭がなく、祖先尊崇は子供に對する愛同樣日常當然の事とせられ、社會的階級の差異が完璧の禮節といふ衣によつて覆はれてゐるやうな生活狀態を發達せしめたのである。

從つて私は、當會議に參加された教育家諸氏は日本に於て種々重要なものを見、又學ぶ事が出來るであらうと考へる。我々は日本教育精神の一面たりとも見せて頂く機會を得たことを感謝する。就中、日本の教育がドイツによく理解されると思ふ點は、個人は國家と云ふ大單位の一員として考へられ尊重されるといふ思想が兩國共通に確固として存在してゐることである。前に國際間の理解及び親善の促進には國同志お互に知り合ふ事が一番好いと申上げたが、この根本思想は私のまづ最初に說明申し上げねばならぬ所である。これから申し上げる事柄は世界の均しく認める處なのである。

最近我々がドイツに於て最も強く且印象深く經驗したのは、國同志お互に知らないといふ事位、否猶それよりも相手を知つてゐると思ひ込んでゐるが實は根本から誤つた意見と認識を持つてゐると云ふこと位國際間の理解を困難とし、これを妨げるものはないといふことである。

故に各國の學校及び教師はこの點に於て非常に重大な使命を有する譯である。教師が責任を以て爲すべき義務は眞理に仕へることである。反對の主張が假令何處から起らうとも一切構はずに、學校は青年に外國に關しては正しい眞實の事のみ教へねばならぬ。卽ちその國の生活、目的とする處を眞實あるがまゝに描き出して見せねばならぬのである。この意味に於て私はドイツの學校の根本主義、學校制度、學校組織竝びにその活動を簡單に申し述べてみたいと思ふ。これにはまづ第一に、一つの學校の活動の簡單な一條項、例へば國際間の理解の促進とか或國に於て適當にそれが實現をはかるとか云ふようなことでも學校制度の精神的基礎を知らずしては不可能であるといふ事をはつきり申

し上げて置きたい。今夜の總會では一般的な問題しか取扱へない事もお斷りして置く。細いことはそれぞれ各部會で論議されてゐる筈である。

新しいドイツの教育運動は、一切を包攝し且新興ドイツ國の生みの親となつた大精神運動と關聯して考へられて、始めて理解出來るものである。ドイツの更生運動は全く一大教育運動に他ならず、非常に尨大且强力な教育上の職務を行つてゐるものだといふ事を頭に入れて置いて頂く事が必要である。ドイツ總統は、自分の最も大切とする仕事はドイツ國民の教育であるといふ事を屢々强調してゐる。

ドイツの大精神運動は、その國民性の根幹より發生したものである。歷史が始まつて以來始めて、ドイツ國民はその本然の姿、その眞性に一致した國民となつて發展して行く事となつたのである。このドイツ國民の革新は簡單で自然で、その國民性及び生活の規準に全く一致したもの、過去の歷史的な大精神の傳統を取上げたといふだけの話である。この運動の性質をはつきりさせる爲、二、三の人の名を擧げてみよう。宗教改革者　ルーテル　(Luther)、畫家デイーレル (Dürer) 及びホルバイン (Holbein)、音樂家のバッハ (Bach) 及びベートーヴェン (Beethoven)、詩人のゲーテ (Goethe) とシルレル (Schiller)、哲學者のカント (Kant)、フィヒテー (Fichte) ——これらの人は皆新ドイツ國で尊敬されて居る人達であつて、その名は青年達に愛され、彼等の胸に深く植附けられてゐる。

教育は本來國民生活の一部門であり、該生活の一機能として、我々の所謂「國民生活の形成」なるものに貢獻してゐるのである。從つて我國の教育の根本的精神を申し上げるに當つて、私は國民生活形式の根幹をなす主義にも言及しておきたい。

一、教育は總て人間が自然から與へられた才能と力とにより決定せられる。

二、人は神が作つた一の統合體であつて、我々はその諸相を肉體、魂、精神といふ觀念によつて理解してゐる。教育の義務及び職務はその統合體としての姿、全體としての姿を認識するにある。如何なる教育方法を用ふるに當つても、自然に反して行動したり、或は人生の法則を無視したりすることは觀面に惡結果を齎らすものであることを確認するにある。故に我々は精神と同じく魂及び肉體を教育し、品性の陶冶も體育も共に怠らぬ樣にしたいと望んで居る。その爲には我々は昔から永遠の正しき理想とせられて居るところの、內在せる德が圓滿且完全な形で現はれた人格と云ふものを教育の目標として居るのである。

この際、屢々起る誤解を是非とも一掃しておく必要があらう。ドイツは教育及び科學の大いなる傳統を持つてゐる。我々は過去への義務及び現在の生活の要求を十分に承知してゐる。ドイツの小中學校及び大學校は、國民の科學及び精神教育の程度を下げぬ樣維持し、出來得べくんばこれを更に上げて行かうといふ使命を寸時も忘れはしない。しかし又、我々は眞に聰明な文化は、健全にして强力な肉體を伴ふべきものであり、又立派な强い品性なくしては完全となり得ないといふ、誰でも知つてゐる昔のラテン語の句を確認するに至つたのである。

三、一人の人、一個の人格と云ふものはそれ自身の爲に存在するのではなく、より大きな實體の一部なのである。個人は總てを國家に負ふてゐるのであるから、その行動も、身につけ得た才藝も、國家の爲に用ひられねばならない。個人の仕事の品位も名譽も、その身につけたものが國家の爲に何程の價値をもつかといふ事により計られねばならない。自然は各人にそれぞれ個有の伎倆、才能及び力を與へた。「人間」と云ふ考は單なる論理的な抽象概念にすぎない。個有の價値と性格を有する個人にして始めて「實在」となるのである。そしてかゝる實在の人のみが、最も完全且有能な働きの出來るものとなつて全體の爲に貢獻することが出來るのである。教育は各個の人間をその個有の才

能及び力に應じて作り上げ、その人生に於て占める位置にあつて、國家の爲に出來るだけ高く、立派な修練を積み得るやうにしてやる職務を有するのである。

個人に就て言へることは、更に範圍の廣い國家に就ても言へることである。即ち國家も亦獨自の性質を持つ個體であり獨特の精神的構造物である。かくて、我國の教育は、我々の眞の性質を出來る限り發達せしめ、それによつて最大の創造力と最高の文化を獲得しようといふことをその目標としてゐるのである。しかしながら我々は、個々の國民は、孤立したり隔離されたりしてゐるものではなく、世界といふ大家族の一員であると考へてゐる。かゝる觀點に基く教育は、國際間の理解及び親善の上に二つの重大な結果を齎らすものである。

第一に我々の文化的所産は、他國の達成し得たものに我々があづかりたいと望むが如く、これを利用したいと願ふ國があるならば、何れの國なりとも自由に取つて差支無いと云ふことになるのである。かゝる交換は國家が相互に盡し得る最高の奉仕であると確信する。

第二に、自國の國民性及び文化的達成を尊敬することは、他國の眞の國民性及び達成を尊敬する事を教へるものである。

我々のあるが儘の姿、並びに成就せる處、換言すれば我々の眞性及びその業績は、我々の名譽を現はすものである。自分の名譽を自覺し、尊敬することなくしては他人の名譽を尊敬する教育は行ひ得ない。故に我々は青年達をして自國の名譽を尊敬せしめると共に他國の名譽を尊敬せしめる樣教育せねばならぬ。これが教育に依る國際間の理解を取扱ふ上の正しい方法であり、私の第二の主義でもある。以上述べた二つの指導精神を私は茲に今一度繰返し、相互の關係を申上げることゝする。

第一は、一國が他の國民が實際は如何なるものであるかを知らうとする時始めて國際間の理解が生れるであらうといふこと。

第二は、何れの國の青年達も他國の國民の性質及びその成就した事を尊敬する樣教育されねばならぬといふこと。

以上の二つの主義はお互に切つても切れぬ關係を持つてゐる。他國を尊敬する樣教育するには、彼等の眞の性質を充分に知り、彼等の眞價及び達成せる處に就ての充分の知識をもたねばならぬからである。

斯うした教育目的は如何なる方法に依れば學校で實現し得るかといふ問題は、この會議の種々の部に於ける議題の最も重要なものゝ中に數へられてゐる。その細かい仕事には、ドイツ代表は少數の爲、或程度以上與ることが出來ぬが、少くとも上級學校の部及び映畫教育部に於ては協力し、役に立たせて頂けるよう願つてゐる。

學校の教室の授業よりは、直接に外國から親しく印象を受ける方が遙かに優つて居り、又效果的であることは言ふまでもない。これが爲我國では、出來るだけ學生及び小學生の交換を行ひ、各國青年團體との交換もこれを奬勵してゐる次第である。我々は、かゝる交換は各國の青年をしてお互に友好關係を結ばしめ、國際問題の理解上最も效果的であると確信してゐる。これは教師に就ても同樣である。成るたけ多數の教員に親しく外國を訪問して他國を研究し知る機會を與へる樣に、我々は出來得る限りの努力をすべきである。我々は近年多數の外人教師をハンブルグ(Hamburg)に迎へ得て嬉しく思つてゐる。この人達はアメリカからも、イングランドからも、アイルランドからも、又北歐や、地中海方面の諸國、その他からも來朝された。そして我國を直接に知ることが、この客人達にとつて如何に尊いものであり、又是非共附言せねばならぬ事は、如何に必要であつたかといふことは、私の實に切實に感じた經驗の一つとなつたのである。

我々ドイツ國代表は今諸外國に關する知識を得ようと云ふ立場にある。日本の國に就ての深い大きな印象を、土産に持ち歸らうとしてゐることはいふ迄もない。こゝにこの講演を終るに當つて、私及び同僚一同の、主人側の方々に對しての心からなる感謝の言葉を今一度述べさせて頂きたい。そして國家間の理解と親善といふ偉大な尊い理想が、東京に於ける一同の國際的協力により新しい活力を與へられる樣にと心から祈つてやまぬ次第である。

教育による國際理解

インド、アヂュマー官立大學總長　P・セシャドリ

今夕この壇上に立つて、世界教育會議の主目的の一つたる、教育による國際理解の助長に就て述べることは、余の誠に光榮とする處である。しかし乍らまづ第一に余に與へられたる義務は、余の母國——卽ち三億五千萬といふ世界全人類の二割の人口を抱擁し、恐らく今日の世界に於て最大の人口を有する國——よりこの盛儀に寄せたる衷心よりの祝意をお傳へせねばならぬと云ふことである。インド政府代表竝びに全インド教育會々長（President of the All India Federation of Educational Ass'n）としての立場を兼ねて、余は何はさて置き、先づ本會議を祝福申上げると共に、その成功を衷心お祈りする次第である。

この日本の國を訪れることは余にとり、又一般インド人にとつては、偉大なる喜びである。是に敢へて余が附言し度いことは、我々にとつて日本は一外國ではなく、佛陀の教義が支那を通じて我國より日本の地に移つた記念すべき時より始まつて文化文明の多くの絆により今猶我々と結ばれた第二の祖國であるといふことである。こゝ數日我々インド代表者は未知人に懇切丁寧であると云ふ優れた傳統を有するこの國にあつて、その美しい國土を廻り興味ある人人に接するの喜をもつたのである。我々が日本にあることを誇りとする一つの理由は、日本が過去數十年間にアジア國民の名聲を高める上に貢獻せる處多く、且今日世界の列强國に依り敬意を抱かれてゐる、唯一のアジア强國であるといふ事實である。國民教育の向上に力を盡して來た國にあるといふことも、亦我々に喜びを與へるものである。

教育に依る國際理解の增進に就て語るに際し、まづ最初に余が强調し度い事實は、世界の教育家が誠心誠意を以て國際理解の運動を起しさへしたならば、假令今日直ぐと迄は行かずとも、少くとも二、三十年の間にはその實を擧げることが出來るであらうといふことである。本會に出席の教員諸氏よ、余は諸氏の注意を、イエズス協會（Society for Jesus）の設立者として著名なイグナチュース・ロヨラ（Ignatius Loyola）の名高い言葉に振向けたい。卽ち彼は好んで「我國の兒童を余に與へよ、然らば余はその他の者に起る事件には敢へて拘らないであらう」と云つた。我々が關係する學校及び專門學校に於て國際理解の原則を普及することさへ可能であるならば、我々は人類の未來の幸福を諦める必要はないのである。

余は古典劇作家の一人たるテレンス（Terence）の作つた物語を常によく引用するのであるが、この作家の名はこ

こに列席せる教員諸氏の中には知つてゐる方もあるであらう。「自ら苦しめる者」(Heauton Timorumenos (or the Self-tormenter)) といふ小六ヶしい題名の彼の戯曲の中に、興味ある性格を有する一老人を描いてゐるが、この老人は自ら何ら關與しない事柄に絶えず心を惱ましてゐる。彼は他の街で誰かの細君が死んだと言つては悲しみ、誰かの牛が何處かで殺されてゐたとか、誰かの嬰兒が何處かで病氣をしてゐると言つては悲しんでゐる。「君に何の關係もないことに何故くよ〳〵するのか」と尋ねられて、これは世界文學史上有名な一節であるが、老人振返つて答へて曰く「人間に關係のあることなら、儂に無關係であり得ない」。換言すれば「人間に關する限り儂にも關することだよ」と答へたのである。若し我々世界の教員が人間に關することである限り我々に關することであることを自覺し、我々の生徒をして人類結合の認識を得させるならば、國際理解の增進に一飛躍を遂げることになるであらう。

有名な英國詩人ルドヤード・キプリング (Rudyard Kipling) は分離主義の豫言者として酷く誤つて引用されることが屢々ある。諸氏の多くは、次の有名な彼の言葉を御存じのことゝ思ふ。卽ち、

〃東は東、西は西
東西相寄ることあらじ。〃

しかしこの詩句は、一般には知られてゐないことではあるが、人類の一元性を强調した彼の詩に含まれた句である。何となれば右の句に續いて彼は次の如く詠つて居るからである。

〃されど巨人二人、相面して立つ時は、
たとへ彼等、地の兩端より來るものたりとも、
東もなく、西もなく
境界もなく、門閥もなし。〃

不幸キプリングは先日長逝し、少くとも英文學の上には一つの空所が出來たのであるが、若し彼にしてこの東西の人々の大集會の席に居合せたとしたならば、恐らく叫んだであらう、「世界の教育家、東京に於ける國際會議に相面して會する時、東もなく西もなし、」と。これが證據を求めんと欲するならば、こゝに地球の端より來りて絶對の親善の中に會する教員數千名があることに留意すればそれで充分である。世界の各地から寄り集ふた教員を見る時我々は一國と他國との間には我々が時として想像し勝ちのやうな差異はないことを理解するであらう。

世界を旅行して廻る時、我々人類の不可思議な結合に深い興味を覺える。譬へば、ペルシャ人の慈善 (Persian charity)、インド人の眞實 (Indian Truth)、ドイツ人の親切 (German kindness)、イギリス人の慈悲 (English mercy) といふが如き特殊事實は存しない。人類のこれ等總ての本源的性質は共通のものであり、我々の脆弱性も亦共通である。色彩に缺けた白晳の顏もあり、頰骨の高い黃色の顏もあり、巴旦杏の樣な眼をもつた褐色の顏もあり、或は又所に依て黑色の顏もあるであらうが、全人類には同一の精神が低流してゐる事は確かである。人類の種族の間に差異を强調せんとする者こそ愚かであり、人類の一元性を正しく强調し得る者こそ實に偉大である。

不幸にも自己の種族の純潔と優越を主張して自負してゐる人種がゐる。しかし諸國民の歴史を研究した者ならば、人種的純潔性の如きはこの世界に殘存しないことを知つてゐる。何故ならば、人類の間には絶えず人種の混交が行はれて來た所であり、優越性は或る場合にはその機に惠まれ、或る場合にはこれに惠まれなかつたことに、主として依存するに過ぎないからである。人類の中最も衰微せる人種たりとも、適當な發展の機會にさへ惠まれるならば、知性と品性の最高水準に達し得ないといふ理由が何處にあらうか。同様に、自己の國内に住居する他の階級よりも血統に

於て我勝れりとも主張することも無益の業である。バイロン卿 (Lord Byron) に就て斯ういふ話がある。卽ち彼が小學校に通つてゐた子供の頃のことであるが、彼は非常に蹇蹇不遜であつた。彼は貴族であつたから常に彼の血管には碧い血 (貴族の血) が流れてゐると級友達に語つてゐた。たま〳〵一日級友の一人と喧嘩をして、鼻に猛烈な一擊を喰つて出血した時、級友達は叫んで曰く「判つたぞ、君の血は紅いんだ、碧ぢやない」と。人々の血は總て紅く、碧い血の人はない。それ故一種族が他の種族に優れること、一階級が他の階級に優れることを說くは愚事である。

今夕のプログラムに余の加はつた事は誠に時宜を得たことであつた。余は國際平和と親善の理想を常にその宗教の根本的教義の一つとして强調して來た民族の出である。我がインドに於ける宗教上の祈りは總て「オム、シャンティ、シャンティ、シャンティ」(Om Shanti Shanti Shanti) (平和、平和、平和)。なる言葉で結ばれてゐる。

祝福の辭に「世界の全人類に幸と榮とをあらしめ給へ」といふ意味の形式的結句を作はないものは一つも無い。譬へば婚禮の際にも、祝福されるのは新郞新婦ばかりでない。そこにも亦「人類の總てに幸と榮とをあらはしめ給へ」なる言葉がある。家族に目出度い式典のある時は何時でもこの祈りが行はれる。斯かる國より來れる余にとつて、教育による國際理解の增進と云ふ緊急事に心からなる支援を與へると云ふことは、この上もなき喜びである。

教育事業に從事してゐる方々——諸氏の大部分はこれに從事して居られることゝ思ふ——の中には、「如何にすれば教育により國際理解を增進し得るか」と尋ねる人があるかも知れない。余は曾て教育專門家委員會 (Educational Experts Committee) なる固苦しい名稱を以て呼ばれるゼネヴァの國際聯盟の一委員會に、數年間關係してゐた。その任務とする處の一つは、世界各地の青年の間に國際聯盟の主旨を普及せしめる方法を、聯盟に獻策することであつた。如何にすれば教育により國際理解を增進し得るかを議する爲、我々は每年數日に亙つて有名な英國の學者ギルバート・マレー教授 (Prof. Gilbert Murray) を委員長として會議を開いたのである。この問題に關し若干の點を紹介しようとするならば恐らく數分の時間を必要とするであらう。

委員長ポール・モンロー博士は、世界の人々が互に他を正當に評價し得ない原因の一つは未知といふことにある、と先程申された。事實言語學に依ればこのことが明白に立證されて居るギリシャ時代より傳つてゐる「バーバラス」(barbarous) (野蠻な) といふ語は大抵の人が知つてゐるが、始めこれが「未知」を意味する語であつた事を知つてゐる者は尠い。ギリシャ人は未知人を總て野蠻であると考へた。我々が未知人に對して凡ゆる僻見邪推を抱くことは屢々起ることである。この同じ事實を證明する語が英語にもある。「アンクース」(uncouth) なる語は、未知を意味する古語から出たものであるが、不幸にもこの語は、粗暴な、未開の、無作法な、といふ意味を有する樣になつた。他人を目してアンクース (無骨、粗暴) だと呼ぶ場合、それはその語の起源に於ては、その者を知らないといふことを意味するのである。それ故、その者を知らないの故のみを以て彼を粗野なりと考へるのは正當ではないのである。

成る程この日本に來る迄我々の多くは、この國の人々に種々の僻見を抱いてゐたのであるが、幸ひ滯在により僻見の幾分を除くことが出來た。我々は日本人の生活と文明との如き方面の幾つかを、書物からではなく、人々との事實上の接觸によつて知り得た滿足を以てこの國から歸ることが出來るものと確信するのである。この原則を心に留めさせ、若い人々を訓練して他人種の如き性質と成果とを正當に評價せしめると言ふことは學校及び專門學校で教へられる殆ど總ての學課に於て可能である。他の國々に於ける勝れたものを正當に認識するの訓練を爲すに絕好の機會を供する地理科は、特にその責任大なるものがある。生徒をして、己の國のみが世界に於ける唯一の偉大な國ではないことを理解せしめねばならぬ。イギリスの或る作家が、ロンドンへ數度行つたこと以外に旅行したことのない田舍の素

封家の話を書いてゐるが、その男はイングランドは世界最大の川と最大の山とを有してゐると考へてゐたと云ふ。斯かる心の態度には、地理教育が良き矯正者とならねばならぬ。幸ひ地理教育近年の發達は目覺ましく、もはや一聯の名稱を連ねて生徒をしてこれを記憶せしめるの慘めさはなくなつた。地理教育は教授宜しきを得れば、極めて人道的な性質を持つ學課であつて、單に他國の自然美のみならずその國民の日常生活及び文化の勝れた點をも正しく認識するの力を必ずや得させるものである。

傑れた美術作品に示されたる人類の偉大なる業績一切を理解する一手段として教へられる藝術の課目も亦、國際理解の增進に役立つものに違ひない。世界の大藝術は獨り一特定國のみに發祥するものでなく、總ての國の貢獻に依て生れるものだからである。

文學の與へる同樣の機會も亦大きい。世界の最大の文學作品に表はれてゐる美は、廣く全人類の偉大なる人々の協力に依る所產であつて、一國民の技能の表示ではないのである。それ等は色々の國民の貢獻より成るものである。何となれば我々はホーマー（Homer）の明晰と活力、ヴァージル（Virgil）の嚴肅、ダンテ（Dante）の宗教的深さ、シエクスピア（Shakespeare）の驚くべき人間性の理解、ゲーテ（Goethe）の哲學的深遠さを有してゐるからである。若しも寛容の神が天才を所謂選民のみに附與し、恵澤の御手を以てそれを全世界に散布し給ふことがなかつたならば、これ等巨匠成果の綜合せられたものは我等の手近には得られなかつたことであらう。申す迄もなく大文學の完全な理解は、自國の傑作のみならず、假令原文に依らずとも少くとも飜譯によつて諸國の大傑作に接する事を常にその要件とするものである。小學校兒童の場合にこれを實行することは尙早に過ぎるかもしれないが、大學の學生の場合に於ては斯かる廣き視野を主張すべき機會が確かに起るものと考へられる。

しかし乍ら、國際理解の教育に最も大きな活動の餘地を持つものは歷史教育である。上述のゼネヴァに於ける教育専門家委員會に於て我々はこの問題に深い關係のある多くの建議案を作つた。我々の提案の一つは、人種的苦難の痕を除去する爲に全世界の歷史教科書を改訂すべしといふことであつた。これが意圖する處は兒童の教科書は色彩のない、愛國的熱意に乏しいものとせよといふのではなく、兒童は自國に限らず他國の英雄をも尊敬する樣教育さるべきであるとし、國民間に惡感情を釀成し易い事柄は十分氣を付けて避くべきであるとするのである。

この事に就て余はイギリスがナポレオンと交戰中にあつた一スコットランド婦人の話を想起する。即ちたま〳〵或人が、フランス人はナポレオンの勝利を祈つてゐるといふことを彼女に語つた處、彼女は振返つて曰く「何ですつて、どうして祈つたり出來ませう。神樣はフランス語を御存じですか」と。神は英語のみを知つて佛語を知らず、故に明かに神はイギリス人のみの味方であつて他國の味方にならないものだ、とこの善良な婦人は正直に考へてゐたのである。歷史を世界の人々の悲痛な爭鬪の野外劇としてでなく、平和と文明とに於ける人間の業績の記錄として兒童の前に提示することも亦望ましい。

我國に於いて我々が當面してゐる大問題の一つは、宗教の增加であつて、これは國民の間に不和を生ぜしめる原因となることが多いのである。これは慶賀すべきことではないが、世界に多くの宗教があるといふ單にそれだけの事實が、國際理解の障害となるとなすには及ばない。要するに宗教的示現は一國民の專有ではあり得ぬことを理解し、神への接近の道は多樣にあることを知らしめるのは善いことである。余自身の信仰する宗教の重要な教義の一つに、神は種々の名により呼ばれてはゐるがその本體は唯一つであるといふことがある。一大都市に通ずる道は多樣にあるが如く、多くの宗教も結局同一の神への道程を爲すものであることを、我々の經典は繰返し主張してゐる。唯一つの太

陽が色々の場所の水に映るが如く、唯一つの神が多くの宗教の中に現はれるのである。唯一本の絲が頸飾の多くの眞珠の玉を置いてゐるが如く、世界の諸宗教には唯一つの神が存在する。これは教室に於て忘るべからざる教訓である。

過日アメリカを旅行中、、余はたま〳〵食堂車に於て日曜の朝の祈りをしてゐた黑人と語る機會を得た。彼は祈禱を濟ませたばかりの所で、彼の先人の多くが爲すが如き敬虔さを以て聖書を讀んでゐた。彼には余にクリスチャンではないかと尋ねた程余が親切に見えたらしい。余はクリスチャンでなく印度教徒である旨を彼に告げたのであるが、その少年は滿足げな笑みをたゝへて曰く「でも貴方はクリスチャンの樣です」と。これと同樣に余も亦立派なクリスチャンを見た時には、貴方は印度教徒の樣です、と云ふことが出來る筈である。何となれば人類によつて貴しとせられる品性が表はれてゐる限り、如何なる宗教を奉じようとも問題でないからである。

人々が屢々陷る共通の誤りは、國粹主義と國際主義との間には或種の必然的な相剋があると想像することである。しかし乍ら正しく理解するならば斯かることはあり得ない。眞の愛國は世界提携への第一步に過ぎないのであるからルドヤード・キプリングは言つた、「神は世界の各國民に一つの國土を特に愛する樣に命じたけれども、總ての國民に全世界を愛する樣に與へ給ふたのである」と。我々が或る地とその土地の風景とを非常に愛好することはあり得るが、しかしそれが爲に世界の他の土地の美を評價し得ないといふことはあり得ない。若し余がアグラ(Agra)のタジユマホール廟(Taj Mahal)を誇るとしても、アテネのパルテノン廟(Parthenon)をも好むことが出來る。若し余が母國のヒマラヤ山を讃美するとしても、アメリカ大陸のロッキー山の偉大さが解らないと云ふ譯はない。若し余が自國の婦人の優美と魅力とを讃へるとしても、世界如何なる土地の美人に對しても稱讃者たり得るのである。

全世界の若人にこの意味に於ける國際理解を人間最大の關心事として吹込むことの必要を、余は結論として諸氏にお薦めしたい。我々がたま〳〵色と形體とに於て異るが故に、又時に山川に依る明確な線もなく唯全く、想像上の線によつて分たれたに過ぎない、境界線の彼方に生活するが故を以て、互に愛さないといふことは間違つてゐる。このことに就ては教員たる者が重要な役割を演ずるのであることを余は疑はない。而してこの理想實現の曉には、この定期的教員の集會がその達成に少なからぬ任務を果したことが判ると思ふのである。

學校を通じての世界平和

ニューヨーク萬國博覽會理事
國際商業會議所アメリカ部委員　ハーバート・S・ヒューストン

この世界聯合教育會は、世界平和なる大目的の下に生れたものである。玆に古き皇國日本の首都に集つて、世界平和促進の試みが各國の學校に於て如何なる成績を擧げて居るかを考慮してみようといふことは、誠に機宜を得た事柄である。

東京へ來る途中經由した多くの國々を一瞥したところでは、我々大多數の者をして平和の促進は實に遲々たるもの

があり又微々たるものがあることを思はせるものがあつた。支那の萬里の長城の城壁近く響く砲聲、恐ろしい無慈悲な暗礁に乘り上げてゐるスペインの内亂、世界各國の軍事訓練及び建艦競爭――これ等は我々が向ふ所必ず知慧の樹に實るを見る奇妙な果物であるといふべきであらう。我々はヘンリー・ウォード・ビーチャー（Henry Ward Beecher）が、キリスト教は地に陷ちたりやといふ質問に對して答へた有名な言葉を思ひ出す。言下に彼は答へて曰く、「否、キリスト教を試さうとしたものもないのだ」と。このキリスト教を試してもみなかつたといふことが斯く多數の奇妙な木に奇妙な果實を實らせた理由なのかも知れない。しかしそれは兎も角として、少くともこれだけは眞實だと言へる。卽ち、始めこの聯合教育會が植付けた所の平和の樹は未だ枯れてゐない。そして今も尙これに實るべき果實は列國の病を癒す糧となる樣に、賢明な忠告に依て育て上げ、何者をも恐れぬ識見の下に導いて行くことが出來るかも知れぬと云ふことである。これがこの東京大會に來朝された何千人の教師方の希望であると私は確信してゐる。

まづ結成當初の事を考へてみよう。當時世界は戰爭を絕つ爲の長い戰を終つたばかりの處であつた。そして何れの國もその戰に敗れたものである事は今や一點の疑もない事實であつた。其處に國際聯盟なるものが人類の爲の新しいより友好的な家をつくる橋渡しにもとてジュネーヴに設立せられたのである。しかし總てその大切な土臺石の一つがヴェルサイユ條約である事が解つて來ると、聯盟は砂上に建てられた家では無いかと多くの人から危ぶまれるようになつて來たのである。世界聯合教育會が創設せられたのは丁度大戰直後のこの當時のことであつた。その第一に着手した仕事は、世界の學校は如何にすれば世界平和の爲に盡し得るかといふ方法を見附け出すことであつた。アメリカの製造業者として成功してゐたドイツの理想主義者ラファエル・ハーマン（Raphael Hermann）が幸にも、當世界聯合教育會を草分けの苦鬪時代天才的に指導して行かれたオーガスタス・O・トーマス博士（Dr. Augustus O.Thomas）の人格に傾倒するに至り、その結果、學校を通じての平和促進の最上の教育案に對し、二萬五千ドルのハーマン賞金（Hermann Award）がかけられる事となつたのである。私は光榮にも審査委員の一人に選ばれ、十數ヶ國語二千に餘る應募案選定の任に當つたのであるが、三ヶ月間入念に審査考究を行つた結果、衆議一決して、當時のリーランド・スタンフォード大學（Leland Stanford University）名譽總長デーヴィッド・スター・ジョルダン博士（Dr. David Starr Jordan）の案に賞金が與へられることになつたのである。後この案はハーマン・ジョルダン案（The Hermann-Jordan Plan）と稱せられ、世界聯合教育會がこれが實行の責任をとることになつた。今日迄のその業績は當會議の部會に於て御聞き及びのことゝ思ふ。それが本會の記錄なのであり、しかも將來甚だ有望に思はれるのである。しかし乍ら我々の仕事は今迄の所まだほんの端緒に着いたといふに過ぎず、爲すべき事が猶多く殘されてゐるのである。若し共同戰線の下に平和の軍隊が健全に動員されるのでなければ、世界は牙と爪のみが總ての問題の唯一の解決者とせられ、又斯く公然と宣言され密林の生活の野蠻性に歸るであらうと言ふは過言であらうか。今日はどんな人を脅かす樣な言葉で世界の成行を語つた所で、驚かし屋の名を頂戴しないでよいのだ。

しかし乍ら私は、世界に對する一切の希望を棄てた豫言者ジエレマイアとして東京へやつて來たものでないことだけは取敢へずお斷りして置きたい。事實、ニューヨーク萬國博覽會の極東派遣委員としての私の本來の使命は世界に對する勝算ある希望の上におかれてゐるのである。この博覽會が敢然として宣言せる標語は明日の世界の建設と云ふ事であるが、我々は人類にとつての幸福な世界は決して密林の中に打建てられるもので無いことを知つてゐる。此處に於て私は、世界は猶離反と破滅の淵から救ふことが出來ると信ずるが故に、協和と共同戰線の結成を強調することになつたのである。猶こゝに喜んで御報告申上げたいのは、かゝる動員が既に行はれてゐるといふことである。私は

先程ベルリンで開かれた一年おきに開催される國際商業會議所會議に、アメリカ代表として出席して來たのであるが、三十五ヶ國より參加された千人の代表諸氏は、世界は經濟的に一體であり、永久の平和は世界に經濟的正義の行はれた時始めて齎らされるものであることを宣言した。又かゝる經濟的正義の到來を少しでも早くする爲種々の計畫が打立てられたのである。ドイツではかく經濟的方面から平和に向つて進む事が强調されたが、日本では教育上より平和に向つて進む事が强調される様主張したいと思ふ。ベルリン會議の開會中、主な出席者が世界中へ放送をしたが、その主題は國際貿易を通じての世界平和といふことであつた。當聯合教育會はその問題へ向つて既に教育上から歩み寄つて行かうと試みてゐる。そしてこの會がその歩みを擴大して行くに當然の、公認された機關であることは事實である。併しその方法や如何といふ問題が早速起つて來る。私は玆にジョルダン博士がその原案に指示された方法を申上げ、當聯合教育會がこれを受け入れてその事業の一端とせられ、既に試驗濟の教育上の經驗及び健全な教育上の研究を參照して、この計畫を廣く實施して行かれる様お願ひしたいと思ふのである。

その方法とは、凡ゆる適當な手段を用ひて、各國の學校が世界の國に殘らずの風俗、習慣、生活狀態といつたものを明確に、しかも面白く、如實に示す様な教育映畫を採用することである。この遠大な計畫を實行するに當つては、私は有力な存在たる彼の國際商業會議所から積極的な協力を得る事が出來ようと信ずるのである。ベルリンでは國際商業會議所の會長としてニューヨークのトーマス・J・ワットソン氏（Mr. Thomas J. Watson）が選ばれたが氏はコロンビア大學、ニューヨーク大學、その他諸大學の評議員として教育及び平和に對する積極的な熱情を示されてゐる人である。氏は又映畫教育主張者で、全世界に及んでゐる彼の大事業には映畫を利用されてゐる。主として氏の指導の下に國際商業會議所はカーネギー國際平和資金（The Carnegie Endowment for International Peace）を以て世界の經濟調査に乗り出し、世界的教育家であり且政治家であるニコラス・マレー・バトラー博士（Dr. Nicholas Murray Butler）をしてこれを擔當せしめることとした。右の調査は完了して最近發表され、既に經濟思想及び行爲に著しい影響を與へてゐる。しかし若しこの調査研究の結果が、世界中の上級學校、大學に於て、教育映畫として映寫されたならそれこそ效果は絕大なものとなるであらう。

東京に於て、世界聯合教育會が國際商業會議所に對し、廣く全世界に亙る積極的な協力を求め、人類の關係、經濟上の基礎的事實等、彼のクラーク大學（Clark University）の教授ウヰリアム・アトウード博士（Dr. William Atwood）が目して以て、人文地理と爲す處のもの全般に亙る知識を與へる爲活動寫眞を利用するようにしたら如何であらう。

この教育に依る世界的平和戰線に於て我々の味方たるべきものは決して國際商業會議所及びカーネギー資金のみではないのである。卽ち當會議に出席出來なかつたことを非常に遺憾として居られるステフェン・P・ダブリン博士(Dr. Stephen P. Dublin)の優れた指導の下に活躍してゐる國際教育協會(The Institute of International Education)あり、又私が六月にニューヨークを出發する一寸前、ロックフェラー財團はイングランド全土に亙つて行つた映畫教育に關する調査を完了した。この調査は永年に亙り映畫教育界の權威たるディーン・マックラスキー博士(Dr. Dean McCluskey）を指揮者とし元のノース・アメリカン・レヴュー紙（The North American Review）主筆でありマクミラン書肆（MacMillan）發行の「映畫の影響下にある子供」(Our Movie Made Children）の著者たるヘンリー・ジェームス・フォーマン(Henry James Forman）の協力を得て行はれたものである。(このフォーマンの著書は御承知の如く、映畫の兒童の行爲、健康及び性格に與へる影響についての有名なペイン資金（The Payne Fund）研究

を分り易く纏めたものである。）全世界の人からその死を惜しまれてゐる實業家にして教育家たり且政治家であつた故フランク・A・ヴアンダーリツプ氏（Frank A. Vanderlip）はこの調査から非常に深い感銘を受け、實業教育界及び出版界の有力者五十名をニューヨークの大學クラブの晩餐に招待し、これら調査の結果を聞くと共に、これに對して何等かの考慮を加へようとしたのであつた。モンロー博士同様、私共もニューヨークでは方々の晩餐に招待されるが、この晩餐會だけは當日出席した誰もが感じたやうに、新しい有力な現代教育機關の出來る事と何か密接な關係がありさうに思はれたのであつた。この晩餐會が大體に於てその發端を爲して、現在公共心に富める人士の財政的援助の下に、非營利事業として、右ロックフェラー財團の調査の結果を實行に移してゐる映畫協會（The Motion Picture Foundation）なるものが生れ出たのである。この仕事は倫理的價値が極めて高く、世界の有力教育家諸氏の支持を必ず得るであらうと信ずる。卽ち此處にも平和戰線に於ける世界聯合教育會の味方があるのである。猶右映畫協會は世界的基礎の上に計畫されて居り、主として學校教科書に對應し且これと平行して用ひられるやうな優秀な教育映畫の製作に專念することになつて居る。しかし教師の立場から言つてこの映畫協會の最も大切な點は、人種的、宗教的、國家的その他如何なる意味の偏見にも捉はれる事無く、眞の科學的精神をその基調として映畫製作に當つて居るといふことである。卽ち、遂に此處に最近のロックフェラー調査により示されたるが如き、不當な利益を貪らんが爲の學校使用竝びに宣傳の爲の學校使用といふ映畫教育計畫が乘り上げた二つの暗礁を避くべき良心的な努力が現はれて來るに至つたのである。私の友人、現にアメリカの教育委員として腕を揮つてゐるジョン・W・ステユードベーカー博士（Dr. John W. Studebaker）は——實は私からお話しする資格は無いのであるが——映畫協會の大計畫をよく承知して居られ、大いにこれは研究するの價値があるものと信じて居られることだけ申上げておく。そして私はジョルダン博士の授賞案の審査に與つた者の一人として、この東京大會に於て國際委員會が任命せられ、國際商業會議所、映畫協會、カーネギー資金、ロックフェラー財團及び聯合教育會の加盟團體を有する國々の教育當局との間に廣くこの問題全般に亙る事業に就ての協力の行はれんことを提議したい。大體に於て世界の凡ゆる平和促進機關を總動員するの考へを以て、特に各國の學校に於ける世界に對する健全な認識力を養ふ爲の教育映畫の效果的使用方法を檢討するの見地から、この仕事を進めて行きたいと思ふのである。もしかゝる委員會が設置される事となれば、私はこの委員會の爲に、十八年前パリーで設立を手傳つた國際商業會議所竝びにフランク・ヴアンダーリツプの晩餐會の時に支持を約した、映畫協會との提携斡旋に一臂の力を籍すに決して吝かならぬものである。

この會議に於てこれを行ふことを主張する所以は、多數人を糾合する聯合團體は大いにかうした事業を指導し、擴大し、更に親密的ならしめる力を持つと考へるからである。極東への旅行の途中私は幸にもロシアがこの方面に於て行つてゐる大事業を聊か乍ら見學する事が出來た。駐米ロシア大使からモスコーの教育人民委員に宛てた手紙を貰つて行つたので彼を通じて更にロシア政府の教育映畫委員に會見する事が出來た。この人からロシアの學校で使用されてゐる教育映畫を少し見て行かぬかと勸められたが、ロシアでは五千に餘る學校でフヰルムを使用してゐるとのことである。私の見たものは何れも非常に面白く出來てゐて、ロシアがこの問題に多大の注意を拂つてゐることが知られた。大ロシア聯邦のなし得ることなら他國も亦これを爲し得る筈である。若し大同團結成り、世界の主要國の殆ど全部が協力する樣になるとしたら、大きな仕事を行ふことが出來るであらう。例へば、何百萬といふ諸國の兒童は現在よりも遙かによく友邦人のことを知る樣になるであらう。旅行は大教育家なりとよく言はれるが、若しこの案にして實施せられるならば、費用をかけずに團體旅行が得られるといふものである。

最後に、皆様方が私の話を聞き乍らお考へになつたかも知れないこの案に對する最後的反對をとり上げて見たいと思ふ。恐らく、世界に現在跳梁してゐる國家主義の潮流の最中に、どうしてかゝる案の成功が望めようと心秘かに疑つて居られたであらう。そして各國が自國の兒童を教育するに方つて、特に自國の事より他國に關する事項を教へるに方つて、極めて細心の注意の下にこれを監視して居ることを指摘されるであらう。この疑惑に對し私は二つの明確な囘答を與へたい。第一は、近年フランス、ドイツ、ロシア、及び日本に於て私自ら調査してみた結果、世界に關する事實をそのまゝ教へる事に反對してゐるといふ話は極めて誇張して云ひ觸らされた言葉であることを知つたこと。第二は、萬一反對があつた所で、この世界聯合教育會により任名された知名教育家から成る國際委員會が勸告すれば、まづ〳〵これを克服し得るであらうと云ふことである。聯合教育會で推薦した世界に就ての教育映畫に對して學校の門を閉ざさしめ、「光榮ある孤立」に立つことを願ふ國があらうなどとは思へない。萬一極端に國家主義的傾向の强い國があつてかゝる排他主義を主張するとすれば、この時は他國から隔離された自國の生活及び進歩につき映畫を製作してみればもつと自由な主義に轉向せざるを得なくなるであらう。或は、アメリカの映畫事業を司る賢明なウヰル・ヘイズ（Will Hays）が商業映畫に關して諸會社に適用した様な分前制度を發展させてもよい。この世界聯合教育會が斯かる計畫を實行する意志を示しさへすれば大多數の國々の學校を通じて、世界についての光と知識とを擴げる方法が、必ずや見出されるに違ひないと云つても敢へて過言とは云へないであらう。

かゝる遠大な計畫をその事業とすることにより當世界聯合教育會の目的と力が强化せられてゆくことは何人の眼にも明かな處である。假に今の時代の人達が確固たる地盤の上に平和を樹立するの勇氣を缺き、これを爲し得なかつたとしても、少くとも次の時代の人達の爲公明にして完全且眞實な知識を用意し、彼等がその上に永續すべき希望の下に平和をうち立て得る樣にしてやる義務に目醒めしめることは出來るであらう。此處に大きな機會が與へられてゐると私は信ずるものである。

閉會の辭

世界聯合教育會長　ポール・モンロー

今週私は幾度もかういふ質問を受けた。「聯合教育會の眞の目的は何か。今迄に何を爲したか。今何をしてゐるか。これから何をなさうとしてゐるのか」。前にも何度も同じ質問を受けてゐる。全く自分でも聞いてみたいと屢々思つたことであり、今夕諸國の文化の集合を通じ皆さんに伺つてみたいと思つてゐる。

今迄の討議の主題に自ら現はれて來たが、國々の文化には一つの共通した脈があつて、これが今の質問に答へてくれる。我々は日常生活に於て果實、花卉、野菜、穀物、その他人間以下のものゝ世界では、種類及び品種の混合受精作用を行ふのでなければ、何の進歩もないといふことを承知してゐる。そして近年の園藝による進歩は實に著しいものがある。日本に暫く滯在してゐただけでも、どれだけの進歩が行はれたかお分りにならう。この人間以下の生物界

の品種及び種類について言へることは人間の文化にも當嵌まるのである。人間の進歩は受精作用により、思想の混淆により、文化の基礎的要素の混淆卽ち當會議及びその部會に於ける思想の着色を通じて行はれるのである。この樣なものは理想の受精栽培を通じて文化の混淆を發展せしめるといふ大きな目的の一部に過ぎないのである。そして文化の混淆といふことが今夕の諸文化のこの集會に於て强調された所の理想である。そしてこれは聯合教育會が受精作用に大いに役立たせるものと考へてもよからう。

猶一つお知らせがある。當大會にはもう一度總會がある。これは土曜の晩八時からこの講堂に開かれる筈である。今迄の會議ではいつもこの第三總會を主として各文化國の簡單な報告及び挨拶に當てる慣例であつた。今度の大會には三十ヶ國の代表が參加されてゐるが、全部の國からお話をきく譯に行かない。しかし本會議の掉尾を飾るこの晩には多數の方が演說される筈である。どうぞお遲れなく御出席を願ひたい。

寄稿

ドミニカ共和國の教育制度

横濱駐在ドミニカ共和國總領事
ドミニカ共和國政府代表　ラモン・メネンデズ

ドミニカ共和國（Dominican Republic）に於ては、所要の肩書を持ち、勤續一年に及んだ教師はその地位の保證を受ける。所要の肩書としては師範學校卒學生であるか、さもなければ得業士の學位があれば十分である。大統領令百四十四號を以て無資格教師の爲には特別檢定制度が制定せられて居る。卽ち三級の資格を與へられたものは教師なる事が確認され、二級に屬するものは四年目毎に、一級の者は二年目毎に試驗を受けねばならぬ。

各地方廳若しくは都市には自らの管理する學校は無く、たゞ小學校の建物の使用料、敷地代、設備費、維持費のみを負擔する。

學校の種類は法律で三種に分けられてゐる。(一) 費用全額を國家で負擔する官立學校。(二) 國家から補助を受ける半官立學校。(三)・私立學校。

半官立學校も政府の監督を受ける必要があるが試驗、考査等が公的價値を有するのは、ひとり官立學校だけである。私立學校は自由にやつてよいが、初等教育では少くとも國家の教育案に副うて敎へることになつてゐる。

官立學校は普通人が管理するが、國家から補助をうける學校や私立學校の中には宗教團體の經營する學校もある。初等教育は義務制で月謝を徴收しない。學校教育の各段階は次に述べる通りである。

(一) 幼稚園　現在あるのは補助をうけて居るものと私人經營のもののみである。

(二) 地方又は都市の初歩學校　これは修業年限三ヶ年、特に農業教育に意を注ぐ。この種の學校は全部果樹園を持ち、教師は農務省から常に指令を受ける。

(三) 國境學校　ハイチ (Haiti) 國境地方の需要に應ずる爲、特殊の教育方法を採つてゐる。

(四) 成人の夜學校　これは晝間學校に行かれぬ人々の爲に存する。

(五) 小學校　これは二部に分れ、初等小學と高等小學がある。初等科には三段階あり、全部で六ヶ年、高等科は第四段階となるわけで、期間は二ヶ年となつて居る。

(六) 高等學校　これは物理學、數學、自然科學、哲學、文學につき得業士の稱號を授ける。

(七) 師範學校　これは初等教育、中等教育の正教師たる資格を授ける所で、初等教員の資格を得るには生徒は高等學校の課程を三ヶ年、教授法を一ヶ年勉强する。後者の資格を得るにはまづ得業士の學位をとり、次に教授法の課程を修める。

(八) 職業學校　これは男女の實業學校、商業學校、各種の技藝、手藝、家事經濟、商業、體育を教授する學校の類である。

(九) 大學、これは醫學部、法學部、工學部、藥學部、齒科、哲學部、文學部を包含し、三種類の資格が與へられる。(イ)は狹範圍の學問、例へば產科の如きに與へ、(ロ)は大學の課程を終了したもの、例へば法學、農學等の學士であり、(ハ)は博士號である。

統計上の事實。

一九三五年末ドミニカ共和國にどの位の學校があつたかと云ふと、大學一校、師範學校六校、音樂學校六校、繪畫彫刻の美術學校二校、手工藝學校二校、女子實業學校二校、家事經濟學校五校、不具兒の爲の寄宿學校一校、職業學校三九校、補習學校一六九校、都市初等學校二四九校、地方初等學校一、三九四校で、この中一、一二四校は晝間の學校、七七二校は夜學校で、合計一、八九六校である。

出　席　數。

一九三五年末に於けるこれ等諸學校在學者總計は九九、七〇〇名で、その中五二、六七〇名は男子、四七、〇三〇名は女子である。この總計を學校種別に分けると、初步學校に六八、二〇七名、初等小學校に四三、五六一名、高等小學校に一、八三八名、高等學校に一、四〇一名、職業學校に四、四九三名となる。

ラファエル・ツルジロ大統領 (President Rafael L. Trujillo) 治下に於ける教育の進步。

ツルジロ政府が第一の急務としたのは、學校教育の改善と、教育制度の改正であつた。今やこの教育制度も學生に便宜な實際的な樣式に統一され、同時に特に農業國たる當國の要求に副ふやうに改正せられたのである。

今日ではドミニカ共和國の教育制度は日に日に多少なりとも進步してゐると云へるのである。卽ち今日はそれが新しき學校となり、明日は一文化機關となり、明後日は圖書館か學術硏究の協會への補助機關となるかも知れないので

ある。かくて人民の教養の水準を高め、無學文盲を根絶せん爲に始められたこの十字軍は瞬時の休みもなく、當共和國の全土に日を追ふて行き渡つてゆくのである。

教育方面に於ける大統領の業績を、一々こゝに述べることは不可能であるから、上記の言葉を證據立てるものとして二、三の事實を擧げて見ることにしよう。

學校果樹園。

農村生活に備へる方法として初等學校で農業を敎へることは、現在の政府が實行した根本的改革の一つである。政府はこの目的の爲に全國に千餘の學校果樹園を設立した。これらの果樹園に於て生徒は土地の耕作や諸種の果樹の育成方法に關する教育をうけ、最も優秀な成績を得たもの及び最も熱心なものに對しては賞が與へられる。各教師の他に農務省の監督官が常にこの種の學校で生徒を指導し、かくて土への愛を子供の心に芽生えさせ、その子供の將來の仕事と幸福との確固たる基礎を作つてやるのである。

國境學校。

從來この種の學校は事實上顧られず、ハイチ國境地方の多數の人々に對しては數的に十分でなかつた。現大統領はこの種の學校を三十校創設し、既存のもの十校に合せて學齡兒童千餘名の收容にあてたのである。

夜　學　校。

現在までに大統領はこの種の學校を五百以上設立した。その目的は晝間學校に行かれぬ人達に學問を授ける爲で、現在五千名程の生徒が學んでゐる。

手工藝學校。

一九三〇年迄は全國に一校もなかつたが、現在では二校で、一はキウダッド・ツルジロ (Cindad Trujillo) に他はサンチヤゴ (Santiago) にあり、こゝで學生は模型製作、家具製作、大工仕事、電氣學、製本法、皮細工を習ふ。

この他土地と二萬ペソとを寄附した大統領の支援下にカトリック教團の技藝手藝の學校が最近首府に創設され、全國各地の青年多數が各種職業の實地教育を受ける機會を得らるゝ事になつた。

家事經濟學校。

ツルジロ大統領がその職について以來、この種の學校が五校、キウダッド・ツルジロ、サンチヤゴ、サン・ペドロ・ド・マコリス (San Pedro de Macoris)、サン・クリストバル (San Cristobal) 及びサマナ (Samana) に設けられた。こゝで若き女性達は家政に關する各種の知識を授けられる。この學校には召使の爲の特殊講座もある。現在サンチヤゴの學校には約二百名、キウダッド・ツルジロの學校には約四百名の生徒がゐることを考へればこれ等の學校が如何に重要なものであるかゞ肯けるであらう。

女子實業學校。

この種の學校は以前數校あつたが管理が不統制であつた爲に益する所少く、現大統領はこれらの學校を二校に減じ、一はキウダッド・ツルジロに他はサンチヤゴに置いた。これが目的は管理の萬全を期し、學校に必要な最新の材料と設備を整へ、以て裁縫、刺繡、模型製作、製帽等の技藝に依て生計を立てんとする女性の爲の實際教育を行はふとするにある。

學　校　建　築。

全國的にどの學校も大いに改良された。多數の地方の學校はそれ〴〵新校舍が出來、他の多くの都市の學校も改良

され増築された。又校舍が美しい近代建築となつたものも少くない。

他の教育的文化的活動。

ツルジロ大統領は國民の文化生活の保護者と云ふ立場から次の様な事に意を注いで來た。

一、スポーツの奬勵及び學校の軍事教練實施。

一、十二の學術團體の統一。

一、一切の官立學校の制服の統一。

一、家庭と學校の關係の緊密化をはかる爲に「學校の友」と云ふ會を組織したこと。

一、國內の學校全部の定期教育會議開催。

一、ドミンゴ國民たると居留外國人たるとを問はず、當共和國の大衆に益ありと認められる事項に關する著作ある人々の著書の發行。

一、國內の法令とか、ドミンゴ人の義務に關する金言集の編纂と發行。これについては大統領は個人的に熱心に協力して、國民の公民精神の發揚に努力して居る。

一、キウダッド・ツルジロにあるドミンゴ文藝協會（Dominican Atbeneum）竝びにサンチヤゴの愛光者協會（Society of Lovers of Light）に補助を與へ、この權威ある二機關の存立を助けると共に、その本來の目的たる科學及び文藝の普及と云ふ尊い使命を遂行させること。

一、國立博物館の改增築。これも現在では國家の重要なる施設として相應しいだけに向上し、連日國民文化に關心を有する人々から得難い寄贈をうけてゐる。

その他多くの活動については冗長に亙るのであと二、三を擧げるに止める。

一、特に中等程度に適したエラヂオ・ホムスのドミンゴ版の讀本、作文書二萬部を大統領が田舍の子供達に贈つたこと。

一、第一回美術工藝展覽會の開催。陳列品は三千を越えこれに依てドミンゴ國民の從事してゐる各種の仕事を紹介すると共に、學校に於ける手工藝教授の參考に供したこと。

一、ドミンゴ歷史學會の設立。ドミンゴ歷史の研究を奬勵し、歷史の年代や資料に關し所要の整理を加へしむ。

一、國立大學に哲學文學部を新設したこと及び同大學に農業、獸醫、政治の諸學部創設の計畫を樹てたこと。

一、委員會を創設して國家的記念物の保存、國立博物館の改良、歷史上の遺蹟遺物の管理にあたらしめたこと。

一、經濟學を小學校から教へ始めたこと。

一、强制學校貯金の制度を設け、これを特別貯蓄口座に積立てさせたこと。

一、學校用として農業地圖を作成したこと。

一、一課程を修了する每に學校展覽會を開催すること、特に職業學校、地方初步學校等に於てこれを行ふ。

この報告を終るに先立ち、ツルジロ大統領は、學校教育振興計畫の手初めとして、各種學校造營物改增築の必要を主張したと同時に、ドミンゴ共和國の學校教師竝びに生徒に必要な種々の教材を豐富にし近代化する事に意を注いだ事を申述べて置きたい。

教育美術省は最近迄キウダッド・ツルジロのカレ・ホストス（Calle Hostos）にある古い見すぼらしい建物の中にあつたが、大統領の建設的な熱意によつて床や壁の修理を行つたお蔭で現在では廣い近代的事務所を持つ豪奢な建物

となつた。

全國各地の師範學校、家事經濟學校、手工藝學校、都市小學校等々は大部分この數年間に增築され、攻良され、中には校舍を新築して貰つた學校もある。中でも特筆すべきものはラ・ヴェガ（La Vega）市に最近新築された師範學校の大校舍である。初步學校の設備ある地方の町村には、益々增加する生徒を收容する爲に土臺と床はコンクリート造りの美しい木造の村舍が建てられた。都會から遠く離れた、まれには小聚落に至るにさへかなりの距離のある樣な非常に邊鄙な地方でさへも、初步學校の建物は綺麗な近代的なものになつてゐるし、他事は差し措いても兒童の衞生と慰安の爲には意を用ひてゐる。以上の外、勿論教育美術省は共和國の學校の生徒一人々々に對して、机、教科書、帳面、鉛筆等の必要品は十分供給出來る樣に注意してゐる。この方面に於けるこの省の活動ぶりは全く賞讃に價ひするものがある。

國立博物館。

ドミンゴ共和國の國立博物館は教育美術省の管轄下にあるが、長年等閑に附されて來て、建物に對しても貴重な珍しいその所藏品に對しても殆ど注意が拂はれなかつた。ツルジロ大統領はこの懈怠を改める事の極めて喫緊事であることを認め、一九三五年末その建物全體の改築に着手した。爲に國立博物館は近代建築物と化し、廣い採光の好い部屋々々には今では美しい飾戶棚の中に、國民の眞の誇りである凡ゆる方面のさまぐの價値ある遺物が陳列されてゐる。同博物館の多くの陳列室の中でも次に述べるものは特筆に値するものである。

一、考古學關係のもの。この中にハイチ島土着の黑奴達が作つた偶像や諸種の像がある。

一、近代藝術に關するもの。內外人の手になる貴重な繪畫が陳列されてゐる。

一、武器に關するもの。各時代を通じて國民の政治生活に重要な役割を演じた多數の武器その他がある。

イランに於ける教育

東京駐在イラン代理公使　アリ・モハマッド・シェイバニー

諸君は今夕澤山の講演を聞かれて、もう多少堪能された樣でもあり、殊にこの暑さではどこか涼しい場所に行きたいと考へて居られると御察しするが、もう四五分の御辛棒を煩はし度いのである。

まづ我國の國號について少し述べさせて頂き度い。と云ふのは、多くの同僚や友人に我國が何故に國號を改めたかと尋ねられたからである。我國は國號を改めたのではない、他國人には耳なれない樣に思はれるこのイラン（Iran）なる稱號は六千年以上も前から我國の國號であつたのである。

イランはイラン國民には常にイランと呼ばれてゐるが、イランなる語は二年前迄他國人により「ペルシャ(Persia)ペルス（Perse)、ペルシアン（Persien)、ペルシスキ（Persiski)」等と誤り譯されてゐたのであり、ペルシャとはイランの南部三大地方の一名稱に過ぎないのであつて、その名を「ペルシャ灣」（Persian）と呼ばれる灣に附してゐる

るのである。故にこの灣は必ずペルシャ灣（イラン灣ではなく）と呼ばれねばならず、又その地方のみがペルシャと呼ばるべきであつて、帝國の全土は六千年以上の昔よりイランと呼ばれねばならないのである。

イランなる語はアリヤ（Ariya）又はアイリヤ（Ayrya）（〝正確なる〟又は〝忠實なる〟の意）と呼ばれてゐて時代は判然しないが、非常に古く住んでゐた民族から來たものである。彼等は、これ又判然しないのであるがいつの時代にか、世界の他地方へ移動した。この場所もその當時には分つてゐたのであるが。

この民族は八分されて㈠アールヤ民族（Aryan）一名インドイラン族（Indo-Iranians）㈡ギリシヤ民族㈢アルバニヤ民族㈣イタリヤ民族㈤ケルト民族（フランク民族）㈥ドイツ民族㈦リトワニヤ民族㈧スラヴ民族となつた。

第一の分枝たるアールヤ民族一名インドイラン民族は三分され、一はアジヤの中部に、一はインド（India）に、一は己が名のイラン一名アイラン（Ayran）と云ふ國に移動したのである。

注意すべきことは、イラン語にては「イラン」なる語は「アイラン」なる語と只發音が異なるのみで、全く同じに書かれるのに、外國語では異つて書かれると云ふことである。「イラン」はＩの文字で始まり「アイラン」は（Ay）で始まつてゐる、この場合に「イラン」なる語の（Ｉ）は英語式に發音されねばならぬ、さうすると兩者の間の相違はなくなるのである。

「イラン」に行つた分枝のアールヤ民族も次の如き各派に分れた。㈠メッド（Meds）㈡パルス（Pars）、パハルス（Phars）ペルス（Perse）、ペルシヤ（Persia）、ペルシエン（Persien）、又はペルシスキ（Persiski）（イギリス、フランス、ドイツ、ロシヤ等の各國語の發音の相違）。そしてイランの南部三地方の一に定住したこの分派がその地にその名稱を附けたのであればこそ、その地方がペルシヤと呼ばれたのである。㈢ソクド（Sogds）㈣アラニー（Aranys）㈤アラミー（Alamys）。

今まで申上げたアリヤ又はアイリヤの八分枝は白人種なるインドヨーロッパ族（Indo-European）として知られてゐる。

二年前勅令によりこの事實に諸外國の注意を喚起し、將來眞の國號なるイランと呼び、イラン國五十八地方の一名稱なるペルシヤと呼ばざる樣要求したのである。

イランは古代より、六千年以上も前からと云つてもいゝのだが、歷史に光輝ある過去を持つてゐたのである。當時は世界には二つの文化しかなかつた、その一は西部アジアから後に全ヨーロッパに擴まつたアールヤ一名イラン文化であり、他はアジア東部に於ける支那日本文化である。長い歷史の間にはイランは屢々外國の侵略に遭ひ他國に支配されねばならなかつた。中にはさしもの大帝國を滅亡させん程のものもあつた。マケドニア（Macedonia）のアレキサンダー大王（Alexander the Great）の侵略、アラビヤ人の支配、蒙古人の侵略は共に我國に多大の損害を與へたが、斯樣な手ひどき侵略、橫暴なる支配にも拘らず、イランの國語、文學、文明は侵されなかつた。しかもイランはこれらの時代の間侵略者に依て支配されてはゐたが、一方では自國の文化のお蔭で文化を持たざるこの侵略者共にその文化を與へて、素早く巧妙に彼等を俘となしてゐたのである。

當時のイラン國の著名なる文學者或は科學者には次の如き人々がある。卽ち、「シヤー・ネイメー」（Shar Nameh）の著者のフエルドウシ（Ferdowsi）「ゴレスタン」（Golestan）卽ち「花園」（Garden of Flowers）の著者のサアーデイ（Saadi）、ヘイフエッツ、（Habez）、イラン語で書かれた中で最も有名な書物「マスナビ」（Masnavi）の著者であるモラヴィ（Molavi）、アッサディ（Assadi）、ダギギ（Dagigi）、ラウダキ（Roudaki）、サナイ（Sanai）、アンヴァリ

(Anvari)、「ロバイヤット」(Robaiyat) と云ふ有名な書物の著者であるカーイヤム (Khayyan)、この本は殆ど世界各國語に飜譯されてゐる。以上の人々及びその他多くの人々はこの立派なイラン文化の歴然たる證據をなしてゐるのである。

アラビヤはイラン征服中にイランから文化を得、ヨーロッパは十字軍出征中にアラビヤ人と接觸して彼等から文化を得てゐる。ヨーロッパに於て飜譯されてゐるアラビヤ語の書物の大部分はイランの學者達が當時の公用語たるアラビア語で書いたものである。

一九三一年のロンドンに於けるイラン美術展覽會と、一九三六年のレーニングラード (Leningrade) の展覽會とは過去に於けるイランの非凡な創造力と勝れたる文化とを世界に證明したのであつた。

前世紀イランは不幸にもカヂャー朝 (Kadjar) の支配をうけてゐた。この王朝はその祖より前支配者までイランにとつて致命的のものであつた。一七九四年より一九二五年に到る丁度百三十年に亙る彼等の支配の間、イランは英露競合ひの影響をうけて、全く疲弊し國力も衰へたのである。

しかし幸な事は東洋が常に驚異と奇蹟の溫床である事である。日本が新文明を輸入し、日本を一等國にし給ふた明治大帝の如き統治者を七十年程前に戴いた事は幸運であつたが、イランも有難い事に十五年前にレザ・シャー・パーラヴィ陛下 (Reza Shar Pahlavi) の如き大帝を戴いたのである。陛下は僅か十五年の短日月の間にイラン及びイラン國民に新生命と力とを與へ給ふた。政治的、社會的、經濟的の獨立は確立されたのである。

この會議は陛下のなし給ふた全改革を語るべき場所ではないから、この會議の目的に副ふ爲、今日のイランの教育制度に就てのみ申述べよう。

陛下の命により七才から十二才迄六年間の義務教育制度がイランにも施され、多くの公私小學校が設立されたのである。又男女共に無學文盲をなくすべく大衆の爲に多くの夜學校が設けられ、中等學校、單科大學も全國各地に設立された。

遂に首府の西部に設備完全にして二十萬平方米の敷地を有する近代的な綜合大學も建てられた。分科は (一)醫學部 (二)神學部 (三)法政經濟學部 (四)藝術部 (五)師範部 (六)調劑學部 (七)工學部 (八)齒科醫學部 (九)考古學部 (一〇)音樂部 (一一)保姆産婆學部である。

この設立法案は一九三四年六月廿九日に議會を通過し一九三五年二月四日陛下の御手によりて礎石が据えられたのである。その日より著々建設工事は續けられ、既に解剖學科は竣工してゐる。この大學は學生二千名を超え、教師はドイツ、イギリス、フランス人をも交へその數は百名以上である。

イランの教育制度は全就學期を三分して(一)小學校六年（義務制）(二)中等學校十二から十八迄のやはり六年間(三)高等學校大學の三年乃至五年となつてゐる。

最近五年間にヨーロッパの各地方、ベルリン、パリ、ジュネーヴ、ロザンヌ (Lauzanne) ロンドン、ブラッセル (Brusseles) 等に政府よりの留學生千名以上、又私費の學生も數百名派遣されて、西洋の各大學で彼等の學問に磨きをかけてゐる。

皇太子殿下にはスヰスの「ローリ」(Rolle) に學生として五年間過されたのである。

陛下は對諸外國關係に就ては、出來得る限り平和と友誼とをのみ望まれるのである。この理由に基き、イラン、トルコ、アフガニスタン、イラク (Iraq) 間の國境問題は全て平和に解決され、親交條約が結ばれ、最近一九三七年六

月八日「サード・アバッド協約」(The Pact of Saad Abad)と云ふ條約にイラン、アフガニスタン、イラク、トルコの外務大臣達が署名したのである。(この「サード・アバッド」と云ふのは、テヘラン(Teheran)から二十粁でシヤムラン(Shamran)にある陛下の御避暑地の名である。)

かゝる故にイラン政府は、世界聯合教育會長ポール・モンロー博士竝びに同事務總長ユエル・ラムキン氏より御招待を受けるや直ちに御受けしたのである。

我が政府はこの目的に適ふ專任代表を東京に送り度いと思つたのであるが、遺憾乍らイランは餘りに遠隔の地であり、適當な時迄に日本に到着不可能であつた爲、私がイラン代表なる光榮と喜びとを得たわけである。がこの重大問題を處するに相應はしからぬ者ではないかと恐れてゐるのである。

私は以前日本にゐたことがあり、今度で二度この美しい國を訪問したことになるのであるから、日本が御厚遇下さることについては、よく〳〵知り盡してゐるのであるが、この會議への代表として、日本の方々日本政府文部大臣閣下、御不快で御入院中にも拘らず會議へは二度も出席された帝國教育會長永田秀次郎氏、帝大總長、東京府知事、東京市長及び各關係役員諸氏の御親切と便宜をお計ひ下さつたことに對し更めて御禮申上げる次第である。

ルクセンブルグ大公國の教育

東京駐在ルクセンブルグ總領事　今泉嘉一郎

ルクセンブルグ大公國の教育には他國同様三段階がある。卽ち初等教育、中等教育及び高等教育がこれである。他に職業教育機關も若干ある。

初等教育は義務制で且無月謝である。中等教育及び高等教育は任意にこれを受け得、極く少額の授業料を徵收する。

初等教育は一八四三年に法定となり一八八一年義務制となつた。無月謝制度は同年に提出せられ、一九一二年全國に實施の運びとなつたのである。

一八八〇年に於ては既に、ルクセンブルグ軍隊の中、無學者は僅か五パーセントに過ぎなかつた。今日では既に餘程以前からルクセンブルグ國民は一人殘らず讀み書きを心得てゐる。

男子中等教育(中等學校)は一六〇三年に始めて施され(ルクセンブルグ・ジエスット派學校)(Collège des Jesuites à Luxemburg)、一八四八年法令により實際に組織されるに至つたのである。女子中等教育は一六二七年に創められルクセンブルグ・ノートルダム寺院學校(Congrégation de notre-Dame à Luxemburg)は一九一一年に法令により組織されるに至つた。現在では中等教育機關は、私立のものを除いて大公國政府の經營せるものだけでも七つ

に及んで居る。卽ち四萬五千の人口に對し官立中等學校一つの割である。世界中にない高率と信じる。この官立諸學校へはルクセンブルグ國民の約一パーセントが通學してゐる。

大公國各教育段階の概觀

初等教育

初等教育（小學校）はルクセンブルグに於ては、六歲より始つて以後七ヶ年間の義務制となつてゐる。法律上、市町村は義務教育年限を延長する事が出來る樣になつてゐる。義務教育八學年といふものが若干の町及び大きな村では行はれてゐる。

小學教育の學校課程計畫は二ヶ國語制である。第一學年の始めからドイツ語が敎へられ、第二學年の始めからフランス語がある。これに更にルクセンブルグ方言及びルクセンブルグ文學の拔萃が加はるから三ヶ國語制だといつてもよい。公立小學校の數は一〇五八（一九三六年）であり、全人口三〇萬人の中三萬六千人は小學生である。敎師は男敎員五二六人、女敎員五三九人であり、全部敎員免狀を所有してゐる。これ等敎員は義務上二種の免狀を有するもので、選擇高等免狀を一種或は二種とつてゐる者は四六七名に及んでゐる。

小學校は、後に詳述する補習學校及び高等小學校と共に、市町村立で國家の監督を受けてゐる（首席視學一名、視學六名、婦人視學一名）。これ等職員の俸給は政府が支給す。但しその三分の二を國家の負擔とし三分の一は市町村から國家に返還する。これは地方金とは別である。

俸給は最低額男敎員二千百フルオル、女敎員千五百フルオル、最高額男敎員四千四百五十フルオル、女敎員三千九百五十フルオルである。一フルオルは今ルクセンブルグ・フランで六、六フランに當る。俸給は更に地方々々の重大性によつて三級に分けられる。

一九三六年の國家豫算は概略初等教育費として二千五百萬フラン（ルクセンブルグ・フラン）を見積つてゐる。その中約八百萬フランは市町村から政府に返還することゝなつてゐる。

次に揭げる數字を比較參考に供して頂きたい。

一九三六年國家豫算總額	三五八、〇〇〇、〇〇〇
中等及び高等教育費國家負擔	八、〇〇〇、〇〇〇
職業教育費國家負擔	三、〇〇〇、〇〇〇

政府は異常兒童の爲特殊學校を二校設立してゐる。ルクセンブルグにある聾啞兒の爲の學校及びベルボルグ（Berbourg）にある育兒の爲の學校がこれである。ベッドルフ（Betzdorf）の精神薄弱兒童の學校は私立で、政府の監督の下にある。猶外に就學前兒童の爲の託兒所が百あり、これに四千名の幼兒を收容してゐる。

私立小學校の教育は大して問題とならない。（小學校二十七、託兒所十五）

補修學校課程

補習學校課程は、小學校卒業後更に上級の課程に進まない十四歲及び十五歲の兒童の爲の小學教育の完成の義務制度である。補習學校は冬期二學期より成り、普通一時間づつ百六時間の授業がある。これは主として實際的傾向を帶び、各々その所在地の町の職業により特殊の課目を授ける。女子補習學校教育の必修課目は料理である。割烹學校は大きな地方に設立されてゐる。一九三六年に於て公立補習學校五百十五校（生徒數六千名）、私立補習學校三十校を數へてゐる。

高等小學校

補習學校課程同様、高等小學校は他に勉强を續けない兒童の爲小學教育を完成する使命を有する。通學は義務制でなく自由で、二ヶ年制の正式學校であり、兒童の實際的必要に重點を置いてはゐるが全課目を修めさせるものである。一九三六年に於ては高等小學校數公立二十二校（生徒數八百六十三名）、私立八校である。

女子の爲にも同様に職業學校及び家事學校十六校があるが、全部私立で國家の補助を受けてゐる。猶市町村立及び私立の授産所（裁縫教授所）に就ても申し上げておかなければならない。

師範學校

小學校、補修學校及び高等小學校の教員養成は國立師範學校二校に於て行はれる。卽ちルクセンブルグの師範學校（Ecole normale d'instituteurs）（收容生徒數九九）及びワルフェルダンゲの「女子師範學校」（Ecole normale d'institutrices）（收容生徒數六十七名）がこれである。その他三十一名の女子教生がルクセンブルグの私立の師範學校課程を修めてゐる。

收容生徒數は政府から、必要に從ひ指定されてゐる。入學許可は試驗に依て行はれる。私立師範學校課程を收めようと思ふ女子志願者も同時にこの試驗を受けるやうになつてゐる。

師範學校教育は修了年限四ヶ年で、この前に中等學校課程三ヶ年を修めてゐなければならないことになつてゐる。

中等教育

大公國には國立の中等教育を授ける設備が七校ある。卽ちルクセンブルグ・ディーキルヒ（Diekirch）及びエヒテルナッハ（Echternach）の中學校（古典文學）三校、ルクセンブルグ及びエッシ・スル・アルゼッテ（Esch-sur-Alzette）の商工學校（現代文學、商業教育）二校、ルクセンブルグ及びエッシ・スル・アルゼッテの高等女學校（ラテン語科、現代外國語科、職業教育科）である。中等教育は中學校及び高等女學校では修了七年、商工學校では六ヶ年である。中等教育への入學は小學校の始の六ヶ年に教へられたものに就ての試驗によつて許可される。入學年齢は十二歳と定められてゐる。授業はフランス語及びドイツ語で行はれる。

國立中等學校の生徒總數は二、八〇五名でその中一、五五七名は中學校へ、六三一名は商工學校へ、六一七名は女學校へ通學してゐる。

教師は語學及び科學教授その他特殊科目の教授（商業、圖畫、體操）併せて百五十名許りゐる。

ルクセンブルグに女子私立中等學校が一校ある、ステ・ソフィー（Ste Sophie）。男子私立中等學校は一校もない。その他女子の寄宿學校が數校あり、師範學校準備の中等教育を授ける。

高等教育

大公國には大學はない。しかしながらルクセンブルグの中學校及び商工學校には高等科が設置せられて居る。入學は任意で大學課程の初等程度である。

猶餘裕があれば、ルクセンブルグの學生は自由に自分の選ぶ大學に行くことが出來る。しかし技師の外は國內に止まつて、政府任命の試驗官の前で自由な職業（教師、法律、公證人、醫者、齒科醫、獸醫、藥學）の資格試驗を國內で受驗せねばならない。

職業教育

職業教育は國立學校三校に於て行はれる。卽ち「ルクセンブルグ職業學校」（L'Ecole d'artirans à Luxemburg）

（生徒數二九九名。中四三名同校附屬「高等技術科」に通學。技術者の免狀受領の爲。）「エッシ・スル・アルゼッテ職業學校」（L'Ecole professionelle d'Esch-sur-alzette）（生徒數四二三名）——これは宗教教育により見習職人の實際教育を完成させる——及び「エッテルブルク農學校（L'Ecole agricole d' Ettelburch）生徒數一六一名）である。猶ディフエルダンゲ（Differdange）及びドーデランゲ（Dudelange）の技術科、「ドメルダンゲ・エミール・メッツ學校」（L'Institut Emile Metz a Dommeldange）「エッシ・スル・アルゼッテ鑛山學校」（L'Ecole des Mines a Esch-sur-Alzette）及びエッシ・スル・アルゼッテ、ペタンゲ（Petange）、ルメランゲ（Rumelange）の鑛山豫備校の事も申上げて置いた方がよからう。

音樂教育は「ルクセンブルグ音樂院」（Conservatoire de musique de Luxemburg）（生徒數五二八名）及び「エッシ・スル・アルゼッテ音樂學校」（Ecole de musique d'Esch-sur-Alzette）（生徒數五三〇名）の兩校で行はれてゐる。

ルクセンブルグ冶金工業に關聯せる技術教育及び職業教育

廿世紀初期に於けるルクセンブルグの鐵冶金の進歩は熟練職工本格的養成の爲特別の學校を必要としたのである。そこでその仕事に携はる人達が市町村の助力を得て創立したのがドーデランゲの技術課程（一八〇八年創立、一九二一年改組）、デイフェルダンゲ（一九〇九年）、及びロダンゲ（同年）の技術課程である。

ルクセンブルブ第一の工業都市エッシ・スル・アルゼッテに政府は一九一四年市町村及び關係實業家の財政的補助を受けて現在四二三名を收容してゐる職業學校を一校設立したのである。

從つてドーデランゲ及びロダンゲの技術課程はドイツの「ウェルクスシューレン」（Werksschulen）（職業學校）に範をとり實習場の中で修業せられるもので、嚴密に言へば職業教育に限られてゐる。エッシ及びデイフェルダンゲの職業學校は、政府から行政上にも財政上にも干渉を受けてゐるので、課程に外國語教授が加はつて居り、その實習場の見習のみでなく地方からの見習も入學出來る樣になつてゐる。

ドメルダンゲ（Dommeldange）の「エミール・メッツ學校」（Institut Emile Metz）は一九一四年秋、故エミール・メッツチッシ夫人（Madame Emile Metz-Tesch）の設立したものである。夫人は教養ある博愛主義者であり、ルクセンブルグ名門出の工業家の夫人である。

この學校は獨特のもので、ドメルダンゲ及びエッシの實習場の青年勞働者に徹底した職業教育を授け、同時に非常に適切な方法により一般教育及び體育を授けんとするを目的としてゐる。その課程には技術及び職業上の特別教育の外、歷史、地理、自然科學、基本簿記、衞生學、市民教育、音樂（聲樂及び器樂）、體操、水泳、義勇團組織が包含されてゐる。修學年限は三年である。

實地教育は同時に學校附屬の仕事場で行はれる。生産的、合理的勞働といふ事を教育の根本原理としてゐる。その生産能力に應じて給料の支給を受ける。

エミール・メッツ學校には精神技術研究所が設備せられてゐる。この研究所では實習工場に於て行はれる作業及び訓練の方法を研究し、一人々々の生徒の進歩を綿密に調査してゐる。

職業の決定は教室及び實習場で觀察した諸事項に照し合せた結果の精神及び身體檢査に基く進歩的方法により定められる。

スヰスの教育に就て

スヰス聯邦議會議員　J・A・F・パラヴィンチニ

ペスタロッチ (Pestalozzi)、ルソオ (Rousseau) その他の大教育家を世界に送つたスヰスは、以來何世紀もの間ヨーロッパの教育の中心となつてきたのである。小學校は義務教育制にして無月謝、階級的差別なく絶對寛容、信仰、所信に對し一切の壓制がない。これと同じく中等學校及び高等諸學校、その他のその國際性の爲有名な私設教育機關に於ても、政治的、宗教的乃至哲學的中立性が著しく漲つてゐる。スヰスは人口に比例して世界の他のどの國よりも高等諸學校が多い。七つの大學、チユーリッチ (Zuerich) の聯邦高等工業學校 (The Federal Technical High-school)、セントゴール (St. Gall) の高等商業學校、ゼネヴア (Geneva) の教育科學院 (The Institute for Educational Sciences)、高等國際學々院 (The Institute of High International Studies) には世界各國より學生が集つてゐる。日本人も多數スヰスに留學してゐる。

スヰスは世界最古の共和國で、約六百五十年の歴史を誇つてゐる。四百萬の國民はドイツ語（といふよりはアレマン語）(Alemanie)、フランス語、イタリー語、英語の四ケ國語を用ひて居り、從つて精神的及び肉體的構造も多少異つて居る。しかしこれはスヰス人の愛國心に聊かの障碍となるものでなく、スヰスは小國ながらも幾世紀もの間敢然と四隣の強國に堪へて自己を護り來つたもので、分裂の浮目を見るよりは寧ろ破滅を選ばんとするのである。これは祖國愛、常識、國民相互の理解、寛容及びよき教育の結果である政治的識見の標準の高さによるのである。スヰスの二十二縣の二、三に於ては、全住民は年一回會合し、廣場に何千人かが輪をつくり、自由に階級的差別なく、諸問題を圓の中心を爲す自ら選んだ役人達と討論するのである。中央の役人と、周圍の群衆との間にまだ選擧權のない青年達が小さな輪を造つて默つて熱心に年長者達の論議に耳を傾けるのである。これは市民教育の獨自なるものである。

世界教育會議とラテン・アメリカ

東京駐在ヴェネズエラ總領事　C・ロドリゲス

當會議に代表を派遣せるスペイン語を國語とする諸國に代つて一言申上げさせて頂きたい。こゝにお話しする責任を私が喜んで引受けたのは、この劃期的な會議が最近二ケ年間に於ける世界の教育の驚異的な進歩を親しく我々の身近に眺める好機を充分與へてくれたと信ずるが故である。我々はこれを眺め且これを良き土産として祖國に持ち歸つて、各自の國の教育の進歩發展に貢獻せんと志してゐる。

この會議での最もよき收獲は申す迄もなく、多數の方々に親しく接する機會を得、互に思想の交換を行ひ、同じ職に携はる者と我々は一番大切な教育上の諸問題を語り合ひ、或は自國の數多の教育上の緊急要件を如何にして解決すべきかにつき有益な教訓を得たことである。此處にこの種の會合の大なる心理的價値があるのであつて、我々は外道の敵軍を抑へんと次の行動の作戰をねり、無知の破壞力に排戰して成功を收むべく聯合軍の基礎を定めんと會合した平和の大軍の參謀に譬へられても過言ではあるまい。その方面に相違こそあれ、兎も角も教育一般に關係してゐる我我は確かに軍人に違ひない。唯、異る所は、我々の意圖する所は總て世界平和を主眼として居り、我々の實行し計畫することは總て、殊にこの世界教育會議に於ては、人間の福祉と人類の進歩との爲のものである。

昨日霞ヶ關離宮で、フィリッピンの有名な學者フランシスコ・ベニテズ氏及びスペイン代表の博學にして謙虚なジヨーゼ・ルキス・アルバレッツ氏にお目にかゝり、御二人から今夕この壇上で何か話す樣とのおすゝめを頂いたので、甚だ光榮に存じ受諾した譯である。とは申せ、自分が適任者であるなどとは毫も考へてゐるのではなく、スペイン語を國語とする國々の教育が聯合教育會の活動に如何に熱心に參與してゐるか、又平和の建設に盡力するこの會議に如何に多大の期待をかけてゐるかを、お報らせする機會を失ひたくなかつたからである。

私はスペイン及びスペイン系アメリカの諸國民、特に我がヴェネズエラに代り確信を以て申上げるが、今回の東京會議の遑しい一週間の間に擴げられた尨大な教育の糧を出來る限り多く攫み吸收する爲、我々程熱意を注いだものはあるまい。此處に集られた國の大多數は教育科學の分野からは色々の意味に於て我々の先輩である。私はこんなことを申上げるのを少しも恥づべきことゝは思はない。知識の追求といふことに於ては、個人の場合に於ても、思ひもかけぬ方面から重大な貴い何かを教へられるものである。我がヴェネズエラでは教育制度を近代化しその能力を增す爲に門戸を開いて知識を求めてゐる。どなたでも忠告を下されば我々は感謝以上の感謝をもつてその厚意を受けたいのである。今回私に政府代表として出席する名譽を與へられたヴェネズエラ文部省が、何故に私をこの會議に派遣し、世界著名の教育者たる諸氏に交らしめ、我が國民の道德的及び精神的健康の糧となる知識を齎らす樣命じたかの理由はここに存するのである。

今申上げたことは、一九三九年の第八回世界教育會議がラテン系アメリカ國の美しい都市の中ヴェノス・アイレス (Venos Aires) かリオ・デ・ジヤネイロ (Rio de Janeiro) かカラカス (Caracas) で開かれるかもしれぬ事を考へると、益々その意義を增すのである。私はこれが實現することを切に希望してゐる。若しこれが實現すれば諸氏は教育科學に於ける諸氏の知識を一增豐富ならしめることゝならうし、スペイン語を國語とする國々は當會議の重大さと世界的意義を充分に認識する機會に惠まれる譯である。その節は我が友邦の諸共和國の一流及び教育家の代表が多數出席して諸氏と協力し、文化と完全への高遠なる理想達成に向つて喜んで力を合せるであらう。

第三總會

日時　八月七日（土曜日）午後八時

場所　東京帝國大學大講堂

司會者　ポール・モンロー

開會の辭

世界聯合教育會長　ポール・モンロー

第七回世界教育會議掉尾の會を開く事は私の喜びとする所である。一寸御諒解を得て置きたいのであるが、今夕の會はラヂオで中繼放送することになつてゐる爲相當急がねばならないのである。從つて只今より時間勵行で開會することにするが、壇上でお話し下さる方も、各自十分間限りといふことをお含み願ひ度い。

今夜會の事情を諸君に說明するには一つの寓話を御話しすればよいと思ふ。二人のアメリカ婦人が長年隣同志で住んでゐた、一人が暫く外國に行つてゐた後歸國した。二人が逢つた時、前に隣人であつた婦人が云ふには、

「まあ、何てお變りになつたのでせう、もう少しでお見外れする所でしたわ」

相手の婦人が答へて曰く、

「まあ、ほんとうに、私だつてもし貴女が前のと同じお召物を召して居られなかつたら、ちつとも分らなかつたらうと思ひますもの」

そこで、この一週間諸君はこの會議に出席され、御熱心な贊同を示されて世界聯合教育會を認識し支持された樣に、今後も同樣に支持される爲には、聯合會の理事に今起つたばかりの事柄を御了承下さると思ふ。そして諸君の本

會議への御參加と御贊同とは諸君が從來聯合會を認められたやうに、今後もお認め下さるといふ事實を物語るものであるが、その爲に諸君は我々に同じ着物をまとはせたのである。卽ち今朝我々は從前通りの役員、理事を選んだから諸君は會の組織を了解され、從前通り御熱心に贊同されて次の會議にも御出席下さることと信ずる次第である。

今夕の日程に關してもう一つ御承知置きを願ひ度いことがある。從來はこの最初の會は、會議に代表を送つた國から各々簡單な報告なり挨拶の言葉なりが述べられるのが習慣であつたが、今囘は參加國數三十八ヶ國乃至四十ヶ國といふ大きな數に上る爲、この一つ一つに發言權を與へるといふことは到底不可能である。そこで勢ひ人數を制限せねばならず、從來の數とは異り、こゝに聯合會に屬する各地方、國家を代表する八、九名に削減した次第である。しかしこの八、九名は强ち會と地方とを同時に代表するものだけに制限する必要はなかつた。そこでこの講演者の人選にも時間の割當にも適當に配慮したこと、及び講演者がもう少し時間を欲しいと思つても、都合上切詰めねばならぬと考へた場合には例へどんな場合にも個人的事情は酙酌出來ないと云ふことを、他の役員方も同意されたが、諸君も御了解下さると思ふ。私もよき範を垂れる意味でこの開會の言葉を非公式な御報告に止め、日程が經つて猶時間が餘れば別のことをもう少し申上げ度いと思ふのである。

今夕の日程の最初の代表者として英國代表のH・ハンフリー氏を御紹介する。

挨拶

英國教員會　H・ハンフリー

前六囘の會議の中、三囘を我國で開催したと云ふ特權を我々こゝに出席せる代表達が有する爲に、お別れの挨拶の第一番を名譽あるイギリスの代表が勤めるといふ幸運は何かの廻り合せであらうと考へるのである。

私は一九二五年の最初の正式會議の事を思ひ起す。その時スコットランド教育會はその困難さとその規模とに於て全く經驗したこともない問題に直面し、闇中摸索の狀態から兎も角も秩序を立て聯合教育會の價値あることを證明し今日の隆盛の礎石を置いたのであつた。又、一九三三年のアイルランド會議に際しては、準備に當つた人員と資源こそ少かつたが、正直な努力と熱意とは、他の總ての要件をも償ひ得るものであることを知つたのである。そして又種々の學ぶべきことがある。といふのは、アイルランドは政治的にこそ分れてゐるが、全國に教育の會は一つしかない。これこそアイルランドがその直面した凡ゆる困難から抜け出た吉兆であつた。英國教員會が前囘の本教育會議を主催するの光榮を荷つたことを諸君も大抵はまだ御記憶のことと思ふ。我々はこの三會議の組織を誇りに思つてゐる。故に今囘の會議に關し日本の教員諸氏に、その組織に於て本會議は前囘何れの會議にも決して遜色のないことを申し上げ、敬意を表するのは決して我々の虛禮ではないのである。

これ以上立派な組織はない。それは明かに一つの立派な組織能力を示すものである。猶、本會議は一つの意義を有してゐる。卽ちそれは東洋に於ける最初の會議であつたことである。我々は東洋が世界教育會議を主催し得ること、否、主催する特權を行使する權利のあることを知つた。西洋に於ては、近距離と同種言語といふ點から、我々は互に十分理解し合ふことが出來、又時には誤解し合ふ樣な場合が生じても、それが爲に決して不幸な結果を齎らさないのである。我々の多數はこの會議へ、無知と誤解とを抱いて出席したのであつた、が、今やその誤解と無知とを拭ひ去つて、充分の認識を抱いて歸ることが出來るのである。特に我々が驚くのはこの國に於て舊式と最新式との對照を見ることである。日本は過去に於ては他國との比較對照に於て利を收めて來たのであるが、今や日本と比較對照する機會を他國に提供してゐるのである。發明に依り時間と空間とが縮小され、誤解や不信が一瞬の間に全世界に傳はる樣になつた今日、誤解の危險を除く唯一の方法は個人的接觸によつてのみ可能である。我々は東洋人と我々との間には、精神狀態にも心理狀態にも、如何に相違の少いものであるかを次第に悟りつゝある。東洋の諸氏と我々とが相共に會し、相共に食事し、相共に和樂する機會が多く與へられるならば、現在の如き世相の下にあつても神經過敏症からは逃れることが出來るであらう。

日本は多くを學んで來た、が、日本も亦個有の文化を有せることを示してくれた。卽ち歷史の中に沒した過去の文化と、新文明に支持されてゐる文化とを。日本は八十年前には、我々が四百年以上も前に有してゐた政治狀態、社會狀態にあつたのを考へると、西洋から來た我々にとつて、かゝる文化を見ることは驚くべきことである。そして今ではイギリスとよく對照出來、似てゐると思はれる。日本はイギリスから組織の方法を學んだかも知れないが、その代り我々に鄭重な接客態度を教示して吳れた。このことは何時迄も活々として我々の記憶に留るであらう。

扨、私は諸君がこの一週間に見聞された色々の有益な事柄の中から、どれだけ學ばれたか疑問に思ふ。そして又今週見聞された有益な事柄から餘り多くを學びとられることが果して諸君にとつて賢明なことであるか何うか疑問を感ずるのである。しかし私は諸君が會議場外でこの一週間に受けられた待遇の爲に一層幸福な、一層信用出來る、一層熱意ある方々となつて歸られることは信じて疑はない。精神的にも肉體的にも我々が受けたこの好意を、心の中で繰り返し考へ乍ら我々は歸國するのである。一つだけ忘れてならぬ教訓がある。それは人の待遇の定義に就てである。今週のある會合で、外國人とは遠來の友である、と云ふことを聞いた。我々は思想と情意とに於ては東洋の人々と親密な間柄にある遠來の友として歸らねばならぬ。もし我々が皆この定義を教へることが出來れば、そして若しこの定義を我々の心として、判斷として、又他國人との關係として現はすことが出來れば、その時こそ我々は眞の國際主義、眞の國家主義を重んずる國際主義、互の國內の事件に迄干渉することなく、我々總ての者をより幸福に、より賢く、より良きものたらしめるが如き交際を確立することを望み、協力し、贊同する國際主義を有することとなるであらう。

日本に對して身體では別れを告げようが、心の中では常に共にゐる積りでゐる。

挨拶

（マニラ）ユニオン大學總長　エンリーク・C・ソブレペナ

フィリッピン代表主席フランシスコ・ベニテズ氏（Francisco Benitez）の御指名により、本會議に出席せるフィリッピン代表一同に代り私が御挨拶を申上げる光榮に浴することになつた。まづこの麗しい國に於ける滯在中到れり盡せりの御配慮を賜はり、樂しく過ごさせて頂いたことに對し日本の方々に感謝し、次に誠に申分のない會議計畫と遂行とに對し、且は會議中漲つてゐた美しい精神に對し、第七回世界教育會議關係者御一同竝びに日本事務局の方達に厚く御禮を申述べる次第である。

我々が代表して來てゐる國民の御挨拶を、諸君が代表されてお出でになつた國々に諸君を通じてお傳へして頂き度い。我國はその年齢も若く國土も狹小にして、世界地圖の上にその存在を保つことにすら苦鬪をしてゐるのである。從つて將來諸君の御厚誼と御指導とに俟つこと又大なのである。又この會議の最後の日程に我々が發言を許されたことは、小さくとも前進途上にある國民に對する世界の各國の善意の態度の表示であると考へ度いのである。しかしこれは當然のことである。と云ふのは、小さいもの必ずしも無意義だとは限らないのであるから。大洋へ注ぐ渺茫たる大河も、その源は山脈、丘陵の斜面を滴り落ちる水滴であるし、太い幹大きな枝を持つ樹木も、その胸に抱く小さい

花や果實を何等か社會の役に立つものとして差し出してゐるのである。小さくとも前進してゐる國といふものは、若し阻まれずに成長し、花咲くことが許されるば、新文明の生命と喜びとに事實上貢獻することも出來るのである。

本會議掉尾のこの會に於て、互に別れの辭を交はすに當り、この素晴しき國の人々の勝れたる特性の二、三を我々は思ひ浮べるのである。このことに就ては、私は斯う言ひ度いのである。卽ち、勿論本會議の有意義なることは否定出來ない事實であるが、今假りに、この會議が各國各文化の代表たる我々に、日本國民の內的生活を紹介したといふこと以外に何の意義がなかつたとしても、この會議の爲に費された總ての費用と總ての努力とを十分償ふことが出來ると思ふ。國際關係にまで進展した日本國民の顯著なる國家的特性は、この聯合會が助長したいと願つてゐる國際親善の本義を相當に押し進めるであらう。

この日出づる國の國民の特性の一は、草花樹木に對する愛である。草木を世話する忍耐と、植物の要求に對する彼等の理解は、若しもそれが人類の相互關係に適用された時は、人間の個性に對する深い關心となるであらう。或る人が今歩かうとしてゐる芝生の上を望遠鏡で見たとき、澤山の小さい花が咲いてゐるのを見つけた。その美しい景色を見た彼は、芝生を歩くのを直ぐ思ひ止まつたのである。草や花に美しさと愛らしさとがあるとすれば、人間生活や精神の中にはより以上の美しさがあるのである。人間の個性のこの比類なき美しさを實現すればそれを無殘にも無視するといふことは――それは誤解や戰爭により自然に進展して行くのである――著しく防止出來るであらう。オックスフォードのヴァーモン・バートレット博士（Dr. Vernon Bartlett）は次の樣に所信を述べてをられるが、我我も皆かゝる考へを持つべきである。それは「諸國民の物質的竝びに道德的健全性を確實永續的に回復しつゝある總てのものの將來は、價値そのものは少くとも切迫せるものが自己の存在を見出し機能を有する世界に於て、人間個性の無上

の價値を我々がどの程度迄、又如何に早く囘復せしめ得るかといふことに依存してゐる。」と云ふのである。日本人の自然を愛する氣持が、人間の個性に對する深い心遣ひの氣持に移行されると、今迄誤解を導いたり、武裝してこの爭ひを支持したりしたことに對しては憎惡の情が心の中に段々生じるであらう。

我等の日本の友の第二の立派な特性は――そして我々はそれをいつも讃へることと思ふが――快く喜んで人を助けると云ふことである。日本の兄弟が我々につとめてくれたその熱心さが教員、學生及び總ての人々に沁み渡り、更に他の美質に對する切なる要求となれば、人間の個性は神聖であると云ふ考へが、實在のものとなり具體化するであらう。奉仕といふことの中に、人は人生の眞の意義と使命とを見出し、戰爭の爲の活動によつて課せられた謎を立派に解き得るであらう。斯くして人は、各國の豫言者が既に早くから悟つてゐたこと、卽ち人生の眞の目的、卽ち人生の最高機能は、極力努力して他に奉仕することであることを知る樣になるであらう。假令それは失敗しようと成功しようと、沒我の努力といふ尊い印を帶びることになるのである。凡そありとあらゆる流血沙汰の必要が全く消滅し、自他相鬪はしむる原因となる醜い欲望が、教育により純化され他人に對する奉仕の情熱とならない限りは、人生はそれ以上豐かにもならなければ充實もしないであらう。

お別れするに當つて私の强調したいことは、我が日本の兄弟の今述べた樣な、又その他の素晴しき特性を、全世界國民の特性とし、國境を越え利害を離れて、平和招來の力强い原動力たらしめんと、我々は今此の場で決心しようではないか。

世界聯合教育會は、各國の教員を指導して次代國民の心を鍛へて國際理解の方向に向はしめる任に當らしめ、それによつて人類が劍を鋤に、槍を苅込鋏に鑄造する日の到來を、そして又各國が互に劍を取つて立上つたり、兵火を事とするが如きことの決して生ぜざる日の到來を促進せしむる崇高なる使命を有するのである。

挨拶

カナダ、オンタリオ公學校教員　J・リンゼイ・マッカロー

今夕カナダを代表して壇上に立つことは私の最も光榮とするところである。カナダは楓の國、廣さの點から云へば世界の第四位であるが、これに比し人口が少く、千百萬近くに過ぎない。それにも拘らず、カナダは今囘の世界教育會議に十九人の代表を送つた。この數は代表を送つてゐる他の國々の人口の比にすれば、その數に於て首位を占むるものである。カナダはこの聯合教育會創設當初からの會員であつた。我がヘーディ博士は世界聯合教育會の財務理事であつて本會の設立に參與された。この他カナダからは確に二人の理事を出してゐると思ふ。

カナダは大英帝國の皇威に浴することを誇りとすると共に南に友邦としてかの大共和國を有し、今や太平洋を越えて友邦日本に我が手を延べ、同じく親密なる關係を有し、更に一層の厚誼を結ばんと希望してゐることを誇りとしてゐる次第である。我々がこの美しい國に最初に足を踏入れたその瞬間に、あのやさしい親切な御辭儀と、我々の親し

み深い握手とを交換し得ると感じたのであつた。廣い湖、大きな河川、廣漠たる小麥畠、さてはあの群牛遊ぶ大牧場の國からこの國を訪れて、日本の集約農業に深く興味を覺えたのである。ぎつしりつまつた稻田や、四季を通じて綠色したゝる庭などにも心を惹かれた。自動車運轉手の熟練した技術、鐵道の淸潔さとその時間の正確さ、そして日本の產業、多くの工場等すべて興味あるものであつた。又山中湖畔にあつては日本の文化生活の一端を初めて學び、あの山紫水明の自然の中で貴國の生活樣式の底流をなす哲理を繙いて下さる貴國一流の方々の講話に耳を傾け、或は茶の湯の床しさ、生花の雅趣の眞意に觸れ、始めて我々はあの富士が影を落す所で、日本人とは如何に驚異すべき國民であるかを悟り出したのであつた。會議の爲に東京に歸つて來て驚いたのは、各部會の爲又我々の接待の爲なされた組織の見事さであつた。我々を歡待して下さつたその心の暖かさ――これは文字通りに取つても又比喩的に取つてもよいが――は次の如くであつた。印象的儀式であつた明治神宮參拜の時から、バスは我々の自由に動いてくれた。英語の素養の十分ある學生がタクシーを指圖して我々の爲に働いてくれ、又日本語を敎へて吳れたりした。

旅に出る時は觀光局のガイド達が丁寧親切に我々にずうつと附添つて行つてくれた。我々の部會では錄音機の用意が出來てゐて、講演者の言葉を錄音してゐた。日本の有能さは我國の人々にもわかり、著しい影響を與へたわけである。他國の代表者の方々も同樣に印象を受けられたことと信ずる。このことから考へられるのは、この會議のやうな集りの大きな利益の一つは、地球の四方から來た人々との接觸と、その爲結ばれる國際友誼といふことである。しかし會議といふものから引き出される何より一番よいことは、遠い國から集つた志を同じうする人々との會合により醸し出された愉快な氣持の結果として、將來への夢を抱き得るといふことである。斯うした色々の經驗をお與へ下つたことに對し、我々カナダ代表等は深く感謝の意を表する次第である。我々は日本の方々に對し親しい氣持に滿ち、感謝に漲つて日本を去らうとするのである。

挨拶

インド、イダール州教育局長
世界聯合教育會理事　P・A・イナムダー

感想を述べる機會を與へられたことは私にとつて非常な光榮である。東洋に於ける最初の世界教育會議といふ歷史的晴れの舞臺に出席し得たことは、我々特にアジア諸國家の教員として、自己を祝福し度い樣な氣持を感じるのである。

東洋の寶石であり、日出づる國である日本が、この紀念すべき東洋に於ける最初の會議を開催する榮を荷つたことは當然すぎることである。日本は僅々五十年足らずの間に、全然新規のそして若返つた國を造り上げ、新思想から得た最前のものと、日本古來の習慣、文化の最善のものとを混淆して新生命を吹き込んだのである。

インドにあつて我々は日本の果してくれたことを非常に誇らしく思つてゐる。と云ふのは、このことに依り東洋人は決して西洋人に劣つてゐないといふことを全世界に示されたからである。又私は東洋の諸國も國際親善と、世界平

和とに對して多く貢獻し得ると思ふものである。最も崇高な沒我の奉仕と自己犧牲との根本原則は太古より我々の中に浸みこんでゐるものであつて、これにより國際親善と世界平和とに大いに貢獻し得るのである。

今囘、我々が日本に來た目的は、近い將來に於て我が祖國が盛運を見る時、我々の努力が國家隆盛の一助ともなれかしと思つて、日本の國民、教育、產業、諸機關等を學ぶ爲であつた。

我々今囘の訪日は、インドの民衆にこのアジアの姉妹國に就ての實に尊い知識を與へるであらう。卽ち日本の國民の產業、彼等の理想、彼等の生活、藝術、文化、自然に對する愛、そして特にかゝる短期間に殆ど無名の一小國から世界の指導國に伍する地位に飛躍した、その方法についての一考察は與へられるであらう。

今迄インド人は殆ど日本を理解せず、且日本に就て深い知識を有するインド人は、その數今猶極めて少いのであるが、唯一つのよい事は日本に對して自ら誤解も偏見も持つてゐないといふことである。故に我々が歸國後、インドの人々は日本のこと、日本人、日本人の生活についての知識を深めることは確かである。而して彼等は日本人の生活樣式、文化、社會生活、諸機關、つまり結婚、家庭生活、各家庭に神棚があること、祖先に對する敬愛、卽ち「お盆」の佛事、農作物の一部を神に又神社に供へること、客の扱ひ方等々に於て、又一旦結婚した以上はそれが如何に解く能はざる羈であるか、そして花嫁が嫁入つて家庭に入つた以上は、よかれ惡しかれそれを受け入れねばならぬこと等に於て、インドの風習との多少の類似點を見出して喜ぶであらう。

これは兩國が、社會的にも文化的にも關係を有することを示すと共に、兩國を結んでゐた鎖は過去に於て鑄造されたものではあるが、今猶以前と同樣强く、我々が互に知る樣になればなる程、强くなるといふことを示してゐるのである。

各國家は互に他の美點を取入れることによつて成長し進步してゆく。そこには常に「やりとり」がなければならぬ。私は今度は日本がインドを助けて、教育產業を通じて我々の國家的理想を養ひ、發展させる番だと思ふのである。

教育といふ尊い目的に於ける諸活動は、單にインド日本間の、又單に、アジア各國間の親善のみならず、世界各國間の友誼を溫めつゝあるといふことを信ずる。斯くの如き會合は世界的善意、世界的統一、世界的平和といふ大義を進展させることが出來ると確認してゐる。

この機會に我々がこの驚くべき國に著いて以來受けて來た誠に鄭重な御饗應に對して、主人役たる帝國教育會に感謝を述べると共に、同教育會を通じて色々の御便宜をお與へ下さつた公私諸團體に對し御禮を申上げたいと思ふのである。我々の受けた歡待は、これを何と表現してよいか、私は言葉の從はないのに苦しむ程である。私はこれを簡單に「東洋的」と言はう。如何に各都市が我々を個人的な客として待遇し、我々の欲した便宜や知識を悉く與へてくれたことか、如何に各學校諸施設が鄭重、且親切に取扱つてくれたことか、そして何處でも他の人々が得られない便宜や特權が世界教育會議の代表達には如何に多く與へられたことか。

この帝國の首府たる東京に來て以來、我々は本會議の組織の完全さ、任に當る人々の細心の注意、會議の成功の爲に各人の盡された最善の努力等を理解することが出來たのである。會議の始つた日以來、我々の部屬はどれも旅行、教育、產業その他多くの事柄について丁寧な說明のついてゐる輸入案內書、澤山の見本、贈物、紀念品で文字通り氾濫してゐた。催物や宴會にも度々招待を受け、その都度我々の爲、我々の便宜と慰安との爲に、細かい御心配を賜つたのであつた。

これは全國が教育に、教育者に、教育的な事柄に深い關心を持つてゐることを示してゐる。まづ最初に帝國教育會

に對し、凡ゆる場所で受けたこの厚遇を心の底から感謝する。

又我々は若き主人役たる親切な青年達や美しい若い婦人達のことを決して忘れることは出來ない。彼等の何時もにこ〳〵した顔や、やさしい性質、禮儀正しい言葉使ひ、態度は我々國外參加者の心をも捕へ、可成り暑い氣候ではあつたが、我々の生活を樂しくしてくれたのである。

廣くはインドの教員の爲に、狹くはインドの代表の爲に、もう一度主人役たる帝國教育會と、それを通じて日本の方々に、その手厚い歡待と、客を待遇するその好ましい方法とを感謝する。

挨　拶

米國教育會
カリフォルニア教員會　ジョゼフ・M・グヰン

アメリカを代表してゐる我々が、祖國を數千哩も離れ、國家的、鄕土的環境から遠ざかり、國際的環境に取卷かれ、又世界大國民大都市の一つたる東京といふ我々にとつては異鄕の環境の中に立つことは誠に有難いことである。祖國を斯くも遠く離れ、日本の諸機關、日本の人々との非常に短い間ではあるが、數多くの接觸の影響の下に在つて、且第七回世界教育會議の感銘深き會議日程も終了せるに際し、我々はより廣き見地から我々自身の諸問題を眺めることが出來るのである。

近いといふことは人の視覺を歪め、時には取るに足らぬ事柄を非常に大きく見せ、事實重要な諸問題を見えなくしてしまふことがある。我々は自國にゐて、我國に於ける諸問題の解決に當つて、勞力を浪費したり方法を誤つたりしたことが屢々にしてある。その原因は何かと云へば、時間的にも空間的にも餘りに身近かにある爲、果して如何なる性質のものであるか、又他の問題に如何なる關係にあるかも充分理解出來ない問題を性急に處理せんとしたが爲である。今にして惟ふに、長年國民を指導して行く方針を發展せしめて來た人は、その時代の生活をよく知り、その地方的なものや、接近したものから多少遠ざかつて、事物の眞の大きさと、他に對する關係とを眺めることの出來た人であつた。勿論我々は聖人の智慧を僭稱するものでもなく、又この會議の日程によつて世界の水平線をはつきり見得る程に賢くなつたとも思はないが、我々アメリカから來た者、合衆國から來た者は、各方面に我々の水平線を廣めたことだけは感ずるのである。

私は玆に、本會議が我がアメリカ合衆國にとり、極めて有意義であつたことを述べ、又我々に寄與せしところ多大なりしことに對し我國代表一同に代り厚く感謝と敬意の意を表すると共に、日本の公私諸方面より我々に與へられた親切と便宜とに對しては、諸外國の方々と共に重ねて御禮申上げ度いのである。

私は既にこの會議の眞の意義及び價値は近い所からでは解らないことを申述べた。我々は發表論文の四分の一も聞く機會がなく、又種々の配慮の下に十分に與へられた日本を知る機會の半分も利用する事が出來なかつた。

私はこの樣に種々の說明書が代表達に自由に與へられた會議に出たことがない。私はこの爲に新しいトランクやそ

の他の入れ物を買つたのであるが、これらの説明書を、歸國の途々讀むつもりでゐる。後、二三週間經つて祖國に歸りつく頃には、我々は皆日本とその教育計畫とをよりよく知るようになるであらう。又この會議の我々が聞かなかつた論文が早く讀める樣にまとめて頂き度いと思ふ。そしてそれを讀んで良く考へれば、猶よくこの世界會議の組織を正しく理解することが出來ようと思ふ。

我々は類似點からも相違點からも深い印象を受けた。教育の原理は、日本、イギリス、ドイツ、インド、アメリカたるを問はず、教育の一般化、その機會均等、自己發展の爲に各個人が努めること等の重大性を强調するやうである。我々の考へを發表する言語の相違を別とすれば、教育の方針、目的には大いに類似點が認められる。唯、相違點の認められるのはこの方針目的が達せられてゐるその程度の差のみである。各國の國民の讀み書きの能力の相違と教育の種類及び範圍、特に女子の教育に相違點があるのに氣づくのである。我々は種々の見聞を深めることが出來たので、その爲我々の教育の目的、實踐、又は生活態度の或る部分を再檢討する必要のあることを知つた。我々の教育問題を正しく解決してくれたものもあり、しかも我々の解答は他の國にも國民にも强要すべきものであると考へてはならないことも銘記してゐる。我々アメリカから參加したものは、自分達が見聞したことから謙讓について少しでも學ぶ所があつたと思ふのである。

我々は言葉も着物も食物も風俗習慣も違ふかも知れない、又、根本原理も方法も異るかも知れないが、かうして東京でやつた樣に、辛苦を共にして相携へて事に當るならば、かういふ相違は消えるようになるであらう。我々は各國の代表の方々と共に學ぶ機會を作つてくれたこの會議に多大の恩義を感じるのである。この會議はその會是として、相携へ事に當ることの重大性を强調し、一層廣く教授、教師、學生の交換の行はれんことを奬勵して來たのであつた。アメリカの我々は日本と共に働き學ぶ機會の一層多からんことを切望してゐる。

一九三九年の會議は十四年前の世界聯合教育會議誕生の地たるサンフランシスコで開催される樣に願つてゐたが、まだ〳〵學ばねばならぬことが多々あることを知れば、南アメリカにてもどこにても我々は喜んで行く積りである。

アメリカから來た我々は多くの好意を受けて來たのみで、感謝の意を言葉に表することが誠に下手であるので、私の言動は、日本の友に對して抱いてゐる我々の尊敬の情の唯幾分の一かの表れに過ぎないのである。會議の遂行に於ても、我々の慰安、教育、饗應の準備に於ても、日本の諸君は見事にその目的を達せられた。よくアメリカで正式の學科教授よりも科外教授の方が重要だと言ふが、會議以外の活動も少くとも教育の一部ではあり、しかも會議そのものより遙に面白いと、モンロー博士には申譯ないが、私は云ひ度い。我々は色々御指導を辱うした日本の方々やその他諸國の方々に種々御迷惑をかけ、御世話になつた。お別れに際し私はこれ等の方々に、心から「アリガト、サヨナラ」と申上げる。

挨拶

エヂプト文部省
女子衞生官　イサベル・ガーヴィス

私がアフリカの代辯をするといふことは、私にとつて光榮の至りではあるが、考へて見ればあの廣い大陸から今囘の會議に出席せるものは、私一人きりである。私は日本に着いて以來、エヂプト代表を一人も誘ひ得なかつたことを返す返すも殘念に思つてゐる。エヂプト人は友を愛する國民であり、自國から遠く旅行する國民なることは周知の通りである。日本人とエヂプト人が共通の問題を多く持ち、若し日本に來てゐたならば學ぶ所が多かつたことが解ると一層殘念である。私自身は十八年間エヂプトに家を持ち、そこでエヂプト政府の仕事をしてゐる。學校の身體檢査や學校兒童の看護に方々へ行くのが、エヂプトに於ける私の仕事である。私が東京で見た日本の學校は世界無比だと云ひ度い。身體檢査の制度も見たが、大いに得る所があつた。そしてエヂプトに歸つた時に、我々の主人役の御歡待やこの國の美しさなどをエヂプトの友人達に話せば、彼等は二度と來ない機會を逸したことを非常に殘念がるに違ひないと思ふ。私共は見聞したことに非常に興味を覺え、又我々は色々鄭重な待遇を受け、餘りに御厚意に甘えた爲、我我國外參加者は時々は、日本の方々には考へねばならぬ重大事が、他にもあるといふことを忘れてしまつてゐたと、今更氣付くのである。文化の傳統や自己練磨に就て見せて戴いたが、我々はこれを記念として我國に持ち歸り度いと思ふ。

或フランスの詩人は「我々はどこに行つても我々の一部を殘しゆき、又每時間何か殘してゆくのだ」といつてゐるが、私自身も私の思想を幾分なりとも確に殘してゆくであらう。この講演を終る前に御婦人が我々にして下さつた事に對し、一言御禮を申述べ度いと思ふ。東京の御婦人方は非常に素晴しい、しかも面白い方法で待遇して下さつた。彼等は女の心の中に重要な地位を占めてゐることども、卽ち素晴しいそして美しい衣裝の樣々や調髮の樣式や結婚式まで見せて下さつた。かやうなことは大いに感謝すべきことであつた、何故なら自分一人では見ようとしても見られることではないのであるから。又接待に當られた若い御婦人方が、單に一ホテルだけでなく總てのホテル、大學の會議にも御付添ひ下さつたことに對し、御禮を申述べ度い。我々は次々と同じことを聞いたり、答へに困るやうに馬鹿氣たことを聞いたりしたが、彼等は聊かも不滿の色を見せたり、無關心を裝つたりすることは一度もなかつたのである。

私は總ての人にその御親切を感謝し、樂しき日本の思ひ出をエヂプト及びアメリカに持歸り度いと思ふのである。

挨拶

オーストラリア放送協會學校放送部長　ルドルフ・ブロナー

私はオーストラリア全國的の放送施設たるオーストラリア放送委員會の代表としてこの會議に出席の榮を荷つたものである。會長は「オーストラリアは大國で遠い」といはれたが、實際非常に大きい。オーストラリアはアメリカ合衆國位の大きさがあり、又ヨーロッパ全土の四分の三位の廣さがあつて、人口は七百萬もなく、そして又これも大いに大事なことであるが、世界の文化の中心から遠く離れてゐるといふことを、本當に理解して居られる方はさう多くはないと思ふのである。故にオーストラリアの我々にとつては、かゝる會議に出席する權を得た事は、非常に有意義なことである。

御承知のことであるが、この教育會議には二つの目的がある。一は個人的な接觸によつて、各國の教育代表相互の協力、一は教育によつて國際間の理解を助長することである。私の關する限りでは我々はこの目的に副ふて來た。そして私が特に興味を抱き、その教育價値の大なることを信じてゐる放送事業に於ける協力者の名を、我々は日本人とのこの意義ある個人的接觸により知り得たことを、我が同胞に代りお傳へすることが出來ると思ふ。私はヨーロッパは處々方々步き廻つたが、極東は未知の土地である。しかし私がこゝに來た時、よき友なる東京大阪の放送關係者が迎へて下さつた。この會議に出席して何が一番私にとつて價値あるかといふことが分つたのは、彼等を知らうと努める時や、意見を交換してゐる時や、しやべり合つてゐる時などであつた。然してそれは彼等と交友關係を結び、よそよそしさとか相違とかいふ大きな障害を消す樣にすることなのである。これが特にこの會議に出席した最大の收獲であらう。そして私がオーストラリアに歸つて、若しも日本人に逢つた樣な時には、その人の所に出かけてゆき、話しかけ日本のこと、日本で過した愉快な時のこと、日本人といふよき友と一緒に過した愉快な時のことなどを話し度い樣に感ずると思ふ。

扨、我々は放送の點から見て、日本の放送關係者達が今何をやつてゐるかといふことに就て全く得る所が多かつた。二萬五千校の學校についても、私はこれ程素晴しい學校を見たことがないといふ點で、前の講演者の方に贊意を表する。この二萬五千の學校の中、一萬四千校にはラヂオセットがあり、一萬校は正規の時間を割當てゝ聽取してゐる。それから日本の方々が所謂國民體操をしてをられることをオーストラリアの人々に話したらどんなに素晴しいであらう。しかもそれが幼稚園と連絡を保つて行はれることは確によいことである。學校に對する放送教育は私には一種の啓示であつた。歸國した時に祖國の人々に話さねばならぬことが澤山あるのである。最後にもう一度、こゝに來てゐるオーストラリアの人々に代つて、色々御配慮を賜はつたことに對し御禮を申述べさせて頂きたい。我々は皆オーストラリアに、日本と日本人の樂しい思ひ出を持つて歸るであらう。

挨拶

帝國教育會長　永田秀次郎

一昨年オックスフォードに於きまして、この第七回の世界教育會議を東京に開くといふ事が確定致しました時に、私等は實は内心相當に心配をしたのであります。初めて斯くの如き會議を東洋に於て開くことではあるし、又千人に餘るやうな多數の御客を迎へるといふ事に就て、果して滿足に準備が出來るかどうかといふ事を非常に不安心に思つて居つたのであります。然るに今回愈々この會議が開かれてみると、今日に至る迄何となく我々は非常に安心したやうな氣持であります。よく今日迄斯う云ふ風に出來たことであると、心秘かに非常に安堵の胸を撫でて居るのであります。斯う云ふやうな場合に外國の言葉で何と申しますか知りませんが、日本の言葉では案ずるより產むが易いと申します。この心持を我々の胸に痛く又浮かばしめて下さつたといふことは、要するに遠方からお出で下さつたところの人達が、この日本の暑い酷暑の……我々でも困るやうな暑い時であるにも拘らず、少しもお厭ひなく、又蚊に喰はれるやうな事も少しもお叱言を申されないで、さうして色々不便な事も我慢して下さる。斯ふ云ふ寛容な態度があるからして、我々が自分の心持をして、洵に今日迄の經過が案ずるより產むが易いといふやうな、安心の心持を抱く事を得たのであります。是は非常に遠方より來て下さつた方々の寛容なる御態度、並びにモンロー會長その他、役員諸君の非常なる御斡旋の結果と存じまして、この機會に特に御禮を申上げる次第であります。

猶この際私は二つの希望なり氣持なりを申上げて置きたいと思ふのであります。その一つは、この國際會議を通じて國際の善意の涵養並びに國際の親善といふ事が度々云はれて居るのでありますが、これは洵に結構な事である。然し乍ら我々の希望として、我々の氣持としてはどうか、この國際の善意の涵養とか、國際の親善といふやうな事を押賣しないようにしたい、押賣といふ事を外國語でどう譯しますか存じませんが、それを押賣しないように。斯う云ふやうな事柄は要するに双方の誠意の結果に於て現れる、その結果の形でありまして、國際親善といふものを目當にしてやるといふのでなく、誠意を以てお互に交渉すれば自ら生れるといふ工合であつて欲しい。それ故私は押賣しないようにと云ふ氣持を持つて居るのであります。幸ひ去る二日に初めて皆様とこの處にまみえる時に、我々はその瞬間に於て何だか我々の希望の半ばを達したやうな印象を最初持つたのであるが、幸ひにしてその後の經過は、我々の最初の印象をその儘に、いやより多く、より良く我々に印象付けることが出來て、さうして今日では如何にも我々と皆様との間に、本當に自然に湧いて出たところの親善、湧いて出たところの善意を、我々が掴むことの出來る感じの致しまするることは洵に御同慶の次第に存ずるところであります。我々のこの感じといふものは決して壓搾機械に掛けて砂糖黍から糖分を搾り出すといふやうなことでなく、全く愛に滿ちたたらちねの母親の乳房から、自から愛の爲に滴る所のそのお乳を舐めるやうな親善を我々は味ふ事が出來たのであります。この點に就て今後もどうかこの國際會議を押賣することなく、親善が自ら湧き出るといふやうな態度をお互に取つて行きたいと思ひます。

第二に私の申上げたい希望といふものは、今やヨーロッパに於きましても、東洋に於きましても洵に國際關係が面倒であります。願はくばこの教育會議をして、政治的の凡ゆる煩ひからそれに遠ざかつて行きたい。決して内部から

この世界教育會議を政治に利用するといふ事を考へることなく、又外部からしてこれを政治に利用するといふやうな目に遭はされる事なく、我々は純粋に教育家の本分を守つて、神様の爲すべき事、神様の希望さるゝ所の事、神様の生みつけられた所の其のものを、神様の御示しに從つて少しでもこれを御助け申上げる働きを我々がするのである。さうして其の結果として世界人類の幸福が增進されるのであると云ふこの心持を持つて、凡ゆる政治から煩ひされることなく進んで行きたい。

斯くの如くして我々の心中に深い信念を持ち、正しい考へを持つて居つて、初めて世界教育會議が益々光を放つことが出來るのであらうと信じます。この點は敢て人に望むばかりでなく我々としても始終心掛けて行きたいと考へる事である。この二點を私の希望として、我々の心掛として申傳へて置きたいのであります。

終りに臨んで重ねて今回遙々お出で下さいました皆様に對して特に感謝の意を表し、皆様が御健康に、さうして愉快なる御旅行を續けられんことを此の機會に於て御祈りして私の御挨拶と致します。

閉會の辭

世界聯合教育會長　ポール・モンロー

先刻小松氏が爲すべくして爲さざりしことと爲さずともがなで爲せしことが多かつたと申された御謙遜に對しては我々の西洋のどこかの教育會の會員たる資格を差上げるに充分だといふことを申上げて置く。この世界教育會議の特色の一は聯合教育會の行動に責任を持たれてゐる理事會が一般役員に對し忠實且立派に御協力下さつたことである。今夕の日程に於ては講演者は講演時間各自十分間を超過せざること、といふ制限を設け、これを巧に御實行下さつた結果、時間が餘程殘つたのである。私はこの殘つた時間を自分の爲に消費しようと云ふのではないが、この會議を閉ぢるに當つて、二、三私見を述べて見たい。こゝにほんの暫くの御辛棒を願つて、私が會長といふ立場から、今迄に述ぶべくして述べることの出來なかつたことを、只今よりお話して諸氏の御靜聽を煩はし度いと思つてゐることを說明すれば、諸氏も私の立場をよく御理解下さると思ふのである。この際一つの寓話をお話しすれば、私の立場が一層よく御理解願へると思ふ。その寓話といふのは、我國の多くの寓話、藝術、歌謠と同じく、その發生地は矢張り我國民である。卽ちその話は斯うである。一南部地方の老黑奴が裁判官の所に來て云ふには、「裁判官様、お願ひを一つ聞いて戴けないで御座いませうか。」さうすると裁判官は、「おゝ何んな願ひだね」。「はい、私は離婚をしなければなら

ないのでございます」。「そうかそれは重大なことだ。離婚をするにはそれ相當の理由が要るが、一體如何したんだ。」そこで、黑奴はかういつた、「裁判官樣、あの私の女房めでござります。あれは實に始終しやべつてゐるのでござります。朝、私が起きると、あれは喋ります。私が仕事に出かけます時もあれは喋ります。私が朝飯に歸つて參りますと、あれはまた、喋ります。二度目に仕事に出かけます時も、しやべりますし、晝に歸つて參りましてもやつぱりしやべります。かういふわけで裁判官樣、私はもう我慢が出來ませんでござります。」「それでお神さんは何をしやべるのだね。」「何をしやべるのかつてお尋ねで御座いますかね、裁判官樣。それが、その、か奴は一向申さないんで」。

私の立場も亦、これによく似たものでないかと思ふ。この會議中私は多くの部會や會議であまり何度も御話したので、教育に關して、本當に自分の心の中にあるものを御話しなかつた位であるが、それはいつか又諸氏に御目に掛つた節お話する機會を御約束下さつたのであるから、後日に讓ることにしよう。

この會議で前に言つたことを繰返すことになるかもしれないが、しかしもう一度言はせて頂きたいことが一、二ある。まづこの聯合教育會の主要目的であり、支配的原則であると私の信ずる所の、各國教育者相互の個々の相識を通じて國際理解と親善とを助長すること、といふ事實にもう一度諸氏の御注意を促し度いのである。そしてこれはこの會議に出席してゐる多數の教員の方々の言動から判斷したことであるが、この目的はこの聯合教育會を通して、又この會議を通して遂行されてゐるのである。これに關する意見の發展は數々あつたが、これらは外國からこの會議に出席をしてをられる方々の國際關係の古い問題に新しい光明を與へるものであり、日本國民、日本の文化に對する新しき觀念を彼等に與へるものである。この觀念はこの時こゝで皆さんと御一緒でなければ到底得られないものである。私は今これ等の諸點を強調し、日本の方々の禮儀と鄭重さと組織能力と多くの文化的活動、又は文化的生活を述べ、且これ等を充分評價して、日本人、全日本人を代辯してゐるのである。かやうなことは如何に廣く讀書しようと、思考しようと得られない知識である。もう一つ指摘させて頂き度いが——小松氏の使はれた日本の俚諺は失禮乍ら忘れてしまつたが、とにかく押賣根性のことであつた——國際間の親善はさういふ押賣根性では齎されない。それは今回のやうな接觸が實を結んで、自然に齎されるものである。そしてこの會議を成功に導く爲に色々と御盡力を賜つた日本の友に、この會議の結果はこの一週間に遂げられたことだけでは量られないといふことを斷言させて頂き度い。その結果はこの先何ヶ月もしてから、今週と先週の御交際を通して進展して來た善意と理解と友誼となつて現れようとしてゐるのである。日本の方々はこの會議の成果を、何年か先に西洋各國に於て摘み取らうとして居られるのである。目に見える一つの結果としては、この會議には出席出來なかつた教員達が、出席した同僚からいろ〳〵聞き、出來る限り早くさういふ友人の忠告を實行に移し、この氣持のよい、興味深い美しい日本の國を訪れることとなるといふことである。私は、今回の訪問で、日本の方々の御厚意を受ける喜びに接した西洋諸國の多くの代表達をも代辯して日本の方々の努力の效果の多かつたことと、そして又彼等に貴國の方々が非常に深い友情を植付けられたことと、この會議に於て蒔かれた種子が將來多くの國々に於て發芽を見るであらうこととを確かにお傳へして置きたい。このことを述べることは私にとつてこの上なき光榮である。さて役員一同に代つて、これを以て第七回世界教育會議を閉ぢることとする。

就學前及幼稚園部

委員長　カナダ、マクドナルド專門學校　フリダ・A・クルース

書記　アメリカ、コロンビア大學師範學部教授　エディス・U・コナード

連絡委員　東京女子高等師範學校附屬幼稚園主事　倉橋惣三

就學前及幼稚園部

書記
エディス・U・コナード

ローズ・G・コネツト

A・B・ミユアー

Q・J・ジエフア・アリ

第一會議　八月二日（月曜日）午前十時半—午後零時半

會場　帝大十八番教室

第二會議　八月三日（火曜日）午前九時—正午

會場　同前

和田實

石原きく

新庄よしこ

岩村安子

第一會議

委員長開會の辭

只今より開會することにする。日程に移る前に二三述べたいことがある。まづ第一に黒板にある注意事項を御覽願ひ度い。卽ち、皆様の姓名と所屬團體名とを早くお報らせ願ひ度いこと。そして各自團體からの報告書をお持ちでしたらお知らせ願ひ度いのである。今朝は豫定が詰まつて居る爲、報告書の發表は明朝に致し度いと思ふ。日本の幼稚園見學に就てお求めがあつたが、これに就ては委員の一人の石原女史と相談の上後刻お報らせすることに致し度いと思ふ。議程が詰まつてゐる關係から、レーマン女史（Miss Lehman）は報告書を朗讀せずに提出だけして下さることを快よく御承諾下さつた。時間が足りない爲議程全部を實行することが出來ないのは誠に遺憾である。前のオックスフォード會議に出席する幸運を得た我々は、この度の日本訪問を久しく期待して居たのである。そして今や日本で見たもの總て、特に街頭で見掛ける可愛いい、幸福さうな兒童達にはすつかり魅せられた。我々は議程にある通り我々の日本の友から、幼稚園に於ける事業の一端を伺はうとして居る。まづ和田實氏からは「日本に於ける幼兒の性格陶治に就て」の報告の提出がある。氏は東京の目白保姆養成所長である。東京保姆傳習所長石原女史がこれを代讀下さることになつてゐる。

日本に於ける幼兒の性格陶冶に就て（要旨）

東京目白保姆養成所長　和田實

東京保姆傳習所長　石原きく

發表者　石原きく

日本に於ける教育窮極の目的は、國民の皇室に對する尊崇の念を涵養し、忠君愛國にその至誠を致さんとする熱意を培養せんとするにある。皇室と國家、一にして二にあらずとの觀念は、歴史と日常生活との渾然たる融合の上に形成せられたる日本獨特の精神である。この大精神の萠芽たる可き祖先崇拜皇室尊崇の日常生活は幼兒教育上又重要視せらる可きものにして、自ら日本の保育界を特色づけるものと云はねばなるまい。この特色の下に、日本の幼兒教育者は如何なる德目を以て、幼兒の性格上必要なるものとして、その陶冶の標的とするか、今左にこれを述べよう。

第一、親愛性を涵養すること。幼兒は親兄弟に親しみ、これに、熱愛されて居る。この親愛性を移して、博愛衆に及ぼし、友を愛し、動物、蟲、魚を愛撫する溫情をまづ陶冶せんとするのが、日本の保育者の第一に目指すところである。

第二は感謝恭敬の念を涵養すること。日本の家庭に於ては日常生活の間に、感謝の意を表する作法や、父母の出入に送迎し、朝夕の挨拶に恭敬の誠を致す風習がある。この思想は今も幼稚園託兒所に重んぜられて居る。

第三には純眞で素直な自然の心を失はぬこと。卽ち、すねたり、ひねくれたりしない眞直な心、天眞爛漫な心を失はぬ樣に保育すること。

第四には師父長上の指揮命令に從順なることを以て、幼兒たるもの、當然な行動として、これを奬勵することが必要なること。

第五には同情心の涵養に努力すること。幼兒は感情の傳染に依て、同情心を發露するものである。保育者はこの機會を捉へて、幼兒の同情性を涵養す可きものとされて居る。

第六には寛容の德を涵養せんことに努力して居る。鋭敏なるものは兎角微細な點迄も自己を主張し、權利を爭ふことがある。或は人の過失を餘りに細かく攻めたりする。これは社會の共存性を傷ける。大器を成就せしむる所以でない。

第七、共同心の培養。幼兒の親愛性、同情性は進んで、交友を求めるに及んでは共同性となつて發達する。群居を悅び互に親愛し、同情して、共に樂しむことは結局社會性發達の基礎である。

第八は努力的意志の奬勵である。幸福な幼兒の生活はその遊戲的意欲を盛ならしめ、活潑な遊戲は自然に、努力的に行はれる。而して、努力的意志は畢竟勇敢なる行爲の基礎である。

第九には整頓の習慣性を涵養すること。整頓せられた境遇に育ち、周邊の事物が常に整理整頓せらる、習慣を體得すれば、整頓の習慣を誘導することが出來る。

第十には言語、作法を躾ること。

第一項より第九項迄は兒童の性格を構成す可き基礎的德性で、總ての善行美德はこれ等の德性の基礎の上に築かる可きものである。而して、これ等の諸德性は、日常、如何にして實行せらるゝかと云へば、諸種の作法と言葉遣ひとに依て、具體化し、實現化されるのである。この作法は日本人の日本人たる行動の形式である。從つて、適當なる作法を躾ることは幼兒をして、諸種の德性を、實際に練磨することとなる。而して、純良にして恭順なる躾と、剛健にして活潑なる遊戲活動とを併せ有する健全なる幼兒を養成せんとするのが、我が保育界の理想である。蓋し、斯種の幼兒にして始めて、將來の國家を擔ひ、君國に盡し得る良民となるに相違ないからである。

經驗主義課程に於ける藝術

コロンビア大學師範部教授　アリス・ソーン

私が述べんとするのは私が數年關係してゐるアメリカのさる特殊團體に就てであるから、まづ順序として私の話しをよく理解して戴く爲に多少自己紹介を致し度いと思ふ。勿論私は、これは誰でも信ずる所と思ふが、兒童は世界中到る處相似寄りのものであると信じてゐる。しかし乍ら、私が述べんとする樣なことについて簡單な知識をもつてゐると誠に興味あることと思ふから豫め申上げて置くが、コロンビア大學(Columbia Univ.) 師範部に於ては、他の學部に於けると同樣附屬部があつて、これをホレース・マン・スクール (Horace Mann School) と稱してゐる。しかしてこれは我が師範部生の爲の實習場所でもあり見學場所でもある。しかしてこの會合のプログラムには單に私のことを師範部派遣と記載されて居るが、私のそこに於ける地位はこの附屬部卽ちホレース・マン・スクールの教師であり、その關係で師範部と結ばれてゐるのである。私にはこれ以外に一つ役目がある、それは師範部學生の訓練にも當ることである。師範部のパティ・ヒル女史 (Miss Patty Hill)――幼稚園教育の世界的代表者とも云ふべき女史の名は既に御承知のことと思ふ――この女史がその部門を組織するに就ての考への一つは、シャボー・ティーポットの理論 (Chapeau-Teapot Theory) であつた。しかして若い學生に對する實習指導は、同時に教師自らが幼兒を教育することでなくてはならぬといふのであつた。換言すれば、說教する通りを自ら實行し、實行するがまゝを說教せよといふ古諺の實行である。從つて兒童を教へた同じ朝に學生を教へる師範部の職員たる我々の多くは、午後にはこつそり拔け出して朝とは全然異つたことをする譯にはゆかないから、常に實踐的でなくてはならない。若しも或特別樣式の、或は特殊型の教授法を論ずるとすれば、我々は自らそれを實行するか、少くとも自らの最善を盡して實際に行ふことをつとめなければならないのである。

私の論題は「經驗主義課程に於ける藝術」と與へられてゐる。經驗主義課程といふ術語が日本ではどの程度迄を意味するものであるか私は知らない。何となれば、大學は各自自由な表現法を用ひるものであるから。兎に角私は經驗主義課程とは何であるかを正確に知つてゐるといふ自信すら持つてないのであるが、私の理解する限りでは、古い型の幼稚園、卽ち、幼兒に對して一分一秒をも教へる者の方から計畫を立ててやり、その仕事をも末々に至る迄計畫を立

ててやつてゐた舊式の幼稚園へ對照するものを意味するものと思ふ。譬へば既に御承知の通り、幼兒が學び或は思考するに適當と思はれる題目を擇ぶのではあるが、我々の仕事の大部分は、その特定の話題の周圍に集められた教師の計畫に過ぎなかつたのである。實例で言へば、秋になつて、我々が秋といふこの特定の季節に就て兒童に考へさせ度いと思つた時には、唱歌も圖畫も總て秋に關するものであつて、教師が計畫した特定の一事物の周圍に總ての經驗が斯かる具合に集注されるのである。しかして斯かる教へ方をしてゐた爲に、よく人々の口にのぼる様な話が出來たのである。この話は既に皆様も耳にされたこととは思ふが、私はこの話が古い型の經驗と新しい經驗との對照を定義するに際して有意義であると考へるから、繰返して見よう。或時一人の幼兒が動物園へ連れてゆかれて檻の中の動物を見物してゐた。するとその子が隣で一緒に見物してゐた子供に斯う言つてゐたといふのである。「象なんか見るのは止し給へ。見て置くと歸つてから象の繪を描かされるよ」と。全く斯くの通りであつて、我々は屢々兒童に簡潔且、完全な組織を持つ經驗を强制する爲、兒童の生活、思考、行爲に關する彼等自らの計畫が、時には全然姿を消されてしまふ様な結果となる事がある。換言すれば、教師のみによつて計畫され、現在幼稚園にゐる者としての關心に少しも考慮を拂はない行爲又は行動思考の様式を課することが屢々であつた。實際世界のいづこに於ても斯ういふ風であつたのであるが、今は我々は斯かる方法は採つてゐない。我々はこの方面に於ける進歩せる研究により可能となつた新しい科學、新しい事實及び新しい調査研究を考慮に入れてゐる。我々は健全なる進歩生長に關してこれ等を念頭に置き、幼い兒童に要求する經驗は彼等自身の個性的發達に基づいて計畫してゐるのである。勿論或意味に於ける傳統的な事柄も多く教へねばならぬ。又、集團に伍しての生活を容易にする爲には或程度の慣習もなくてはならない。にも拘らず幼い兒童に對する計畫は、昔と異つて遙かに變容自在になつてゐる。この理由は、幼兒は皆一様に規則正しい劃一の歩調で進歩するものでなく、その進歩の度合は各人各様であることを我々は知つてゐるからである。しかして我々は澤山の幼兒に一時に多量の知識を與へることをしないで、一人でも手を差延べて求め來る者があれば、その幼兒に所求の知識を與へる様、我々の擔任のものについて出來る限りの努力をしてゐるのである。勿論、兒童の中に、これを受ける準備の出來てゐるものもあれば、ゐないものもある。それ故我々が同じ時間に同じ歌を歌つた日、同じ時に同じ行爲をした日は過去を覗いてゐる様なものである。我々は幼兒の性格や要求についての調査を考慮に入れてゐる。故に我々の課程は因襲的のものではなく、幼兒の爲に組まれたものである。卽ち主題を顧みず兒童の發展そのものに基礎を置いた課程である。主題を主とすることは我々の心中に在つて、永年の間我々の行つて來た所であるが、今は斯かる法を採らず、兒童達の欲求と直接の興味とから課程を生じさせる様努めると共に、他の人々と幸福な生活を共にする上に於て彼等が必要とすると思はれる慣習を、その課程の中に含める様努めてゐる。

但し少くとも特にこの議論の關する限りに於て、經驗主義課程なるものが何を意味するかといふことは、私にとつては餘りにも概略的なのである。そこで私はニューヨーク市の四、五十名の兒童と、私が彼等と共にした經驗の實際について述べようと思ふ。尤も私は皆さんが私のしたことを皆さんの組でも實行して下さいとは決して言はない。各組は夫々その趣を異にしてゐるからである。我々の受持つた組は、どれも皆それ以前に受持つた組とは異つてゐた。同じである筈がないのである。それ故我々の課程は年々變化すべきものであつて、昨年のことを今年に持越すことは出來ないのである。我々は同じ現象が生じた時にはその時に於て兒童に獮すべき知識は用意してゐるが、しかし各組はそれぞれ別箇であり、各社會は夫々異つた方面に關心を有してゐる。そこで明瞭に理解され度いことは、私は今ニューヨーク市に在る一アメリカの學校のアメリカ兒童に就て語つてゐること、そして、そこでは二十名の組、四十名

のや、大きい組、及び、教室も大きく職員も多い組等の幾つかあるといふことである。私の言はねばならぬ事柄は斯かる特種な環境にある兒童に關してである。

扨、私が此所に立つ權利を苟も有すと感ずる理由は、世界到る處幼兒は多くの點に於て相似てゐることである。しかして私は支那に在り日本に在る機を利用して、面白い經驗を嘗め、兒童の環境に對する反應を見てそれが如何に我我の興味を引くものであるかを見、又、日本及び支那の兒童が如何に創意創造に富んでゐるかを知り、アメリカの兒童と酷似してゐることを見出したのである。そこで彼等は多くの點で非常に異つてゐる反面、類似した點もあるのであるが、私の兒童と生活を共にしてゐる際觀察した所について少しく述べたいと思ふ。それは皆樣が各自の兒童について觀察した事柄と相通ずる處がないではなからうと信ずる。

まづ第一に、幼稚園は常に課程に於ける藝術の重要性に對し認識を與へて來た。しかして昔からピアノのない幼稚園は完全とはいはれなかつた。椅子や卓子をもつことが必要であると同じくピアノを備へるといふことは幼稚園にとつては必要とされて來てゐる。而して幼稚園は兒童が自由に振舞ふべき場所であつて、其處には正規の學校の學科の如き壓迫は何ら存することなく、即ち幼稚園は、最初から課程に於ける藝術に認識を與へ來つたのである。しかも、昔は、それも既に述べた通り課程として形式化され型に嵌つてゐた。しかし、今や我々は藝術を課程に於ける凡ゆる他の題目と同樣に考へてゐるのである。我々は四、五歳の幼兒の發達とこの期に於ける生長に鑑みて、これ等を再考してゐるのである。

扨、幼兒と藝術家とは相通ずる點が多々あると私には考へられる。まづ第一に、幼兒は觀察し、非常に激情的であり、その反應は敏速で、直情的であり何物にも抑制されず、事物を自己の意に應じて取扱ひ、而も他人の習癖を模倣する。次に幼兒は藝術家の爲す樣な事を常にするものであると私は私の經驗から信じる。彼は模倣竝びに創造しながら、何かに就て苦心して色々の經驗を嘗めた後、藝術のみが滿足させ得る樣な特に昂ぶつた感情狀態にある時、これ等の要素を自らに適する樣に整理し調整することが出來る。而して假令その成果が勝れてゐないにしても、斯かる特殊な發達期に於ける幼兒にとつては、それは一つの創造的過程であると私は信じる。而して幼兒は斯かる經驗が一つ一つ積上げられることによつて始めて學び得るのである。しかしてこそ幼兒が學ぶ重要な方法の一つであると私は信ずる。扨、その學ぶ過程は、幼兒が型に嵌つてゐない事實を別にしては、略々皆同じである。彼は或程度迄因襲から離脱してゐる。それ故に、石原女史の御發表論文にあつた如く純眞である。彼は所謂自然であり、それ故に、時には因襲にひどく影響される兒童もゐるが、それに縛られることはない。彼は過去の經驗に縛られてゐない。故に彼はそのことが正しいと自由に言ひ得る。しかしてこれと同じことが藝術の全方面に於て眞實であるのである。特に音樂に於ては然りである。アメリカの幼兒にとつてアメリカの音樂は、日本の音樂がアメリカの成人に響くと同じ程の不思議さで響くであらう。

それは我々は音樂についての或る一定の考へ方に嵌められてゐるが、アメリカの幼い兒童はその型に嵌められてゐないからである。少くとも彼等は總てのものを期待するに充分大きな度量を有し、實驗心に富んでゐる。彼は新しいものに對し、少くとも耳を傾けるだけの用意がある。これは生成せる者にとつて困難な點で、我々成人の心は固化され閉塞されてゐて、新しいものに耳を傾けもせず、それを感得し聽取する機會を摑まうともしない。それ故幼兒は既に生れながら開襟的であり活潑な經驗心に富んでゐる。すべての藝術家は、この態度を學ばねばならない。兒童的見解に到達しなければ、しかして、惜しげもなく因襲を離脱して、自己の手中にある材料と方法とを自己一流の創造的

態度で驅使し得ない限りは、藝術家の眞の成功を望めない。故に私は幼兒と藝術家とは多々共通點があると信ずるのである。又、幼兒に關心を有する者總てが間違なく信じてゐるのであるが、我々が幼兒自らの文化、自らの音樂、自らの文學の必要な傳統を幼兒に教へんことを望んでゐる限り、我々がこの態度を保持するといふことは、非常に大切なことである。同時に、彼等藝術家のあの精神、新しいものに對するあのひろやかな態度、あの進取的態度、この種のものに對し幼兒に横溢してゐる翹望、それを實際に生かすといふことは望ましいことである。幼兒には藝術家が多い。むしろ總ての幼兒が藝術家であるといはふか。その作品は立派でないかもしれないが、題材に對する迫眞性といふ意味に於て幼兒は總て藝術家である。彼は全然躊躇しない。絶えず試みてゐる。彼は手を差伸べてゐる。しかし我々は成長するに從ひ次第に新しきものに逡巡を覺える樣になる。それ故事物や傳統的材料を保存するといふ事も必要であるが、同時に、我々にとつてもつと重大な要件の一つは、特に藝術の方面に於ては、自發性の開襟態度の精神と經驗的態度の精神とを幼兒の側に常に保存するといふことである。

扨、斯くの如き現在の教へ方に於て、譬へば繪畫藝術に於て、多くの幼稚園でこの法を採つて來た。恐らく皆様も同様であらうと思ふ。我々は第一にこれに對し時間を與へた。誰でも自分に與へられた時間が細かく色々に割當てられて、その道程をむやみと急がされると、滿足な經驗は體得出來ないものである。處でニューヨークの幼兒は一日中何もかもが割當てゝ扱はれるのであるから、この點非常に慘めである。彼は外に出て街で遊ぶことも出來ない。彼は乳母を連れなければならない。だから、母とか先生とかが、その幼兒の時間內に誰もが干渉しない時間を與へる計畫を立てなければ、彼は自由の時を持たない。ところで幼兒が實際に自由に手藝をやらうとするにはまづ自分の時間を持つことが前提である。彼は學校に於て自分の時間を持たねばならない。斯かる意味から我々は容易く變更の出來る樣に時間を割當て、兒童達の異つた欲求に臨機に應じ得る樣にして置かなければならない。

次に幼兒に與へねばならない物は、用ひる材料であり、しかもそれが何日何時でも用ひ得る樣でなければならない。假りに或時間、例へば九時十五分から三十分迄の圖畫の時間をとつてみると、その時間は非常に都合が良くても材料を使ひ度いと思ふ時に材料が無いといふことではどうすることも出來ない。故に材料は常に、幼兒の身近になくてはならない。本當に手近に。

次に我々は、兒童が一つの創造過程に從事してゐる時には、幼兒に色々の質問を發することを控へて來た。もつと正直にいへば、控へようと努めてゐるのであるが、これは非常に大切なことであると信ずる。圖畫に例を採つて云へば、圖畫を見ると我々は兒童の發達程度を窺知することが出來るといふことは研究の結果知られてゐる。事實教師が幼兒の描いた繪を見れば、大體その子の年齢を言ひ當てることが出來るのである。若しそれが外れてもつと幼い兒のものであつた時には、「この兒は智力が非常に發達してゐる」といふことが判るのである。故に例へば線畫や色彩畫の課程にも、或一定の段階があることを知り得るのである。それ故我々は以前の樣に兒童に對し馬鹿げた質問を發しない樣努めてゐる。我々は彼等を放任して置く。線畫や色彩畫について我々より遙かに勝れてゐる幼兒の見解に干渉して、徒にこれを壞さない樣に彼等の體驗に委せておく。御承知の通り我々成人は藝術的表現に於て非常にハンディキャップを受けてゐる。卽ちアメリカで成人に猫を描けと云へば、彼等の描く所は分りきつてゐる。斯うやつて、斯ういふ風に描くに違ひない。（講演者、黒板に猫の繪を畫く）。それが普通のアメリカの成人が描き得る唯一の猫である。線の何處かにその型が固定されてゐる。勿論實際にやつて見たことはないが、アメリカの國中を巡つてどこの街頭の成人をつかまへて猫を描かせても、きつとこれに似たものを書くだらうと想ふ。これは彼等が何事をするにして

も、一定の方法、一定の型式にかためられてゐるからである。

扨、そこで、幼兒が繪を畫いてゐる時には、昔よくやつた樣に幼兒に色々質問をしたりすることを我々は決してしない。これについては我々は色々學ぶ所があつた。私は實際に兒童に起つたことで、この點を明かにするに足ると思ふ實例をお話ししようと思ふ。一人の幼兒が一枚の鉛筆畫を私の所に持つて來て示した。繪についてはその幼兒は何も云はなかつたのであるが、何か一定の形をもつてゐるらしく思へた。卽ち私はその幼兒が心の中に何か考へをもつてゐて、それを描き出そうと努めたに相違ないと思つたから、私は「それは何ですか」と尋ねた。ところが、その兒は直ぐ當惑した樣な顏になつたから、それが何んと馬鹿げた質問であつたかといふことに氣が付いた。丁度その日その兒の母親が學校に來ることになつてゐたので、その子は直ぐ母の所へその畫をもつて行つて、母親を見上げながら、「これは何？」と尋ねた。すると母親はその畫を眺めて何の逡ひもなしに答へた「さうね、これはお舟です。」そこでその子は早速その繪を私の所にもつて來て、私を見上げ、「それはお舟」と言つた。皆さんのお氣付きの通り、その子は私を强ひ樣としてゐるのです。子供といふものは非常に妥協的で言はれたことを何でもしやうとする。ほんの些細なことでも非常に危險なのである。何となれば、我々がほんの少し言葉を挿んだだけでも、兒童を非常に妥協し易くして仕舞ふ。つまりこの幼兒が自分には何の考へももつてゐなかつたことがお判りだらうと思ふ。だから教師がその子に質問を發したら彼は答へねばならない。假令彼が描いたものが舟でなかつたとしても。事實彼はそれが何であるかをたゞ材料を用ひて經驗をしてゐたのである。然るに母が來て、馬鹿氣た質問をする教師に近付き易い樣にしてやつたのである。そこで彼は歸つて來て「これはお舟」と云つたのである。それで皆が滿足した。しかし我々はいつでも子供に質問を發し勝ちな爲、私の樣に子供を非常に當惑させるのである。それは何かと尋ねた愚かな質問である。もし彼がそれが何であるかを私に知らせ度いと思つたなら、初めから私に告げたであらう。しかし告げはしなかつた。何かと尋ねた、すると答へた、「鳥籠です」と。すると又私が云つた、「鳥は何處にゐるの」と。これ又愚かな質問である。すると彼は鳥を示した。暫くして私はその子の所へ戻つて來ると、斯うやつてしまつてゐる。（と又黑板に說明）彼は言つた「鳥は逃げたの。」勿論彼は滿足出來る樣な鳥は畫けなかつた。しかるに私は事實でない斯かる過程を干涉してその兒童を非常に微妙な立場に押入れてしまつたのである。發達程度から云つてその兒童は鳥は畫けなかつたのである。もし畫けるものならば畫いてゐたであらう。その時もし私が鳥の畫き方を教へようとしたなら、恐らくその子の鳥の樣に途方もない鳥を畫いたであらう。彼は傳統の型に嵌められてゐないから、私よりも立派な鳥を畫けたかもしれない。彼は鳥の意味を考へてゐた。或は偶然畫いて鳥に見えて來たものを考へてゐた。故に御覽の通り研究によつて、幼兒を注目し觀察することは我々に彼等をよりよく意識させるといふ事を知つたのである。だから我々は愚かな質問をしない樣してゐる。我々は幼兒が我々に告げる用意の出來る迄、そして我々に助けを求めに來る迄待つことにしてゐる。「これを手傳つて頂戴」といふことは「必要」の兆である。だから少くともその點迄は行つてやる。

我々が幼兒に忘れさせたもう一つのことは、彼自身の話し方である。畫いたものが如何に整はないものであつても、それをどうして畫くか一々教へたものでない限り、それが幼兒には當然のことであるから、我々は少しも驚かない。

次に音樂、私は音樂に特に興味をもつてゐる。これは兒童の發達の見地で考へられるべき諸藝の最後のものである。音樂を通しての諸表現に對しては、我々の學校の多くに於ては猶準備されてゐない。我々は傳統的な形式で效果

を擧げて來た。我々は必要な過去の文化を、民謠及び民衆舞踊といふ形で小さな兒童達に教へ傳へて來た。しかし、いつかも云つた樣に、我々は子供であり我々の總ては潛在藝術家であるから、傳統的形式を兒童に與へると同時に彼等自身の形式を進めてゆくことの出來る樣にしてやりさへすれば、兒童は怖ろしく多量の創造能力を有してゐるものである。もしも機會さへ與へられるならば、我々がこれ迄爲して來た以上に立派に爲し得るや否やは兎に角としても、これは樂しい考へであるといへる。

扨、爲さねばならぬもの、我々の總てが爲さんと努めて來たものは、次の三つであると私は思ふ。まづ何よりも今日以上に幼兒を知ること。我々は教へることに餘りに忙しい爲、幼兒を注意して見ないことがあると思ふ。古諺に云へる如く、「木を見て森を見ず、森を見て木を見ず」である。我々は教へねばならぬと思ふことを教へるのに餘りに急なる爲、彼等の反應を見ないのである。このことは特に多年教師の職にある時は、或程度迄前年やつた通りに今年もやり易いものである。故に彼等が現に何を爲てゐるかゞ解らなかつたり氣がつかなかつたりする。時には我々が眞に兒童をありのまゝ見る唯一の方法は、彼等が學校外にある所を見ることであつたりさへする。それは學校外にある時は實際學校内にある時と異ることが多い。我々は常に彼等に語り、何等の自由な時間を持たせないで、絶えず或一定の型に彼等を保たうとしてゐて、彼等も又我々のさせ度いと思ふことを忙しくやつてゐる爲、彼等を見ることが出來ない。彼等の生きた反應を見ることが出來ないのである。

次に幼い兒童を取扱ふ上に於て、少くとも私が自分自身に示し度いと思ふことは、若し幼兒の欲求、進歩、向上に鑑みて自分の豫め考へて置いた計畫が良くなかつたと悟つた時には、その計畫を潔く中止するといふことである。又私が是非言ひ度いことは斯ういふことである。卽ち、我々自らが藝術に就てもつとよく知るといふことである。何故ならば、特にアメリカでは、我々はそれを體驗しなかつたからである。我々は或傳統的な形式を幾つかもつてゐる。だから我々が自らその岸を探らない限り、その美を鑑賞しない限り、自らの熱情を表現すべき能力を幾分有しない限り、どうして幼兒達に與へることが出來ようか。しかして若しも我々が幼兒の欲求をより一層認識してゐるならば、教育法の訓練を受けて始めて經驗するのではなく、自ら藝術を享樂することを學ぶ。何となれば、もし我々が藝術的經驗に參與したい大きな欲望に滿されてゐるならば、若し我々が音樂、繪畫、建築に於ける美の鑑賞に滿ちてゐるならば、訓練學校へ行つてその方法を學ぶ迄もなく、兒童の經驗を評價し、理解し、豐富にすることがどれ位立派に出來ることであらう。

少くともアメリカ代表者は皆日本の美しい事どもを抱いて、我々の兒童のもとへ歸るだらう事を述べて、この講演を終へる。

日本の幼兒教育の過去及び現在（要旨）

東京女子高等師範學校附屬幼稚園　新庄よしこ
キリスト教保育聯盟會長　岩村安子

一、幼稚園の本質

我國に於ては幼稚園及び託兒所にては、三歲より尋常小學校入學迄の幼兒を保育し、その心身を健全に發達せしめ、善良なる性情を涵養し、家庭教育を補ふを以て目的としてゐる。

二、數及び分布

殆ど全國的に分布されてゐて、一九三四年の調査によれば、幼稚園一八六二、常設託兒所七〇〇、季節託兒所八〇〇〇を算し、なほ新設の途にあるものも非常に多い。

三、設立系統及び內容

官立、府縣立、市町村立、私立とあるが、何れも我國民性に、始祖フレーベルの保育精神をとり入れたもので、官公立に宗教的色彩は無く、幾分の宗教味の加つたのが、その宗教の幼稚園といふに過ぎない。

四、經營

原則として保育料を、官公立は一圓より三圓迄、私立は三圓より五圓迄徵收し、經營に充てる。託兒所は少額の保育料をとり、不足は市町村その他より補助す。

五、保姆の養成及び資格

官立私立の保姆養成所約五〇あり。高等女學校卒業後一、二年の實地と勉學を要し、府縣知事から保姆免許狀を受けることになつてゐる。

六、保育の實際

幼稚園令に定められた遊戲、唱歌、觀察、談話、手技を行つてゐる。幼稚園創設期の模倣時代を離れて、新舊の長所を取り入れた材料を以て、劃一的時間制度をとるよりも自發活動を重んじた方法によるものが多い。

七、歷史

幼兒保育今日の盛大はその最初に國立幼稚園を以て始り、皇室の御保護によるものである。明治九年（一八七六年）

女子師範學校附屬幼稚園が創設せられて、始めて幼稚園の名稱を用ひ、皇后、皇太后兩陛下の行啓を仰いで開業式が行はれた。その後度々の行啓で、幼兒教育御奬勵の態度をお示しになつた。間もなく官立の保姆養成所を設けた。その後幼稚園は續々殖えて、十年後には基督教幼稚園が創まり、保姆養成所を開いてその先驅をなし、又、佛教幼稚園も共に急速に發達して來た。斯くて遂に、一九二六年幼稚園令が公布され、これによつて幼稚園が日本の教育制度の中に確乎たる位置を占むるに至つた。

八、總　括

本來の子供を尊び愛する國民性にフレーベルの創めた幼稚園がはいつて來て忽ち融合し發達を遂げた。その後モンテッソリー主義が入り、必ずしもフレーベルォーソドキシーに依らず、獨自の新研究が進められてゐるが、更に英米の保育學校の影響により、勞働階級の人々の助けをなし、又母の教育にも留意するに至つた。

卽ち日本の幼稚園はその相當に舊き歷史と共に、常に進歩發展し、その實質に於ても、世界の幼兒教育思潮及び運動と併行しつゝ、我國特有の發達を遂げつゝある。

第二會議

フィリッピンに於ける就學前教育

フィリッピン女子大學教授　ドリーン・B・ガンボア

起　源　と　發　達

フィリッピンでは就學前教育を新分野と云ひ、幼い兒童の教育に從事する人々をこの分野に於ける開拓者と稱するのが習慣になつてゐる。それ故に早くも一九〇八年に幼稚園クラスを設けてゐる公立學校があつたといふことを、教育學の學位を目指してこの特殊研究分野に從事してゐる一學生の最近の論文から發見して、全く意外の感に打たれたのである。併しその時の目的は明かに初學年の勉強に兒童を導くといふことであつた。その企てが世の親達をとらへたと思はれるのは斯かる考へであつた。何故ならば今日親達がその子供を幼稚園へ入れる時、最初に我々の受ける質問の一つは、「この子が讀み書きが出來る様になる迄には何れ位日數がかかるでせうか、もう既にイロハが判つてる

るんですよ。」とか、「書き方も教はるでせうか、この子は自分の名前は書けるんです。」とかである。

これ等初期のクラスは永續しなかつた。その理由は色々擧げられてゐるが、財政上及び兒童の年齢の關係から「初學年に對するこの特別な準備教育」が保證されなかつたことに起因すると推定するのが最も無難だと思はれる。而して、約十年前私立大學並びに他の機關を始めとし、全くの個人までが夫々幼稚園を設けるやうになる迄は、再び幼稚園の噂は誰れも耳にしなかつた。今日これ等諸學校に入る兒童の數は年々增加を見せてゐるが、唯不思議なことは、これ等種々の團體の方法及び目的は夫々全く異つてゐて、同じ事業の一部であると信じられない程であると云ふことである。

現　狀

私はフィリッピンに於ける就學前教育の現狀の觀察者として自分に偏見がないとは思はないから、前述學生の許可の下に、その論文から引用したいと思ふ。女子學生の調査は完全なものであつたと考へられる。而して私の知れる處では、この分野全般に亙つて同一人により客觀的に遂行された觀察としてはこれが唯一既存の記錄であるから、本報告書の目的に相應はしいものと信ずる。個々の幼稚園はそれぞれ門戸閉鎖主義を採つてゐる爲、就學前教育に實際從事してゐる者がこの方面の研究をしようとしても不可能なのである。學徒に對する敵意と競爭心が非常に强い爲、見學を申込むと直ちに秘密探索と疑はれるのである。斯かる情勢そのものが、フィリッピンに於ける就學前教育事業の今後の發展過程に、問題を提起することであらう。

フィリッピンに於ける就學前教育には何等統制ある運動は存しない。私立大學及び諸機關の行つてゐる教育事業の他の方面の活動は政府の監督を受けてゐるのに、この方面の活動には何等の監督行爲が存しないのである。顧問体系も全然無く、各就學前學校は獨斷獨行である。既存多種多樣のクラスの姿を示す爲に、前記學生の報告からそのまゝ引用することにしよう。

就學前諸學校の種々型

第一型　これは幼稚園學校で今では小學初學年及び第二學年が附設されてゐる。その建物は其處の女教員が自分の家として一部を使つてゐる住宅である。そこへ來る幼兒はフィリッピンの上流階級及びヨーロッパ人の家庭の子である。イギリス婦人であるその教師との會見談として次の如く記されてゐる。『私は調査に必要な話題を概括的に示した。しかし事態は思はざる紛糾を生じた。その教師は直ちに、その論文の執筆者を糺し、私が取上げようとしてゐる調査研究は何ら指導的なものでないと考へると嚴しく言明し、猶、理論に依てではなく實際の經驗に依てのみ――私の研究の性質上彼女は斯う考へたのであらう――フィリッピン國民は一國民としてのそれ自身を如何なるものにも爲し得るのであると强調した。而して我々の教育政策の「無爲無益」の一例證としてその善良なる女教師の指摘したのは、家庭經濟訓練を立派に行ひ得る實地の場所は家庭であるに拘らず、學校及び大學で數十萬ペソを費して家庭經濟講義を行つてゐるといふ事實である。』と。但しこの不成功に終つた會見は根本的研究をしようとする學生にとつて全然無意義のものではないのであるから、この會話の記錄を此處に引出したのも敢て無意義でないと自分は考へる。(斯かる實景は、この種報告に含まれる機會を何時與へられるか判じ得ない他の諸問題を提示する一助となる、と自分は附言したい。)さて、その記錄はつゞく。――